TAXAN

DATA PROJECTOR User's Manual

データプロジェクタ 取扱説明書

KG-PS232Xh/232X
KG-PV131X/131S

はじめに

このたびは、TAXAN データプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。
この製品を正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになった後は、「保証書」とともに、いつでも見ることができるように大切に保管してください。
万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときには、この「取扱説明書」をお読みください。

本書は型名 **KG-PS232Xh/KG-PS232X/KG-PV131X/KG-PV131S** の共通取扱説明書です。
投映距離は同じですが、画面解像度やオートフォーカス機能など一部機能が異なります。
詳しくは下表及び「主な仕様」をご確認ください。 → P92 ～ 95

型番	解像度（フル機能）	オートフォーカス機能
KG-PS232Xh	1024 × 768（XGA）	○
KG-PS232X	1024 × 768（XGA）	○
KG-PV131X	1024 × 768（XGA）	―
KG-PV131S	800 × 600（S-VGA）	―

○：機能有り、―：機能無し

- DLP®（Digital Light Processing）は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- XGA は米国 IBM Corp. の登録商標です
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国 Apple Inc. の商標です。
- Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
(4) 本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

本書の見方

本書では、操作方法を 5 種類の方法で探す事ができます。

1 とにかく使いはじめたい

「投映から電源を切るまでの流れ」 → P24

本製品の基本操作をご紹介します。

2 投映時に便利な機能を知りたい

「こんなときに便利」 → P11

本製品の便利な機能をご紹介します。

3 リモコンや本体操作部で行える操作を知りたい

「リモコン、本体操作部から探す」 → P13

リモコンや本体操作部のイラストから操作内容をご紹介します。

4 メニュー画面の操作方法を知りたい

「操作画面から探す」 → P15

メニュー画面のイラストから操作内容をご紹介します。

5 キーワードから本製品の操作方法を調べたい

「キーワードから探す」 → P17

目次

はじめに 2
本書の見方 3
目次 4
安全のために必ずお守りください 6
ご使用の前に 6
使用上のお願い 6
警告 7
注意 9

こんなときに便利

本製品を便利に使う機能 11

リモコン、本体操作部から探す

リモコンから探す 13
本体操作部から探す 14
操作画面から探す 15
メニュー画面の名称とはたらき 15
メニュー項目一覧 16
キーワードから探す 17

使用前の確認

付属品を確認する 18
本体各部名称と機能 20
リモコン各部名称と機能 22
リモコンを準備する 23
電池の入れ方（交換のしかた） 23

基本的な使いかた

投映から電源を切るまでの流れ 24
基本的な操作 24
設置する 28
画面サイズと投映距離 28
パソコンや映像機器と接続する 29
パソコンとの接続 29
一般的な映像機器との接続 31
オーディオ端子の接続 33
MONITOR OUT 端子との接続 34
RS232C 端子の接続 35
電源を入れる 36
購入後はじめて電源を入れる場合 37
投映画面をスクリーンに正しく合わせる 39
投映画面を調整する 39
投映終了後電源を切る 41
ふだんの操作 42
入力信号の選択 42
自動調整 42
オートフォーカス KG-PS232Xh/232X のみ 43
自動台形補正 43
映像・音声を一時消去する 43
映像を一時停止する 44
投映モード選択 44
省電力モード KG-PS232Xh/232X のみ 45
フォーカスの手動調整 KG-PS232Xh/232X のみ 45
台形補正の手動調整 46
音量調節 46
映像の拡大と画像移動 47

メニューの使いかた

メニューの操作方法 49
メニュー画面の名称とはたらき 49
リモコンボタン／本体ボタンの名称とはたらき 49
メニュー操作のしかた 50
入力信号ごとの調整・設定が可能な項目一覧 52
簡易メニュー／入力切替 54
自動検出 54
手動選択 54
簡易メニュー／投映設定 55
投映モード 55
オートフォーカス KG-PS232Xh/232X のみ 56
自動台形補正 56
台形補正 57
オートパワーオフ 58
省電力モード KG-PS232Xh/232X のみ 59
ステータス表示 59
簡易メニュー／投映機能 60
一時画面消去 60
一時静止画面 60
ズーム 61
タイマー表示 63
音量調節 64
言語選択 65

目次

詳細メニュー／映像 66
明るさ調整／コントラスト調整／シャープネス 66
周波数補正 67
位相調整 68
鮮明度調整 68
詳細メニュー／画面 69
アスペクト比選択 69
水平位置調整／垂直位置調整 70
上下反転／左右反転 70
詳細メニュー／カラー 71
カスタムモード設定 71
ガンマ補正 71
色温度設定 72
ホワイトレベル選択 72
ホワイトバランス調整 73
カラースペース選択 74
彩度調整 74
色調補正 75
詳細メニュー／入力 76
詳細メニュー／管理画面 77
パスワード設定 77
バージョン 80
ランプ使用時間 81
ランプ使用時間リセット 82
初期化 83
起動画面 83
背景色 84

故障かな？と思ったら

インジケーターが点灯／点滅しているときは ... 85
このようなときは 86

メンテナンスについて

お手入れについて 88
プロジェクタ本体の汚れは 88
レンズの汚れは 88
吸気孔、排気孔のほこりは 88
本体内部の掃除は 88
ランプの交換 89

主な仕様

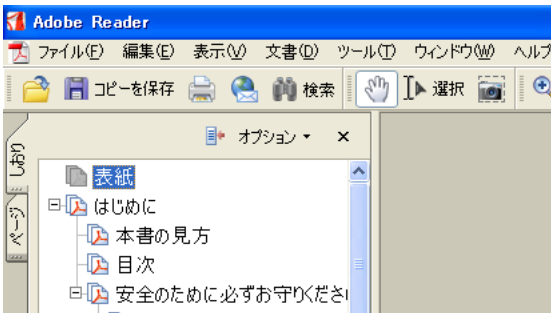
仕様一覧 92
KG-PS232Xh 92
KG-PS232X 93
KG-PV131X 94
KG-PV131S 95
対応周波数一覧表 96
外観図 97
KG-PS232Xh/232X 97
KG-PV131X/131S 97
アフターサービス 98

取扱説明書のリンクについて

この取扱説明書はアドビシステムズ社の Adobe Acrobat で作成されています。操作のしかたは“Adobe Reader ヘルプ”をご覧ください。

プロジェクタの取扱説明書は次のようにページの移動ができます。

- しおりにはリンクが貼られています。しおり欄の目的の見出し名をクリックするとそのページに飛びます。



- 取扱説明書の目次ページと、本文中の → P** と青色になっている参照ページにはリンクが貼られています。手アイコンを参照ページ上に合わせるとアイコンに変わります。マウスをクリックするとそのページにジャンプします。
  ウィンドウの下部にあるステータスバーのボタンをクリックするとジャンプ元（1 つ前の状態）に戻ります。

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害を与えたりすることがあります。

絵表示の意味

△	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（右図の場合は感電注意）が描かれています。	
⊘	この記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（右図の場合は分解禁止）が描かれています。	
●	この記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（右図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。	

使用上のお願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

1. **ご使用の前にはレンズシャッターを必ず開けてください。**
2. **投映レンズ面は素手でさわらないでください。**
   投映レンズ面に指紋や汚れがつくと、充分な画質が得られませんので、レンズ面には手をふれないでください。
3. **スクリーンについて**
   ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
4. **リモコンについて**
   本機の操作の一部はリモコンのみで行います。リモコンをなくさないようにご注意ください。
5. **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**
   動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
6. **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**
   高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
7. **廃棄について**
   本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったリしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、販売店または弊社「カスタマーセンター」に交換をご依頼ください。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があります。キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は販売店または弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。

高温注意

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となります。ランプ交換の際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、60 分以上たって充分にランプが冷えてから行ってください。

禁止

レンズをのぞかない

投映中にプロジェクタのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

禁止

次のようなところでは使用しない

火災・感電の原因となります。

- 暖房の近くや振動の多い所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 油煙や湿気の当たるような場所。（調理台や加湿器のそばなど）

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告

定格電圧以外
使用禁止

表示以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水場や水にぬれるような所には置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

電源プラグを
コンセントから抜く

故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

すぐ修理依頼を

取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

禁止

排気孔、吸気孔をふさがない

排気孔、吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 周囲の壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

電源プラグを
コンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となります。

禁止

プロジェクタの上に水が入った物を置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

安全のために必ずお守りください

⚠警告

電源プラグを
コンセントから抜く

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の付近の付着物はとる

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ソフトケースには本機および付属品以外は入れない

内部にクリップやホッチキスの針等の金属片や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

本機を移動するときは、緩衝付きの梱包材に入れる

- 本機を別の場所に移動する場合は、運搬時の落下･衝撃を防ぐために、付属のソフトケースに入れた上で、更に緩衝付きの梱包材に入れて運搬してください。
- ソフトケースにクリップやホッチキスの針等の金属片や異物が入っていると、移動時の振動で本体内部に入る場合があり、電源を入れたときに火災や感電の原因になります。

⚠注意

禁止

電源プラグを
コンセントから抜く

電源コード・電源プラグについて

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止器具などをはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源コードは本製品以外の製品には使用しないでください。

安全のために必ずお守りください

⚠注意

部品割れは
修理依頼を

部品が割れた際は修理依頼を

本機内部にはレンズやフィルタ、ランプなどのガラス部品を多数使用しています。
万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないように取り扱いに注意し、販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

無理な扱いはしない

ソフトケースの取り扱い上のご注意

本機を入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。本機の傷や故障の原因になることがあります。

内部の掃除は
販売店で

点検・工事について

1 年に一度くらいは内部の掃除を販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。

電池の取り扱い

電池の取り扱いには注意してください。火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- ボタン電池は幼児の手の届くところには置かない。

- 電池をリモコンに入れる場合、極性を（プラス＋とマイナスーの向き）に注意し、機器の表示通りに入れる。
- 使いきった電池はすぐに機器から取り出す。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。
- 電池を廃棄するときは、その地域の回収方法に従ってください。

投映中、レンズの前には物を置かない

- 投映中にレンズの前に水槽等、レンズ効果をもたらすものを置かないでください。火災の原因となることがあります。

高温注意

高温注意

投映中及び投映終了直後は排気孔付近が高温になっており、手を近づけるとやけどの原因となることがあります。
投映中及び投映終了直後は排気孔付近に触れずに温度が下がるまでお待ちください。

本製品を便利に使う機能

手間無く簡単にプロジェクタを使用したい。

本製品には「オートフォーカス機能」「自動台形補正機能」が搭載されています（オートフォーカス機能搭載は **KG-PS232Xh/232X** のみ）。工場出荷時の状態では双方の機能が ON になっているため、本製品をご使用される際には POWER/STANDBY ボタンを押していただき、ズームリングにより画像サイズを設定いただくだけで簡単に画像を投映する事が可能です。
詳しくは「基本的な使いかた」をご確認ください。 → P24

ワンポイント

自動台形補正機能とは?

投映時にプロジェクタ本体を上下に傾けると投映画面の歪みが発生します。
台形歪みには水平方向と垂直方向の二種類がありますが、本製品では垂直方向の歪みを手動もしくは自動で補正する機能が搭載されています。
詳しくは「自動台形補正」「台形補正」をご確認ください。 → P56, 57

投映する場所にあわせて鮮明な画像を投映したい。（例：黒板に投映したいなど）

簡易メニューの**投映モード**で目的に応じた「投映モード」を選択できます。例えば**黒板**モードを選択すれば黒板に合わせた色調整を自動で行い、細かな設定無しで鮮明な画像を投映することが可能です。その他にも**色優先**や**明るさ優先**などのモードがあります。
リモコンからの操作方法は「投映モード選択」をご確認ください。
→ P44
メニュー画面からの操作方法は「投映モード」をご確認ください。
→ P55

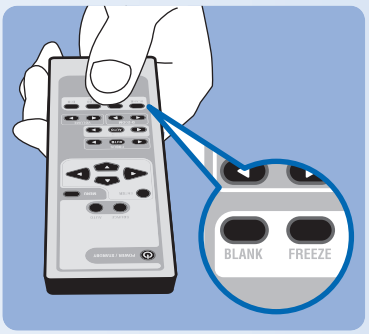
ワンポイント

投映モードとは?

本製品には予め使用目的に沿った投映モードが用意されています。**ガンマ補正**、**色温度設定**、**ホワイトレベル選択**などの細かな調整無しで目的に応じた即座の色調整が可能です。

一時的に投映を停止したい。

プレゼンテーション中や授業中などに一時的に投映を停止することができます。
一時静止画面（FREEZE）、**一時画面消去**（BLANK）を使えば、投映を一時的に止めたり、映像を一時的に消去する事が可能です。
リモコンからの操作方法は「映像・音声を一時消去する」「映像を一時停止する」をご確認ください。 → P43, 44
メニュー画面からの操作方法は「一時画面消去」「一時静止画面」をご確認ください。 → P60

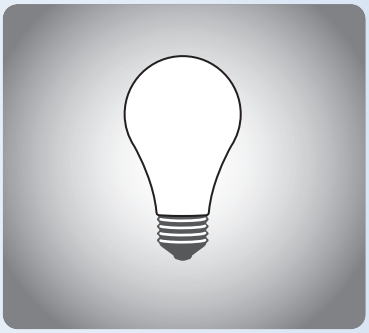


こんなときに便利

本製品を便利に使う機能

ランプをより長く使いたい

プロジェクタの消費電力を抑える「省電力モード」を使用すれば、ランプの寿命を長く保つ事が可能です。 KG-PS232Xh/232X のみ
リモコンからの操作方法は「省電力モード」をご確認ください。
→ P45
メニュー画面からの操作方法は「省電力モード」をご確認ください。
→ P59



使用後は素早くプロジェクタを片づけたい

本製品には「クイックオフ機能」が搭載されています。電源オフ後、すぐに電源コードを抜いてもファンが回り続け、ランプの冷却を行います。
クイックオフ機能に関する詳細は「投映から電源を切るまでの流れ」をご確認ください。 → P27

ワンポイント

クイックオフ機能とは?

本製品には「クイックオフ機能」が搭載されています。電源を切った後すぐに電源コードを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので即座の撤収が可能です。

盗難やいたずらが心配

Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応した盗難防止用ロックの搭載や「パスワード設定」など、本製品をより安全にご使用いただけるセキュリティロック機能が搭載されております。
盗難防止用ロックに関する詳細は「本体各部名称と機能」をご確認ください。 → P21
パスワード設定の設定方法は「パスワード設定」をご確認ください。
→ P77

ワンポイント

パスワード設定とは?

本製品にはプロジェクタのいたずらや無断使用を避けるためにパスワードを設定して、プロジェクタの起動を制限する事ができる機能が搭載されております。
パスワードを設定すると本体を起動した際にパスワードの入力画面が表示され、パスワードを入力しないと、使用できません。

リモコンから探す

リモコン送信部

POWER/STANDBY ボタン
電源を入れたり、スタンバイ状態に切り替えるボタンです。 → P37

SOURCE ボタン
入力ソースを選択するボタンです。
→ P42

ENTER ボタン
メニューの実行などに使用するボタンです。

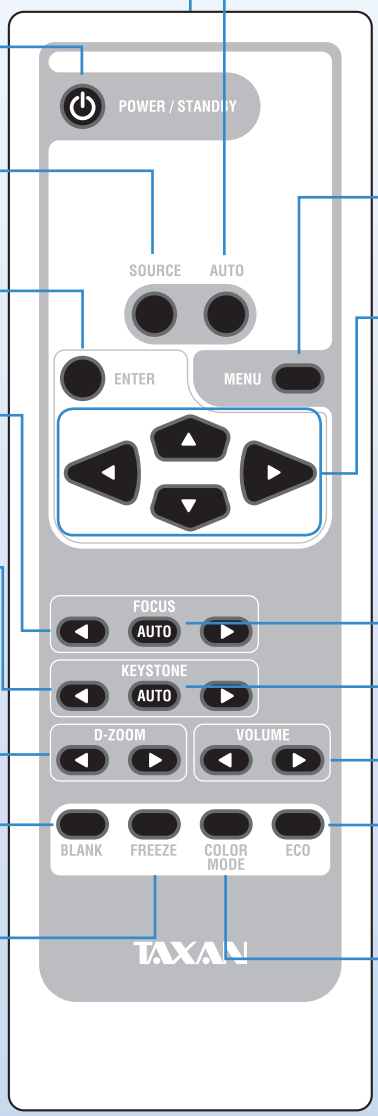
FOCUS ボタン
フォーカスを手動で操作するボタンです。 KG-PS232Xh/232X のみ
→ P45

KEYSTONE ボタン
台形補正を手動で操作するボタンです。 → P46

D-ZOOM ボタン
デジタルズームを調整するボタンです。 → P47

BLANK ボタン
映像・音声を一時消去するボタンです。 → P43

FREEZE ボタン
映像を一時停止するボタンです。
→ P44



AUTO ボタン
映像の自動調整を行います。（通常は、信号選択時に自動調整されます） → P42
※調整可能なのは RGB 信号のみです。

MENU ボタン
メニュー表示を行うボタンです。
→ P50

カーソルボタン
メニュー操作を行うボタンです。

AUTO FOCUS ボタン
自動的にフォーカスを調整するボタンです。 KG-PS232Xh/232X のみ
→ P43

AUTO KEYSTONE ボタン
自動的に台形歪みを補正するボタンです。 → P43

VOLUME ボタン
音量調節を行うボタンです。
→ P46

ECO ボタン
省電力モードに切り替えるボタンです。 KG-PS232Xh/232X のみ
→ P45

COLOR MODE ボタン
投映モードメニューを表示するボタンです。 → P44

ワンポイント

「BLANK」とは?
映像投映中に一時的に画面を消去する機能です。ホワイトボードなどに投映の際、一時的に映像を消去したい時に便利です。
詳しくは「映像・音声を一時消去する」をご確認ください。 → P43

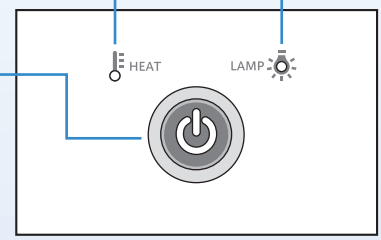
「FREEZE」とは?
投映している映像を一時的に停止する機能です。パソコンで資料を投映している際に、別の資料を探したい時などに一時的に映像を止めて資料を探す事ができる便利な機能です。
詳しくは「映像を一時停止する」をご確認ください。 → P44

「COLOR MODE」とは?
投映する場所に合わせて最適な色合いを自動調整する機能です。例えば黒板に投映する際には黒板モードを選択いただくと、黒板に最適な色調整を自動的に設定します。
詳しくは「投映モード選択」をご確認ください。 → P44

本体操作部から探す

HEAT インジケーター
本体の温度に関わる異常を表示するインジケーターです。 ➔ P85

POWER/STANDBY ボタン
電源を入れたり、スタンバイ状態に切り替えるボタンです。 ➔ P37
POWER/STANDBY ボタンの電源マーク⏻は「省電力モード」の ON/OFF や温度、ランプ異常を表すインジケーターとなっています。
省電力モード ➔ P45, 59
インジケーター表示 ➔ P85



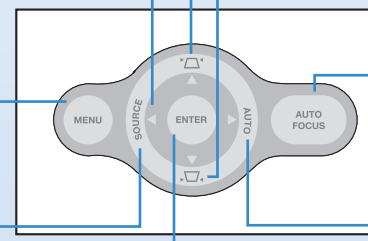
LAMP インジケーター
ランプに関わる異常を表示するインジケーターです。 ➔ P85

カーソルボタン
メニュー操作を行うボタンです。(メニュー画面を表示していない状態では他の機能に割り当てられます)

MENU ボタン
メニュー表示を行うボタンです。 ➔ P50

SOURCE ボタン
入力ソースの画面を表示するボタンです。 ➔ P42

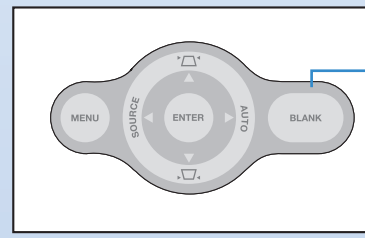
ENTER ボタン
メニューの実行などに使用するボタンです。



KEYSTONE ボタン
台形補正を手動で操作するボタンです。 ➔ P46

AUTO FOCUS ボタン
自動的にフォーカスを調整するボタンです。 KG-PS232Xh/232X のみ ➔ P43

AUTO ボタン
映像の自動調整を行います。(通常は、信号選択時に自動調整されます) ➔ P42
※調整可能なのは RGB 信号のみです。



BLANK ボタン
映像・音声を一時消去するボタンです。 KG-PV131X/131S のみ ➔ P43

ワンポイント

メニュー表示とは?

本製品のメニューには**簡易メニュー**、**詳細メニュー**の 2 種類があります。

簡易メニューとはよく使用する機能を集めたメニューです。**自動台形補正**、**オートフォーカス**の ON/OFF や**投映モード**などが含まれます。反対に**詳細メニュー**では映像の細かな調整や**パスワード設定**などの使用頻度の少ない設定が含まれています。

詳しくは「メニューの使いかた」をご確認ください。 ➔ P49

「台形歪み」とは?

投映時にプロジェクタ本体をスクリーンに対して上下左右に傾けた際に発生する投映画面の歪みのことを言います。

台形歪みには左右に傾けた場合の水平方向と上下に傾けた場合の垂直方向の二種類がありますが、本製品では垂直方向の歪みを手動もしくは自動で補正する事ができます。

詳しくは「自動台形補正」「台形補正」をご確認ください。
➔ P56, 57

リモコン、本体操作部から探す

操作画面から探す

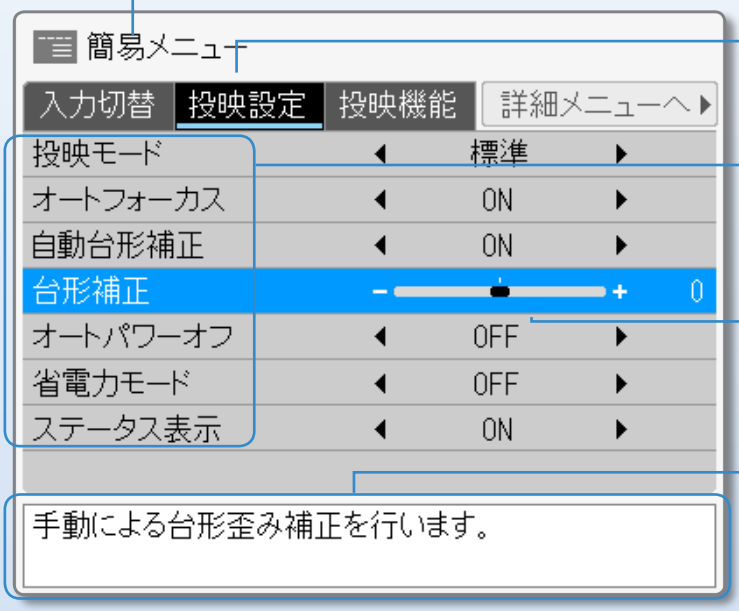
メニューの見方や操作方法を説明します。メニューの機能や調整・設定のしかたは各々の説明ページをご確認ください。リモコンを使用される際は、リモコンをプロジェクタのリモコン受光部に向けて操作してください。

メニュー画面の名称とはたらき

本製品のメニューには基本的な機能を操作可能な**簡易メニュー**と、映像の設定などの詳細な設定ができる**詳細メニュー**の 2 種類があります。操作方法は同様ですので、ここでは**簡易メニュー**を例にメニュー画面の名称とはたらきを説明します。

「簡易」「詳細」画面に関して

簡易メニューは背景色が薄いグレーになっています。**詳細メニューへ**を選択すると**詳細メニュー**へ変わります。



メニュー名

メニューの見出しです。選択されたメニューの色が変わります。

項目名

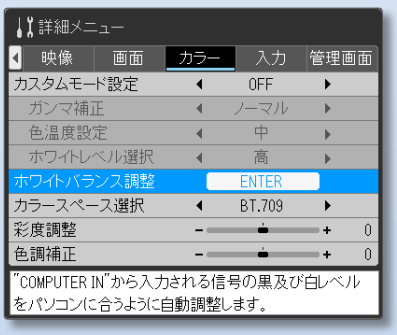
調整・設定の名称です。選択された項目にカーソル（青）が移動します。

調整バー／設定内容

調整バーの増減は調整状態を表します。設定されている内容は文字で表示されます。

ヘルプ

選択されたメニュー／項目に関するヘルプが表示されます。



詳細メニュー

詳細メニューではメニュー背景色が薄いグレーから濃いグレーに変わります。

リモコン、本体操作部から探す
操作画面から探す

メニュー項目一覧

簡易メニュー

メニュー名	項目名	参照ページ
入力切替	自動検出	P54
	手動選択 Computer1	P54
	Computer2	P54
	Video	P54
	S-Video	P54
投映設定	投映モード	P55
	オートフォーカス	P56
	自動台形補正	P56
	台形補正	P57
	オートパワーオフ	P58
	省電力モード	P59
	ステータス表示	P59
投映機能	一時画面消去	P60
	一時静止画面	P60
	ズーム	P61
	タイマー表示	P63
	音量調節	P64
	言語選択	P65

詳細メニュー

メニュー名	項目名	参照ページ
映像	明るさ調整	P66
	コントラスト調整	P66
	シャープネス	P66
	周波数補正	P67
	位相調整	P68
	鮮明度調整	P68
画面	アスペクト比選択	P69
	水平位置調整	P70
	垂直位置調整	P70
	上下反転	P70
	左右反転	P70
カラー	カスタムモード設定	P71
	ガンマ補正	P71
	色温度設定	P72
	ホワイトレベル選択	P72
	ホワイトバランス調整	P73
	カラースペース選択	P74
	彩度調整	P74
	色調補正	P75
入力	Computer1	P76
	Computer2	P76
	Video	P76
	S-Video	P76
管理画面	パスワード設定	P77
	バージョン	P80
	ランプ使用時間	P81
	ランプ使用時間リセット	P82
	初期化	P83
	起動画面	P83
	背景色	P84

リモコン、本体操作部から探す

キーワードから探す

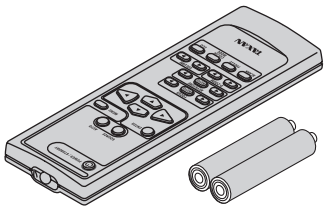
	キーワード	参照ページ
あ行	アスペクト比	P69
	位相	P68
	色温度	P72
	インジケーターの点滅	P85
	映像・音声の一時消去	P43, 60
	映像の一時停止	P44, 60
	オートパワーオフ	P58
	オートフォーカス機能	P43, 56
	音量調節	P46, 64
か行	画面がぼやける	P40
	カラースペース	P74
	簡易メニュー	P52
	ガンマ	P71
	起動画面	P83
	クイックオフ機能	P27
	言語	P65
	コントラスト	P66
さ行	彩度	P74
	色調	P75
	自動台形補正（オートキーストーン）	P43, 56
	シャープネス	P66
	周波数	P67, 96
	詳細メニュー	P53
	省電力モード（エコモード）	P45, 59
	初期化	P83
	初期設定	P37
	スタンバイ	P36
	ステータス表示	P59
た行	台形補正（キーストーン補正）	P46, 57
	台形歪み	P43, 46, 56, 57
	タイマー	P63
	デジタルズーム	P47, 61
	天吊り設置	P70
	投映モード	P44, 55
な行	入力切替	P42, 54
	入力ソース	P42, 54
	ノートパソコンの外部出力信号	P30
は行	背景色	P84
	背面設置	P70
	フォーカス調整	P40, 45
	ホワイトバランス	P73
	ホワイトレベル	P72
ま行	無信号	P30
ら行	ランプの交換	P89
A	AUTO	P42
	AUTO FOCUS	P43
	AUTO KEYSTONE	P43
B	BLANK	P43
C	COLOR MODE	P44
	Computer1/2	P54, 76
D	D-ZOOM	P47
E	ECO	P45
F	FOCUS	P45
	FREEZE	P44
H	HEAT	P85
K	KEYSTONE	P46
L	LAMP	P85
M	MENU	P50
P	POWER/STANDBY	P13, 14, 25
R	RS232C 端子	P35
S	SOURCE	P42
V	Video/S-Video	P54, 76
	VOLUME	P46

使用前の確認

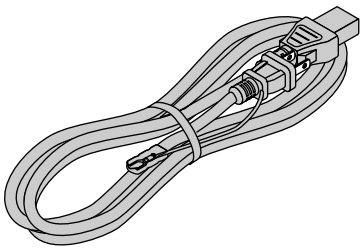
付属品を確認する

本体と付属品を箱から取り出して、次のものが同梱されていることをご確認ください。
※付属の電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

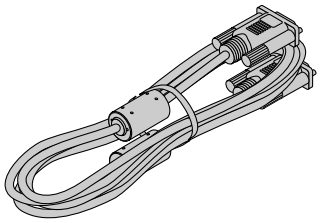
リモコン（単 3 電池 2 個付）：1 個
プロジェクタ操作用のリモコンです。 → P22



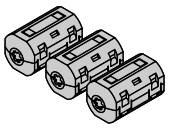
電源コード【1.8m】：1 本
電源を供給する電源コードです。
接続方法は「電源を入れる」参照。 → P36



RGB 信号ケーブル【ミニ D-Sub15 ピン、2m】：1 本
パソコンとの接続に使用します。接続方法は「パソコンとの接続」参照。 → P29



フェライトコア：3 個
電源コード（2 個）およびビデオケーブル、S ビデオケーブル（1 個）に取り付けるフェライトコアです。
取り付け方は「フェライトコアの取り付け方」参照。
→ P31, 36



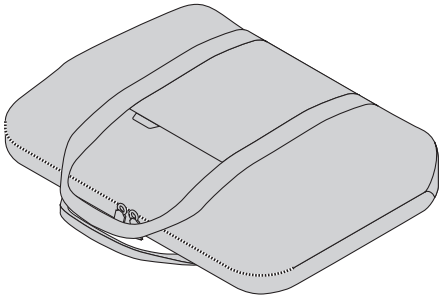
ワンポイント

フェライトコアとは?

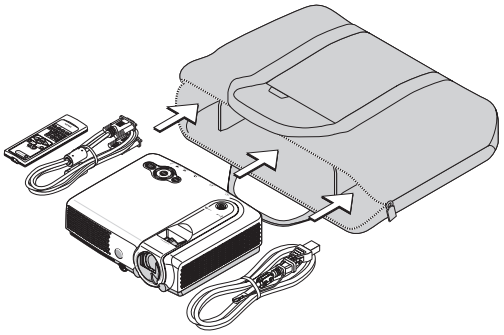
デジタル機器などのインターフェースケーブルの放射ノイズを減衰する為の付属品です。ケーブルにノイズとなる高周波電流が流れると、それによって磁界が発生しノイズが放射されますが、これをフェライトコアが吸収し熱に変換して放射します。フェライトコアの装着によって画像の劣化が軽減されます。

付属品を確認する

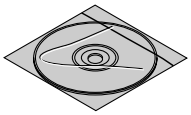
ソフトケース：1 個
プロジェクタ本体や付属品、取扱説明書を入れるケースです。



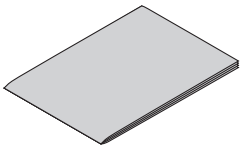
入れ方
本体のレンズシャッターを閉めて、レンズを上向きにケースに収納してください。付属品は収納ポケットに入れてください。



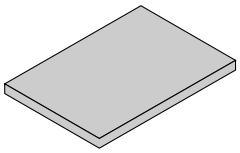
取扱説明書【CD-ROM 版】：1 枚



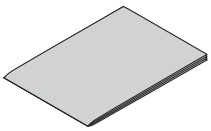
スタートアップガイド：1 枚



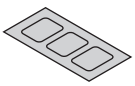
安全とサポートサービスご案内：1 冊



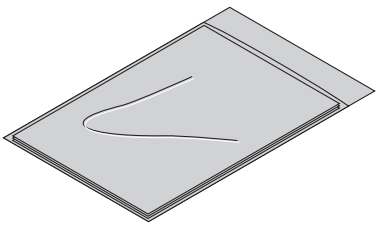
セキュリティシート：1 枚



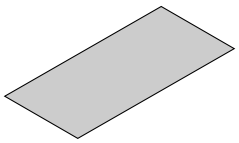
セキュリティラベル：1 枚



TAXAN サポート用紙セット

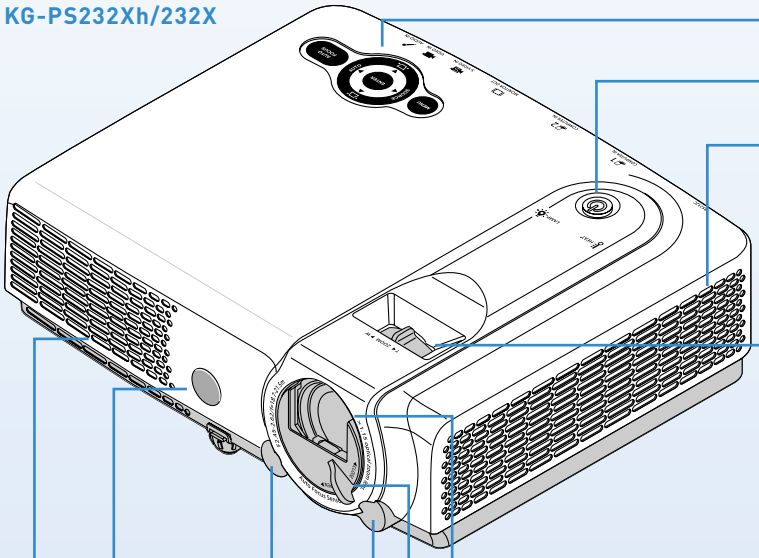


保証書

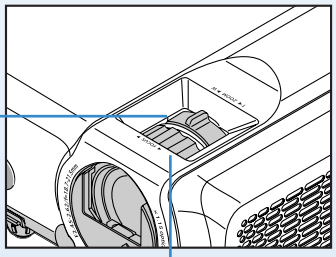


本体各部名称と機能

KG-PS232Xh/232X



KG-PV131X/131S



本体操作部 → P14

POWER/STANDBY ボタン → P36

吸気孔

フォーカスリング
画面のフォーカスを調整します。 → P40

ズームリング
画面の大きさを調整します。 → P39

レンズ

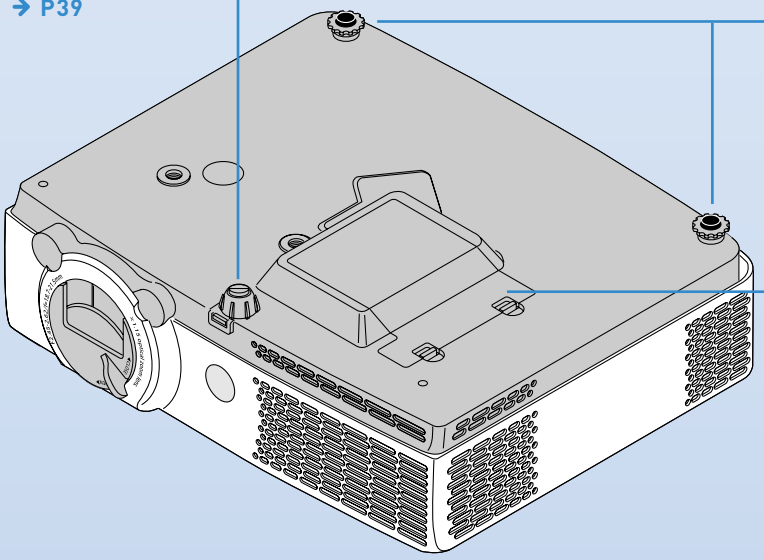
レンズシャッター
レンズを保護するシャッターです。投映中にシャッターを閉じると自動的に「映像・音声の一時消去」がはたらきます。 → P36

フォーカスセンサー

リモコン受光部

排気孔

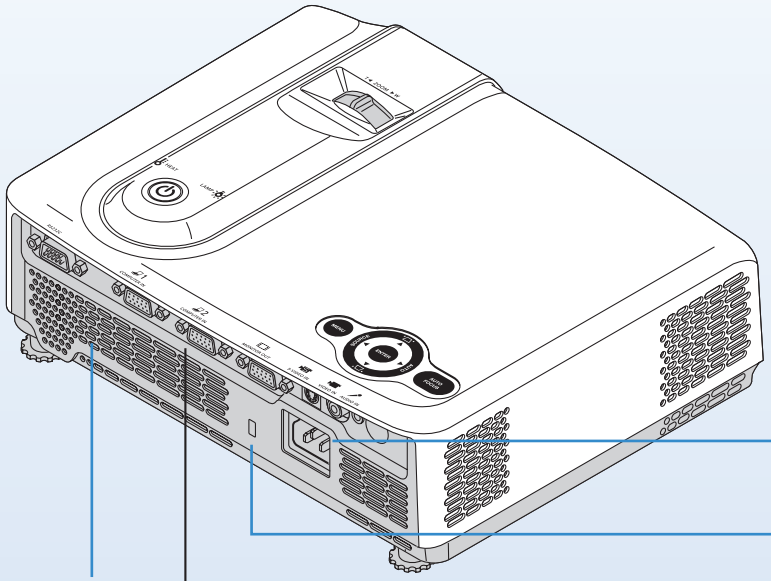
前部アジャスタ
投映角度を調整できます。 → P39



後部アジャスタ
投映角度を調整できます。 → P39

ランプカバー
ランプ交換の方法は「ランプの交換」参照。 → P89

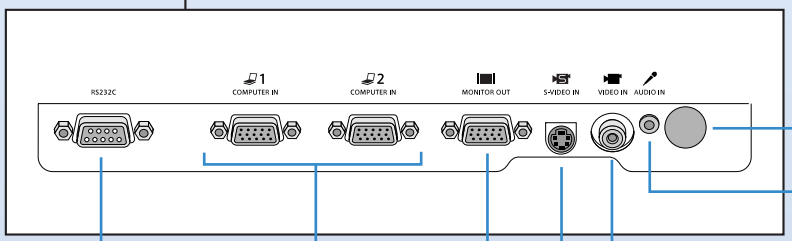
本体各部名称と機能



AC IN 端子
→ P36

盗難防止用ロック穴
Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。（下記参照）

吸気孔



リモコン受光部

AUDIO IN 端子 → P33

VIDEO IN 端子 → P31

S-VIDEO IN 端子 → P31

MONITOR OUT 端子
映像出力用の端子です。
→ P34

RS232C 端子
プロジェクタ制御用の端子です → P35

COMPUTER IN 端子
→ P29

盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。この製品についてのお問い合わせ先は、右記のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社
〒 104-0032　東京都中央区八丁堀 1-5-2
はごろもビル 5F
Tel : 03-3537-1070
Fax : 03-3537-1071

使用前の確認

リモコン各部名称と機能

本製品には 2 種類のリモコンがあります。
ここでは **KG-PS232Xh/232X** 用のリモコンを基に説明を行っています。
※ **KG-PV131X/131S** 用のリモコンには一部のボタンがありません。詳しくは以下の説明をご確認ください。

お願い

- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、ぬれた場合はすぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師の診断を受けてください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- リモコンでしかできない操作（メニュー操作）がありますので、なくさないようにご注意ください。

リモコン送信部

POWER/STANDBY ボタン
電源を入れたり、スタンバイ状態に切り替えるボタンです。 → P37

SOURCE ボタン
入力ソースを選択するボタンです。
→ P42

ENTER ボタン
メニューの実行などに使用するボタンです。

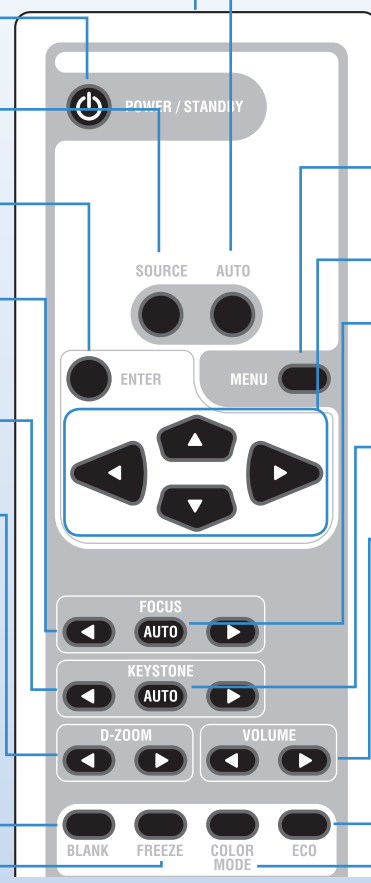
FOCUS ボタン
フォーカスを手動で操作するボタンです。 KG-PS232Xh/232X のみ
→ P45

KEYSTONE ボタン
台形補正を手動で操作するボタンです。 → P46

D-ZOOM ボタン
デジタルズームを調整するボタンです。 → P47

BLANK ボタン
映像・音声を一時消去するボタンです。 → P43

FREEZE ボタン
映像を一時停止するボタンです。
→ P44



AUTO ボタン
映像の自動調整を行います。（通常は、信号選択時に自動調整されます） → P42
※調整可能なのは RGB 信号のみです。

MENU ボタン
メニュー表示を行うボタンです。
→ P50

カーソルボタン
メニュー操作を行うボタンです。

AUTO FOCUS ボタン
自動的にフォーカスを調整するボタンです。 KG-PS232Xh/232X のみ
→ P43

AUTO KEYSTONE ボタン
自動的に台形歪みを補正するボタンです。 → P43

VOLUME ボタン
音量調節を行うボタンです。
→ P46

ECO ボタン
省電力モードに切り替えるボタンです。 KG-PS232Xh/232X のみ
→ P45

COLOR MODE ボタン
投映モードメニューを表示するボタンです。 → P44

ワンポイント

「BLANK」とは?
映像投映中に一時的に画面を消去する機能です。ホワイトボードなどに投映の際、一時的に映像を消去したい時に便利です。
詳しくは「映像・音声を一時消去する」をご確認ください。 → P43

「FREEZE」とは?
投映している映像を一時的に停止する機能です。パソコンで資料を投映している際に、別の資料を探したい時などに一時的に映像を止めて資料を探す事ができる便利な機能です。詳しくは「映像を一時停止する」をご確認ください。 → P44

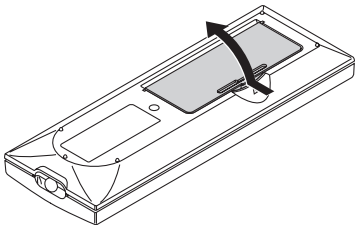
「COLOR MODE」とは?
投映する場所に合わせて最適な色合いを自動調整する機能です。例えば黒板に投映する際には黒板モードを選択いただくと、黒板に最適な色調整を自動的に設定します。
詳しくは「投映モード選択」をご確認ください。 → P44

リモコンを準備する

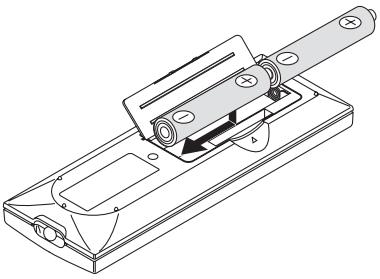
電池の入れ方（交換のしかた）

リモコン本体と電池は分かれて梱包されています。使用される前に電池をリモコン本体に入れてください。
電池交換の際は同様の手順で電池交換を行ってください。

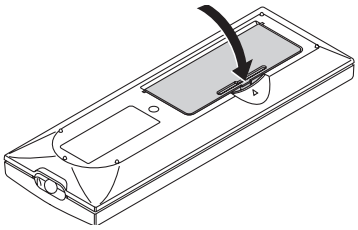
1. リモコン裏面の電池ケースのふたを開きます。



2. ケース内部の表示通りに＋、－の向きを合わせて入れます。



3. 電池ケースのふたを閉めます。



お願い

- 交換する電池は、付属の単三電池と同じ種類のものをご使用ください。種類の異なった電池を使用すると破裂のおそれがあります。
- 使用済み電池は地域の分別方法に従って処分してください。

お知らせ

- 本体のリモコン受光部やリモコンのリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。本製品を天吊り設置するときは、受光不具合を防ぐために、蛍光灯より 1.5m 以上離して設置してください。
- 電池が消耗していると正常に動作しません。

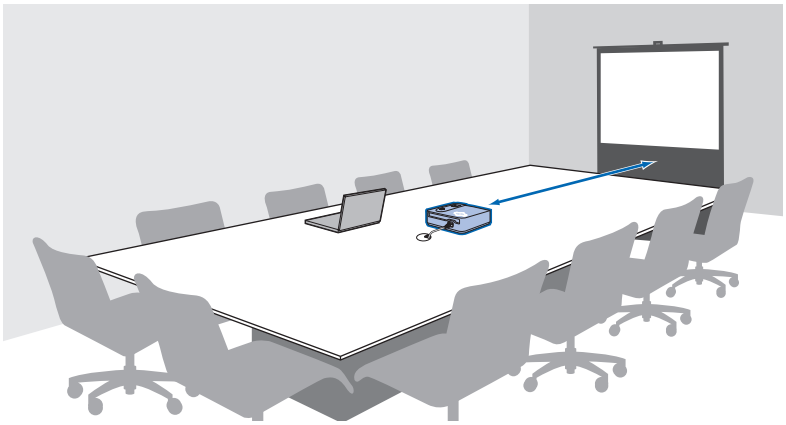
投映から電源を切るまでの流れ

基本的な操作

ここではプロジェクタの設置から映像投映、終了までの操作方法を簡単に説明します。個々の細かな操作方法に関しては各説明ページをご確認ください。

1 設置する

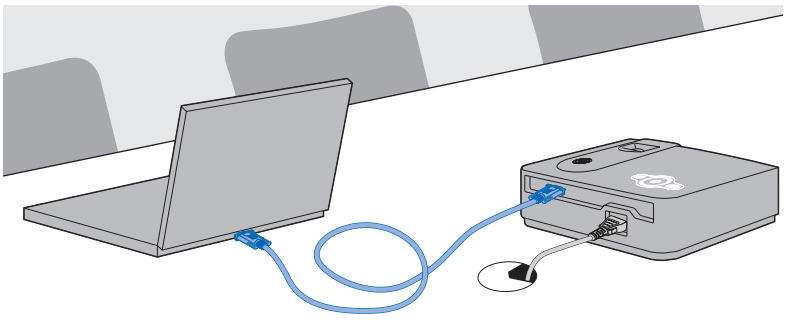
スクリーン及びプロジェクタの設置場所を決めて設置します。
設置の際の距離や置き方に関しては「画面サイズと投映距離」をご確認ください。 → P28



2 パソコンや映像機器と接続する

本製品とお手持ちの機器を接続します。

- パソコンの RGB 端子と接続する場合「パソコンとの接続」 → P29
- 映像機器の映像端子（RCA 端子）、S 端子と接続する場合「一般的な映像機器との接続」 → P31
- 映像機器の YCbCr 端子、YPbPr 端子と接続する場合「YCbCr 端子または YPbPr 端子使用の場合」 → P32



お知らせ

- 品質には万全を期しておりますが、DLP® 方式のプロジェクタにおいては、ごくまれに画素の中に黒点もしくは輝点が存在する事があります。予めご了承ください。
- スクリーンは別途お買い求めください。

ワンポイント

「RGB 端子」とは?

ディスプレイなどに映像信号を転送するための端子で R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 色に分解してアナログ信号として転送する方式の端子です。パソコンのディスプレイは RGB の色空間によって表現されており、3 色を合成する事によってあらゆる色を再現する事ができます。コネクタ形状には主にミニ D-Sub15 ピンと呼ばれる規格が用いられており、RGB の色信号と同時に信号同期のための制御信号などが転送されています。

「映像端子」「S 端子」「YCbCr 端子」「YPbPr 端子」とは?

映像端子には「コンポジット映像端子」「セパレート映像端子」「コンポーネント映像端子」など数種類の端子があります。

「コンポジット映像端子」は通常「ピン端子」や「RCA 端子」と呼ばれ、主にビデオデッキや書画カメラなどに搭載されています。

「セパレート映像端子」は通常「S 端子」と呼ばれるのが一般的で、形状的にはミニ DIN-4 ピンが使用されるため S 端子の事をこのように表記してある場合もあります。

「コンポーネント映像端子」は「色差入力端子」とも呼ばれ、色信号 C を B-Y 色差信号 Cb(Pb) と、R-Y 色差信号 Cr(Pr) に分けて伝送している通常 NTSC（480i）の信号端子を「Y/Cb/Cr」と表し、NTSC 以上の映像フォーマットが使用できる端子を「Y/Pb/Pr」と表す事があります。

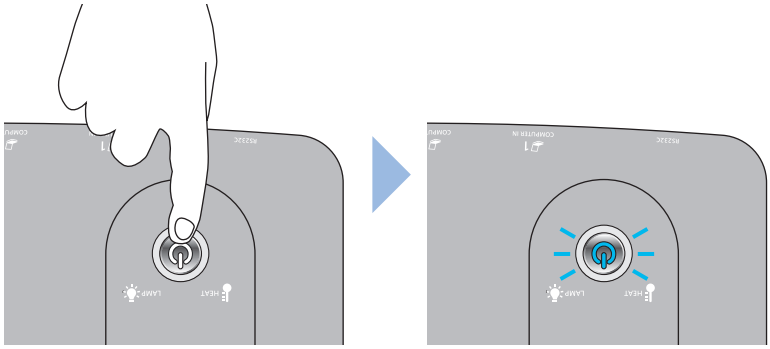
お知らせ

- DVD プレーヤなど YCbCr 端子の機器と接続するには市販のコンポーネントケーブルが必要です。
- HD 映像機器など YPbPr 端子の機器と接続するには市販のコンポーネントケーブルが必要です。

投映から電源を切るまでの流れ

3 電源を入れる

リモコン、もしくはプロジェクタ本体の POWER/STANDBY ボタンを押して電源を入れます。
POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが待機時の「橙」から「青（点滅）」に変わります。電源を入れる際の詳細は「電源を入れる」 → P36



4 映像が投映される

ご購入後はじめて電源を入れたときのみ「言語設定」などの初期設定が表示されます。「購入後はじめて電源を入れる場合」 → P37
工場出荷時の設定では**自動検出**の設定が **ON** になっているため、自動的に入力信号を検知して映像を投映します。

- ノートパソコンから映像を投映の際に、映像が投映されない場合は「ノートパソコンの外部出力信号を出力するには」 → P30

次のページに続く →

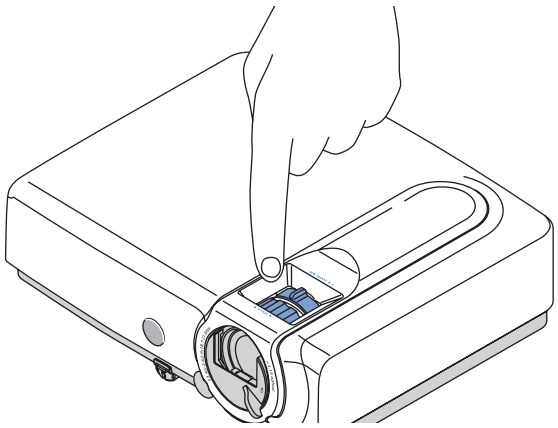
ワンポイント

本製品には「クイックスタート機能」が搭載されています。クイックスタート機能とは POWER/STANDBY ボタンを押してから短時間で映像を投映する機能です。POWER/STANDBY ボタンを押してから 10 数秒で映像が投映されます。

投映から電源を切るまでの流れ

5 投映画面をスクリーンに正しく合わせる

- **KG-PS232Xh/232X** には「オートフォーカス機能」が搭載されています。ズームリングで画面の大きさを調整するだけで自動的にフォーカスが調整されます。
- **KG-PV131X/131S** には「オートフォーカス機能」が搭載されていないため、ズームリング及びフォーカスリングで画面の大きさとフォーカスを調整してください。詳しくは「フォーカスを合わせる」 → P40



ワンポイント

オートフォーカス機能とは?

KG-PS232Xh/232X にはオートフォーカス機能が搭載されています。オートフォーカス機能とはスクリーンまでの距離を測定して自動的にフォーカス調整を行う機能です。プロジェクタ本体前部の赤外線センサーによりスクリーン位置を判別しフォーカスを調整します。

設定方法は「オートフォーカス」をご確認ください。 → P56

6 画像や映像を調整する

必要に応じて映像を最適な状態に調整してください。

- AUTO ボタン：RGB 信号の画像を自動調整します。
  「自動調整」 → P42
- **投映モード**：目的に応じた投映モードを選択できます。
  「投映モード選択」 → P44
- **詳細メニュー**：**映像**、**カラー**などより詳細の映像設定が行えます。
  「詳細メニュー」 → P66

ワンポイント

投映モードとは?

投映する場所に合わせて最適な色合いを自動調整する機能です。

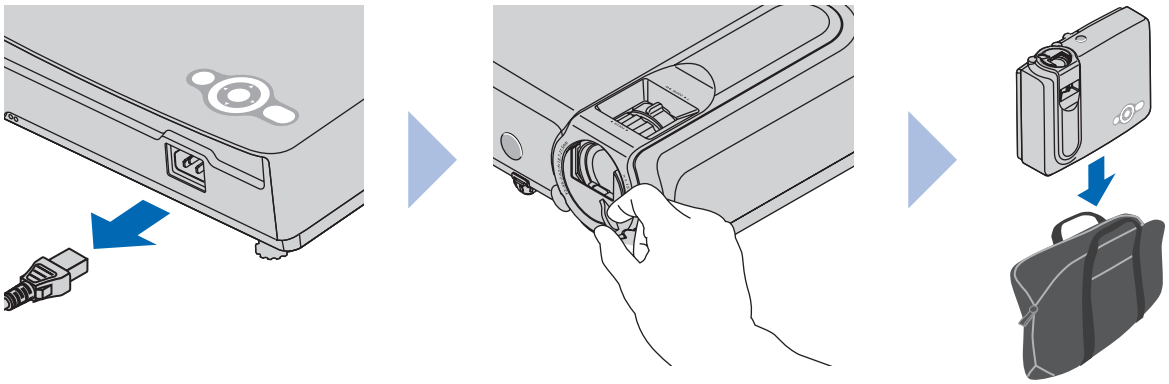
例えば黒板に投映する際には**黒板**モードを選択いただくと、黒板に最適な色調整を自動的に設定します。

投映から電源を切るまでの流れ

7 投映終了後電源を切る

投映終了後は POWER/STANDBY ボタンを押して電源を切ります。
「電源を切ります。よろしければ"POWER/STANDBY"を押してください。("MENU"を押すとキャンセルします。)」とメッセージが表示されます。

POWER/STANDBY ボタンを押すと投映画面が消え、電源を切る動作に入ります。クイックオフ機能を使用しない場合は、POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが待機時の「橙」に点灯している事を確認してから電源コードを抜いてください。電源コードを抜くと POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが消灯します。



ワンポイント

クイックオフ機能とは?

本製品には「クイックオフ機能」が搭載されています。電源を切った後すぐに電源コードを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので即座の撤収が可能です。

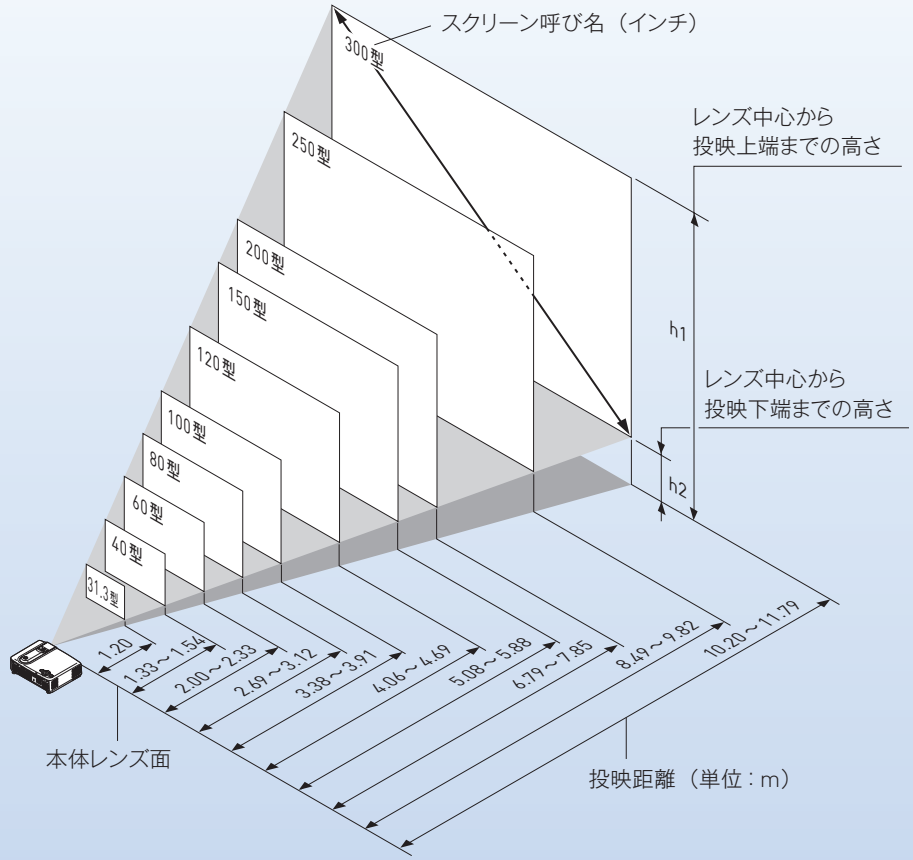
お知らせ

- **電源コードを接続した状態で冷却を行ったときよりランプが再点灯しにくくなることがあります。**
- **冷却ファンが回転している間はバッグ等に入れないでください。**

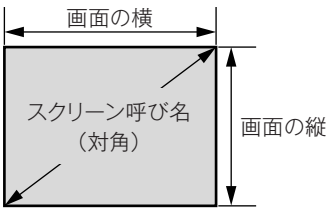
設置する

- プロジェクタ本体を設置する際に、投映される映像がどのくらいの画面サイズになるかを知りたいときの目安にしてください。
- フォーカス(焦点)の合う投映距離は本体レンズ面から 1.20m ～ 11.79m です。この範囲内に設置してください。
- プロジェクタを天吊り設置する場合は投映方法を変更する必要があります。「上下反転／左右反転」をご参照ください。 → P70

画面サイズと投映距離



スクリーン呼び名（インチ）	画面サイズ 横×縦（m）	投映距離 ワイド～テレ（m）	高さ h1（m）	高さ h2（m）
31.3 型	0.64 × 0.48	— ～ 1.20	0.53	0.05
40 型	0.81 × 0.61	1.33 ～ 1.54	0.67	0.06
60 型	1.22 × 0.91	2.00 ～ 2.33	1.00	0.09
80 型	1.63 × 1.22	2.69 ～ 3.12	1.35	0.13
100 型	2.03 × 1.52	3.38 ～ 3.91	1.68	0.16
120 型	2.44 × 1.83	4.06 ～ 4.69	2.02	0.19
150 型	3.05 × 2.29	5.08 ～ 5.88	2.53	0.24
200 型	4.06 × 3.05	6.79 ～ 7.85	3.36	0.31
250 型	5.08 × 3.81	8.49 ～ 9.82	4.20	0.39
300 型	6.10 × 4.57	10.20 ～ 11.79	5.04	0.47



- 設計値のため、± 5%の誤差があります。
- この表はレンズ先端およびレンズ中心を基準とし、また、本体が水平の状態（アジャスタを縮めた状態）で表しています。

パソコンや映像機器と接続する

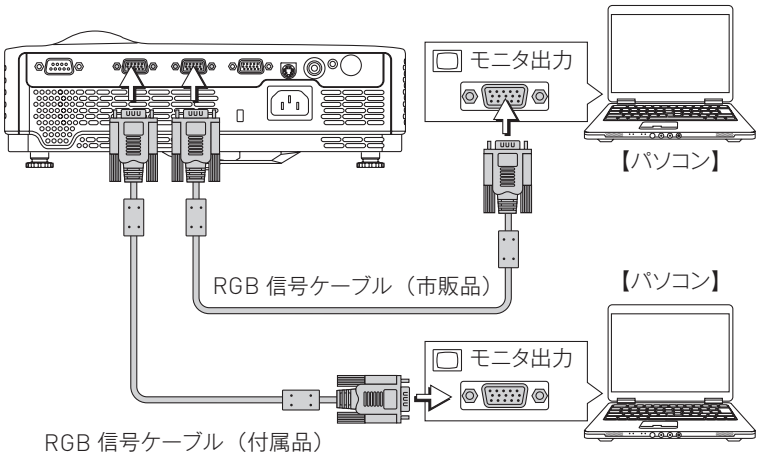
パソコンとの接続

パソコンを接続すると会議や講義などでパソコンの映像を大画面スクリーンに映し出す事ができます。

パソコンとの接続の前にご確認ください。

- **KG-PV131S** の適した解像度は 800 × 600 ドット（S-VGA）、最大表示可能解像度は 1024 × 768 ドット（XGA）です。
- **KG-PS232Xh/232X**、**KG-PV131X** の適した解像度は 1024 × 768 ドット（XGA）、最大表示可能解像度は 1280 × 1024 ドット（S-XGA）です。

上記最大表示可能解像度を超える場合はパソコン側で表示可能な解像度に変更してください。詳しくは「対応周波数一覧表」をご確認ください。
→ P96
パソコンの画面解像度設定方法はお使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書やオンラインヘルプをお読みになるか、パソコンメーカーへお問い合わせください。



本機の「COMPUTER IN1/2 端子」とパソコンの映像出力端子を付属品もしくは市販の RGB 信号ケーブルで接続します。

- 接続するときは端子の向きを合わせて差し込んでください。その後つまみを回して本体の端子に固定します。
- 工場出荷時は入力信号の設定が**オート**に設定されていますが、映らない場合は**詳細メニュー**の**入力** ▶ **Computer1/2** で入力信号の設定を**コンピュータ**に切り換えてください。入力信号の設定に関する詳細は「入力」をご確認ください。 → P76

お知らせ

- **付属の RGB ケーブルより長いケーブルの使用やケーブルの延長をするとノイズの発生など、画像が劣化する可能性があります。長いケーブルを使用される際にはノイズキャンセラなどの使用をお勧めいたします。詳しくは設置業者などにご相談ください。**
- **パソコンの出力周波数を 60Hz に設定していただくと、最もきれいな映像が表示されます。**

ワンポイント

「RGB 端子」とは?

ディスプレイなどに映像信号を転送するための端子で R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 色に分解してアナログ信号として転送する方式の端子です。パソコンのディスプレイは RGB の色空間によって表現されており、3 色を合成する事によってあらゆる色を再現する事ができます。コネクタ形状には主にミニ D-Sub15 ピンと呼ばれる規格が用いられており、RGB の色信号と同時に信号同期のための制御信号などが転送されています。

対応周波数とは?

対応周波数とは、本製品が対応している走査周波数の幅を示します。走査周波数とはディスプレイが画面描画を行う際の速度を表し、1 秒間に描画できるラインの数を水平走査周波数、1 秒間に画面を書き換える回数を垂直走査周波数と呼びます。走査周波数が高いほど解像度や同時発色数を上げることができ、ちらつきの少ない表示を行うことが可能です。例えば垂直走査周波数が 70Hz のディスプレイは 1 秒間に 70 回画面を描画する事ができます。

ワンポイント

本製品には COMPUTER IN 端子が 2 つ搭載されています。会議や授業などでパソコンを 2 台使用される際に、プロジェクタ本体に同時に接続する事が可能です。

- 本製品に付属している RGB ケーブルは 1 本です。2 台で使用される際には市販の RGB ケーブルを追加でご購入ください。
- 2 台のパソコンを接続している際には最初に検出された映像を投映します。映像を切り換える時は本体もしくはリモコンの SOURCE ボタンを押して入力を切り換えてください。

パソコンや映像機器と接続する

ノートパソコンの外部出力信号を出力するには

ノートパソコンを接続する際は、ケーブル接続とノートパソコン起動の手順や、ノートパソコン起動時の操作など知識が必要です。お手持ちのノートパソコン取扱説明書やオンラインヘルプを確認しながら、以下の手順を行ってみてください。

1. ノートパソコンから本製品に信号がでているか確認する

ノートパソコンの液晶画面に映像が表示されていても外部出力信号が出力されているとは限りません。

2. ノートパソコンから信号が出ていないときは外部出力信号を出力する。

パソコンメーカーによって外部出力信号の出力方法が異なります。詳しくは以下の表をご参照ください。

メーカー名	キー
ACER	Fn + F5
DELL	Fn + F8
EPSON	Fn + F8
FUJITSU	Fn + F10
Hewlett-Packard	Fn + F4
IBM	Fn + F7
Lenovo	Fn + F7
NEC	Fn + F3
Panasonic	Fn + F3
SHARP	Fn + F5
SONY	Fn + F7
SOTEC	Fn + F3 ～ F5
TOSHIBA	Fn + F5

注）表の内容は 2007 年 12 月現在のものです。

お知らせ

ノートパソコンの液晶画面と本製品を同時に表示させた場合、液晶画面は正常に表示されていても投映された映像が正常でない場合があります。その場合はノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにしてお試しください。左記の 2 のような操作をしたり、液晶パネルを閉じたりすると、外部出力のみとなる場合があります。

パソコンや映像機器と接続する

一般的な映像機器との接続

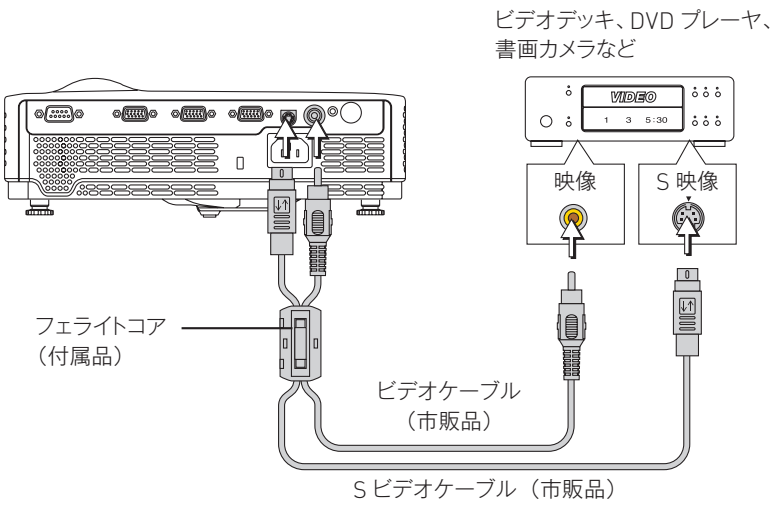
ビデオデッキやテレビ、ビデオカメラなど各種ビデオ機器からの映像を本製品で投映する事ができます。

RCA 端子使用の場合

- 本製品の VIDEO IN 端子と市販のビデオケーブルで接続します。
- 工場出荷時は VIDEO IN 端子の入力設定が**オート**に設定さていますが、映らない場合は**詳細メニュー**の**入力** ▶ **Video** で入力設定を切り替えてください。詳しくは「入力」をご確認ください。 ➔ P76

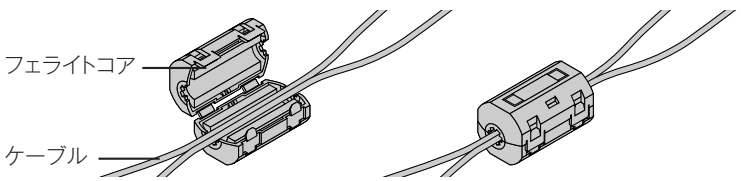
S 端子使用の場合

- 本製品の S-VIDEO IN 端子と市販の S ビデオケーブルで接続します。
- 工場出荷時は S-VIDEO IN 端子の入力設定が**オート**に設定されていますが、映らない場合は**詳細メニュー**の**入力** ▶ **S-Video** で入力設定を切り替えてください。詳しくは「入力」をご確認ください。 ➔ P76



フェライトコアの取り付け方

市販のビデオケーブルと S ビデオケーブルを図のように束ねて、付属のフェライトコアを取り付けてください。



ワンポイント

「RCA 端子」「S 端子」とは?

映像端子には「コンポジット映像端子」「セパレート映像端子」「コンポーネント映像端子」など数種類の端子があります。

「コンポジット映像端子」は通常「ピン端子」や「RCA 端子」と呼ばれ、主にビデオデッキや書画カメラなどに搭載されています。

「セパレート映像端子」は通常「S 端子」と呼ばれるのが一般的で、形状的にはミニ DIN-4 ピンが使用されるため S 端子の事をこのように表記してある場合もあります。

「コンポーネント映像端子」は「色差入力端子」とも呼ばれ、色信号 C を B-Y 色差信号 Cb(Pb) と、R-Y 色差信号 Cr(Pr) に分けて伝送している通常 NTSC（480i）の信号端子を「Y/Cb/Cr」と表し、NTSC 以上の映像フォーマットが使用できる端子を「Y/Pb/Pr」と表す事があります。

ワンポイント

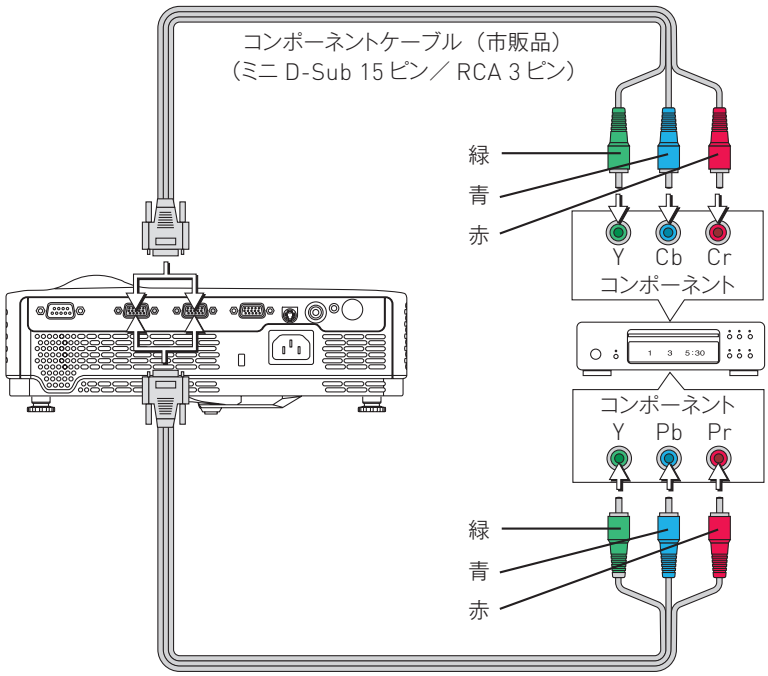
フェライトコアとは?

デジタル機器などのインターフェースケーブルの放射ノイズを減衰する為の付属品です。ケーブルにノイズとなる高周波電流が流れると、それによって磁界が発生しノイズが放射されますが、これをフェライトコアが吸収し熱に変換して放射します。フェライトコアの装着によって画像の劣化が軽減されます。

パソコンや映像機器と接続する

YCbCr 端子または YPbPr 端子使用の場合

- 本製品の COMPUTER IN1/2 端子と市販の変換ケーブルを使用して接続します。
- 工場出荷時は COMPUTER IN1/2 の入力設定が**オート**に設定されていますが、映らない場合は**詳細メニュー**の**入力** ▶ **Computer1/2** で入力設定を切り替えてください。詳しくは「入力」をご確認ください。**→ P76**
- YCbCr 信号または YPbPr 信号を投映していて映像全体の色が緑っぽいなど極端に偏っている場合は、**詳細メニュー**の**カラー** ▶ **カラースペース選択**の設定を変更してください。詳しくは「カラースペース選択」をご確認ください。**→ P74**



ワンポイント

「YCbCr 端子」「YPbPr 端子」とは?

映像端子には「コンポジット映像端子」「セパレート映像端子」「コンポーネント映像端子」など数種類の端子があります。

「コンポジット映像端子」は通常「ピン端子」や「RCA 端子」と呼ばれ、主にビデオデッキや書画カメラなどに搭載されています。

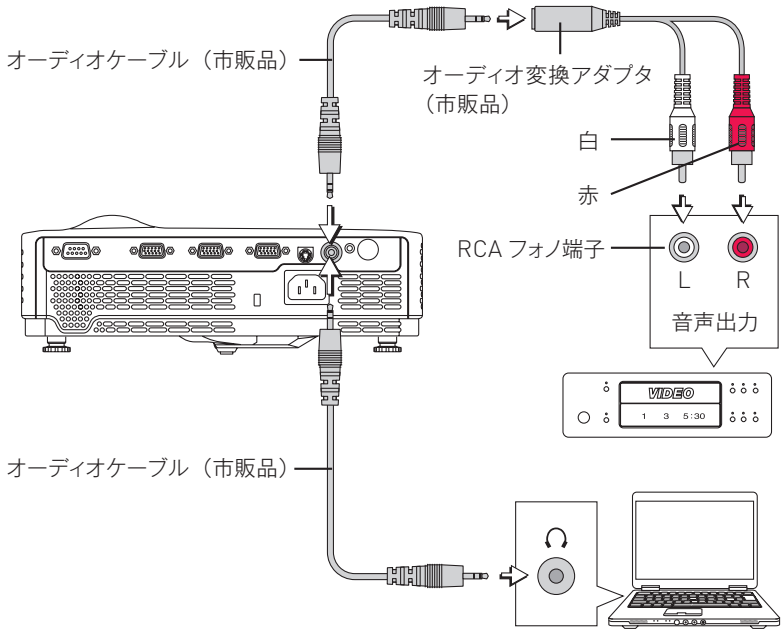
「セパレート映像端子」は通常「S 端子」と呼ばれるのが一般的で、形状的にはミニ DIN-4 ピンが使用されるため S 端子の事をこのように表記してある場合もあります。

「コンポーネント映像端子」は「色差入力端子」とも呼ばれ、色信号 C を B-Y 色差信号 Cb(Pb) と、R-Y 色差信号 Cr(Pr) に分けて伝送している通常 NTSC（480i）の信号端子を「Y/Cb/Cr」と表し、NTSC 以上の映像フォーマットが使用できる端子を「Y/Pb/Pr」と表す事があります。

パソコンや映像機器と接続する

オーディオ端子の接続

- 本製品の AUDIO IN 端子と市販のオーディオケーブルで接続します。接続機器の音声端子が RCA フォノ端子の場合は、市販のオーディオ変換アダプタを使用して接続します。
- 本製品内蔵のスピーカーはモノラル音声になります。迫力ある音声で楽しむためには、映像機器の音声出力をお手持ちのオーディオシステムと接続してください。
- 内蔵スピーカーは AUDIO IN 端子に接続されている機器の音声が出ます。



お知らせ

投映されていないときは音声は出ません。

パソコンや映像機器と接続する

MONITOR OUT 端子との接続

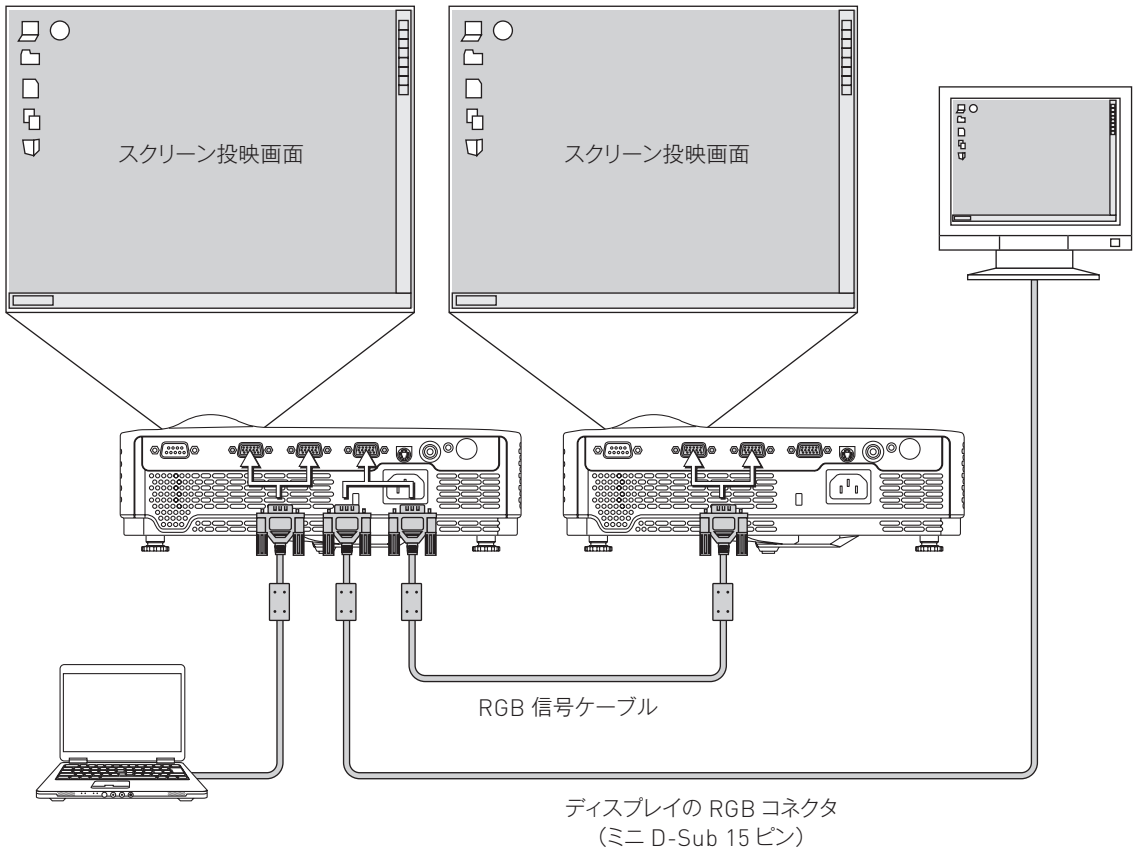
- COMPUTER IN1/2 に接続されているパソコンの映像が出力されます。
- COMPUTER IN1/2 の内、入力選択されている映像を出力します。
- COMPUTER IN1/2 以外の入力を出力する事はできません。

ワンポイント

MONITOR OUT 端子を使用して下図のように、プロジェクタを 2 台繋げると、同じ画像を二つの大画面で見ることができます。講演会など大人数で同じ画像を見る際に便利です。また、液晶ディスプレイを繋げるとプロジェクタで映し出している画面と同じ画像を見ることが出来るため、スクリーンが見えない位置でのパソコン操作や、背面のスクリーンに投映する際に便利です。

お知らせ

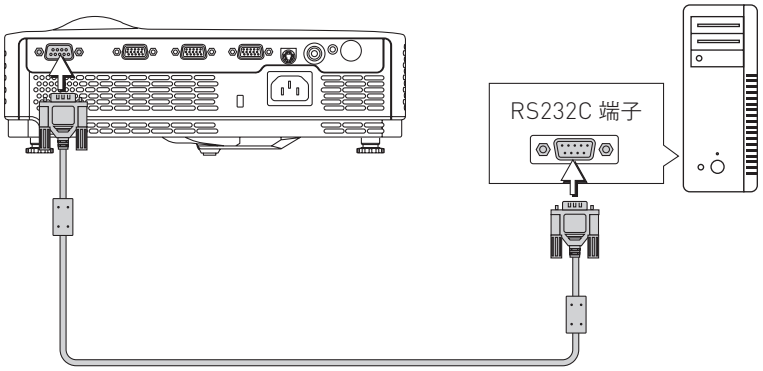
MONITOR OUT 端子からの映像信号は入力時に比べて劣化します。複数台のプロジェクタを接続するとノイズが発生する可能性があります。予めご了承ください。



パソコンや映像機器と接続する

RS232C 端子の接続

- 制御機器の RS232C 端子とプロジェクタの RS232C 端子とを市販品のシリアルケーブル（D-Sub9 ピンストレート）で接続します。



シリアルケーブル（D-Sub9 ピン ストレート）（市販品）

お知らせ

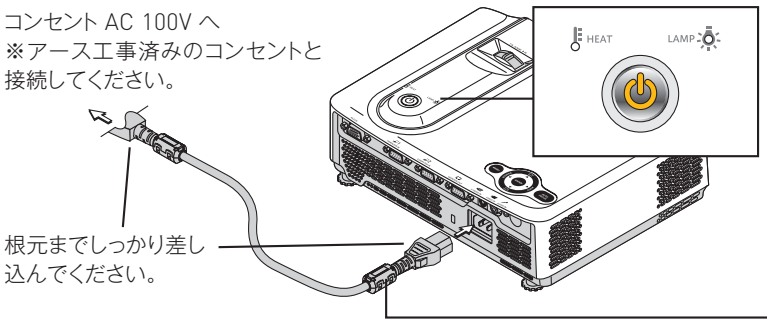
制御機器によっては動作しない場合があります。予めご了承ください。RS232C 端子を使用するには専門知識が必要です。設置業者などにご相談ください。

電源を入れる

1 電源コードを接続する

本体の AC IN 端子とコンセント（AC 100V）を付属品の電源コードで接続します。

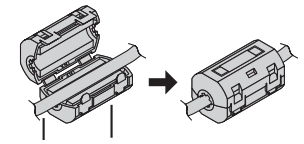
POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが橙色点灯し、スタンバイ状態になります。



お願い

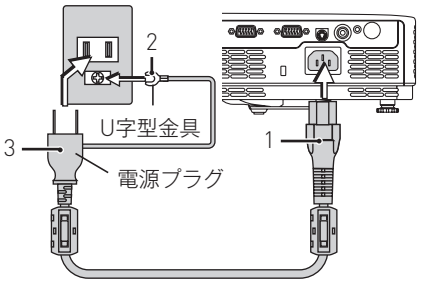
- 電源プラグをコンセントから抜く場合、容易に手が届くように本製品をコンセントの近くに設置してください。
- 付属の電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。
- POWER/STANDBY ボタンは、本体の POWER/STANDBY ボタンインジケーターが橙色に点灯してから押してください。

フェライトコアの取り付け方



電源コードの差込み方法

1. 付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する
2. 電源コードの U 字型金具をコンセントのアース端子に接続する
3. 電源プラグをコンセントに差し込む

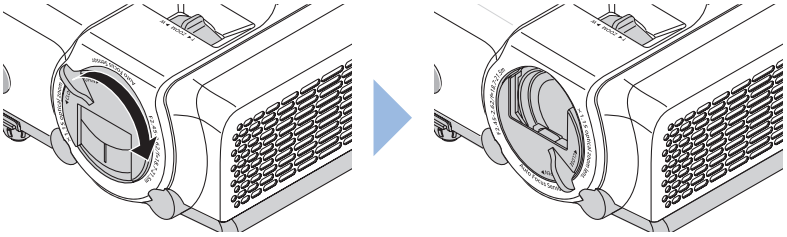


ご注意

- アース端子の接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース端子の接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。
- 本機の電源は、必ずアース付き交流 100V のコンセントを使用してください。
- 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。

2 レンズシャッターを開ける

レンズシャッターを右へ回転させます。レンズシャッターが「カチッ」と止まったら投映可能状態です。



ワンポイント

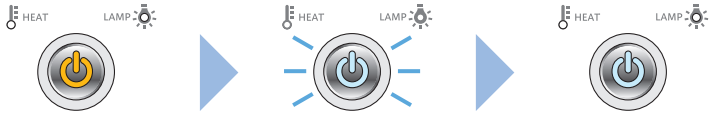
投映中にレンズシャッターを閉めると自動的に「映像・音声の一時消去」がはたらきます。一時的に映像を消去する際に便利な機能です。

電源を入れる

3 プロジェクタの電源を入れる

リモコン、もしくは本体の POWER/STANDBY ボタンを押します。

- POWER/STANDBY ボタンを押すと、POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが待機時の橙色から起動中の青色点滅に変わり、約 60 秒間点滅します。
- インジケーターが約 60 秒間点滅した後、緑色の緩やかな点滅になった場合は「省電力モード」が ON に設定されています。「省電力モード」の設定方法は「省電力モード」 → P59
- LAMP/HEAT のインジケーターが点灯し電源が入らない場合は「インジケーターが点灯／点滅しているときは」をご確認ください。 → P85



待機時　起動中　電源 ON

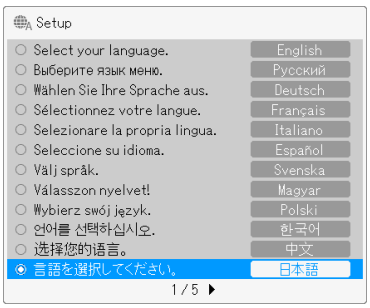
購入後はじめて電源を入れる場合

ご購入後、はじめて電源を入れたときには初期設定画面が表示されます。以下の手順に従って、初期設定を行ってください。

- **KG-PV131X/131S** ご使用の際に映像がぼやけている場合にはフォーカスリングを使用してフォーカスを合わせてください。
- 操作は全てリモコンもしくは本体のカーソルボタン及び ENTER ボタンで操作します。

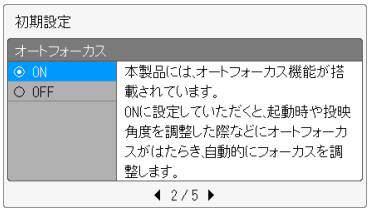
1. 言語設定：表示する言語の設定を行います。

青色のカーソルを**日本語**に合わせて ENTER ボタンを押すと日本語が選択されます。選択されたのを確認後、カーソルボタン▶を押して次の設定に進みます。



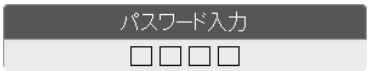
2. オートフォーカス設定 KG-PS232Xh/232X のみ：オートフォーカス機能の ON/OFF を設定します。

オートフォーカス機能を使用する場合は ON にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。（工場出荷時は ON に設定されています）オートフォーカス機能を使用されない場合は OFF にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。ON/OFF どちらかを選択後、カーソルボタン▶を押して次の設定に進みます。



ワンポイント

- 本製品には「クイックスタート機能」が搭載されています。POWER/STANDBY ボタンを押してから 10 数秒で映像が投映されます。
  ※映像は投映されますが起動中のため、POWER/STANDBY ボタンインジケーターは青色点滅が続きます。
- 本製品にはセキュリティ保護のために「パスワード設定」が行える機能が搭載されています。「パスワード設定」を行うと下のような画面が表示され、パスワードの入力無しでは使用できなくなります。詳しくは「パスワード設定」をご確認ください。 → P77



お知らせ

プロジェクタ本体の POWER/STANDBY ボタンインジケーターが青色点滅中は電源を切る事はできません。インジケーターが青色点灯、または緩やかな緑色点滅になったのを確認してから電源を切ってください。

次のページに続く →

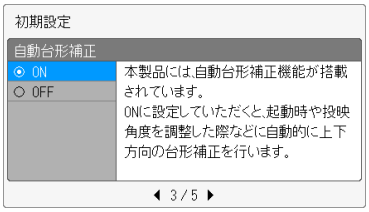
電源を入れる

3. 自動台形補正設定：自動台形補正機能の ON/OFF を設定します。

自動台形補正機能を使用する場合は **ON** にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。（工場出荷時は **ON** に設定されています）

自動台形補正機能を使用されない場合は **OFF** にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。

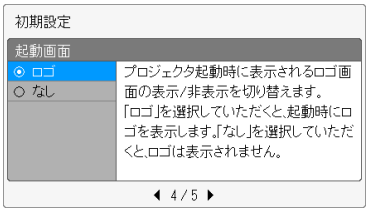
ON/OFF どちらかを選択後、カーソルボタン▶を押して次の設定に進みます。



4. 起動画面設定：起動時に表示される画像の設定を行います。

ロゴもしくは**なし**にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。（工場出荷時は**ロゴ**に設定されています。）

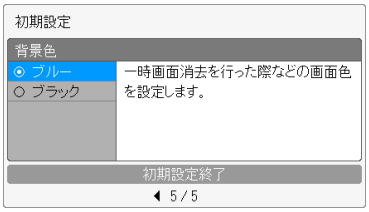
ロゴ / なしどちらかを選択後、カーソルボタン▶を押して次の設定に進みます。

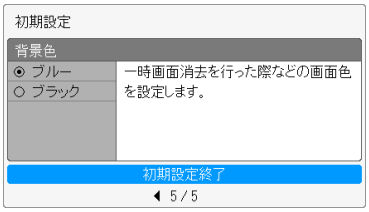


5. 背景色設定：一時画面消去時や無信号時の背景色を設定します。

ブルーもしくは**ブラック**にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。（工場出荷時は**ブルー**に設定されています。）

ブルー / ブラックどちらかを選択後、青色のカーソルを**初期設定終了**に合わせて ENTER ボタンを押してください。画面が閉じて初期設定が終了します。





お知らせ

2 回目からは初期設定画面は表示されません。初期設定の内容を変更する場合は以下をご確認ください。

- 言語設定の変更「言語選択」 → P65
- オートフォーカス設定の変更 KG-PS232Xh/232X のみ 「オートフォーカス」 → P56
- 自動台形補正設定の変更「自動台形補正」 → P56
- 起動画面設定の変更「起動画面」 → P83
- 背景色設定の変更「背景色」 → P84

投映画面をスクリーンに正しく合わせる

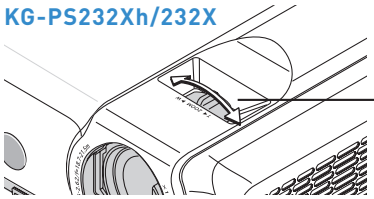
接続機器の電源を入れて映像信号をプロジェクタ本体に入力した状態で行ってください。

投映画面を調整する

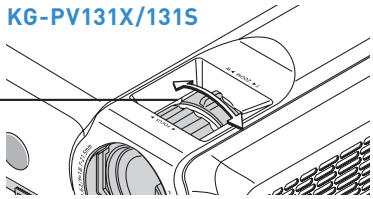
1 ズームリングを回して画面の大きさを調整する

お好みの画面サイズになるよう調整します。ズームリングの調整で大きさが合わない場合はプロジェクタ本体を後ろもしくは前に移動してください。

KG-PS232Xh/232X



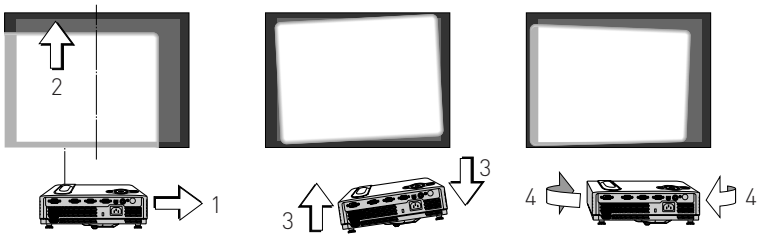
KG-PV131X/131S



ズームリング

2 スクリーンに投映画面を合わせる

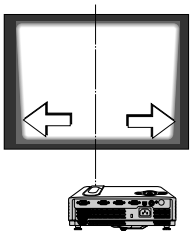
スクリーンが水平・垂直に設定されている事をご確認ください。



1. 左右方向にずれている場合は本体を横に移動します。（スクリーンの中心と本体レンズの中心を合わせます。）
2. 上下方向にずれている場合は前部アジャスタを使用して調整します。
3. 傾いている場合は右または左の後部アジャスタを回して調整します。
4. 図のような投映画面は本体がスクリーンに対して横を向いていますので真っすぐ向けます。

ワンポイント

本製品には「自動台形補正機能」が搭載されています。図のような上下方向の台形歪みは自動的に補正されます。投映角度を固定してから約 3 秒で自動的に調整され、調整が完了すると「台形補正：完了」のメッセージが約 1.5 秒表示されます。自動調整後の微調整をする場合は「台形補正の手動調整」をご確認ください。 → P46



- 自動台形補正が **OFF** に設定されている場合は動作しません。自動台形補正の設定方法に関しては「自動台形補正」をご確認ください。 → P56
- 自動台形補正の作動条件は以下の通りとなります。
  - 上下方向約 2 ～ 18 度の範囲で動作します。

お知らせ

スクリーンが傾いていたりプロジェクタ周囲の温度が極端に高温または低温になっているときは、補正できない場合があります。

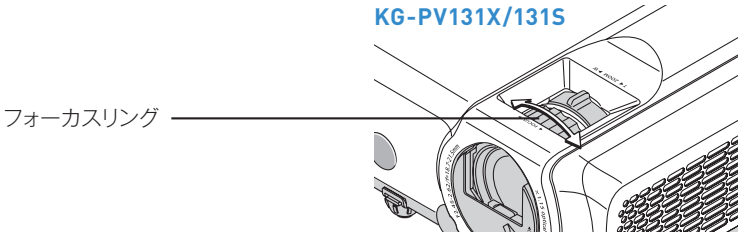
次のページに続く →

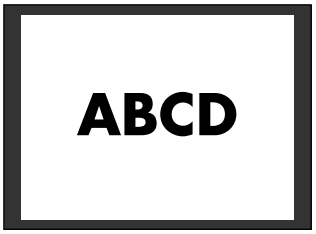
投映画面をスクリーンに正しく合わせる

3 フォーカスを合わせる

- **KG-PS232Xh/232X** にはオートフォーカス機能が搭載されているため、1 でズームリングを回すと自動的にフォーカスが調整されます。
- **KG-PV131X/131S** ではフォーカスリングを回して画面のピントを合わせてください。

KG-PV131X/131S





ワンポイント

KG-PS232Xh/232X にはオートフォーカス機能が搭載されています。ズームリングを回すか、リモコン及び本体の AUTO FOCUS ボタンを押すと自動的にフォーカスを調整します。

- オートフォーカスの作動条件は以下の通りとなります
  - 電源を入れたとき
  - ズームレバーを動かしたとき
  - 本体を動かしたとき
  - 投写角度を変えたとき
- オートフォーカスの動作範囲
  - オートフォーカスが動作する画面の大きさは、31 型（投映距離 1.2m）～ 148 型（投映距離 5m）になります。5m を超える設置の場合は手動でフォーカスを調整してください。
  - スクリーンの色や投映環境によっては動作範囲が短くなったり、正しく動作しない場合があります。
  - フォーカスセンサーとスクリーンの間に障害物があると誤動作します。
  - 透過スクリーンでは誤動作します。
  - スクリーンを移動した場合は動作しません。

お知らせ

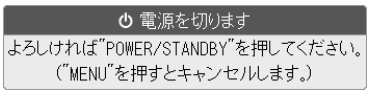
プロジェクタを天吊り設置や背面設置する場合は投映方法を変更してください。「上下反転／左右反転」 **➔ P70**

投映終了後電源を切る

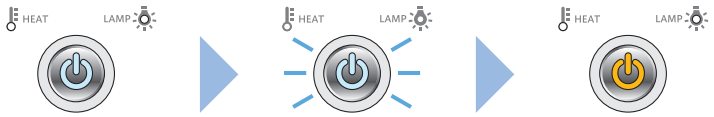
1 プロジェクタの電源を切る

リモコン、もしくは本体の POWER/STANDBY ボタンを押します。

- 「電源を切ります。よろしければ "POWER/STANDBY" を押してください。("MENU" を押すとキャンセルします。)」とメッセージが表示されます。



- メッセージにしたがって POWER/STANDBY ボタンを押すと投映画面が消え、電源を切る動作に入ります。
- メッセージが表示されている状態で POWER/STANDBY ボタンを押さないと電源は切れません。
- メッセージが表示されている際に MENU ボタンを押すと、メッセージが消え電源 ON の状態に戻ります。
- POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが青の点滅に変わり、約 90 秒後に消灯しインジケーターが待機時の橙色に点灯します。



電源 ON　　クールダウン中　　待機時

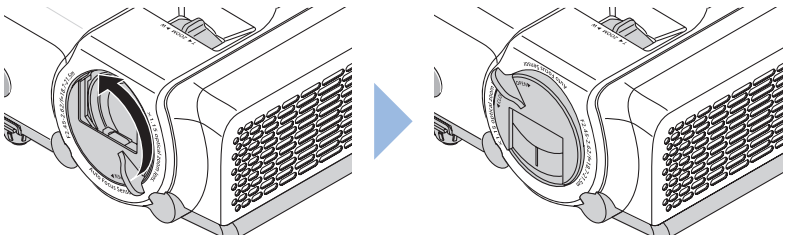
2 電源コードを抜く

クイックオフ機能を使用しない場合は POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが橙色に点灯している事を確認してから電源コードを抜いてください。

電源コードを抜くと POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが消灯します。

3 レンズシャッターを閉じる

レンズシャッターを左に回転し、「カチッ」と止まるまで回してください。



ワンポイント

本製品には「クイックオフ機能」が搭載されています。電源を切った後すぐに電源コードを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので即座の撤収が可能です。

- 電源コードを接続した状態で冷却を行ったときよりランプが再点灯しにくくなることがあります。
- 冷却ファンが回転している間はバッグ等に入れないでください。

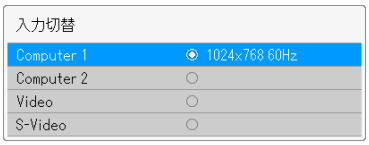
ふだんの操作

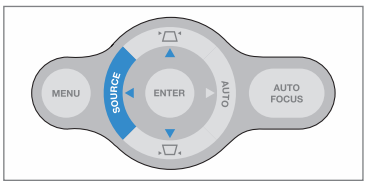
プロジェクタ本体やリモコンボタンでの直接操作の使いかたです。
メニューを使っての操作は「メニューの使いかた」をご確認ください。 → P49

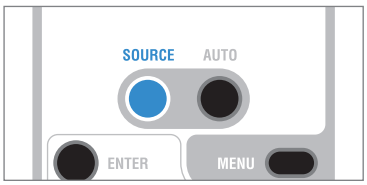
入力信号の選択

投映する入力ソースを選択します。

- SOURCE ボタンを押します。
- 投映画面上に右の様なメニューが表示されます。カーソルボタン（▲▼）を押すごとにカーソルが動きますので投映したいソースを選択し ENTER ボタンを押して確定してください。
- **自動検出**が **ON** になっている場合、選択したソースに入力信号がないと入力信号があるソースを自動的に選択します。
- **自動検出**が **OFF** になっている場合、入力信号の有無にかかわらず選択したソースに切り替わります。
- 自動検出機能の ON/OFF に関しては「自動検出」をご確認ください。 → P54







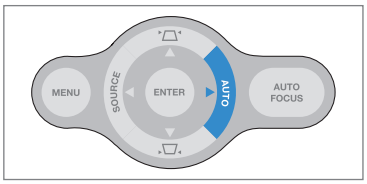
自動調整

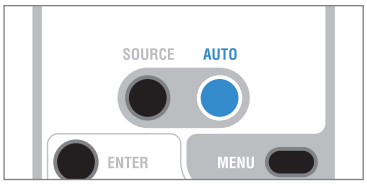
投映している RGB 入力信号の位置ずれや画面の大きさ、縦じま、色ずれを自動で調整します。
通常は入力選択時に自動調整されます。

- AUTO ボタンを押します。
- ボタンを押すと自動調整を開始します。
- 自動調整しても表示位置がずれていたり、画面に縦じまが出るなど映りが良くない場合は手動で調整を行ってください。詳しくは「映像」をご確認ください。 → P66 ～ 68

お知らせ

映像が画面よりはみ出す場合や小さい場合は、アスペクト比の設定をオートに設定します。「アスペクト比選択」 → P69

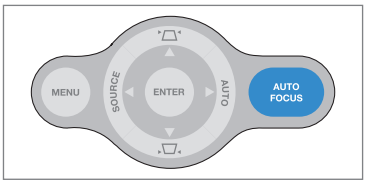


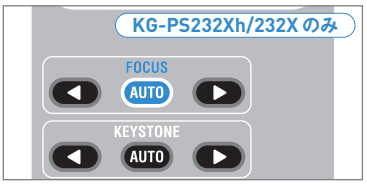


ふだんの操作

オートフォーカス KG-PS232Xh/232X のみ

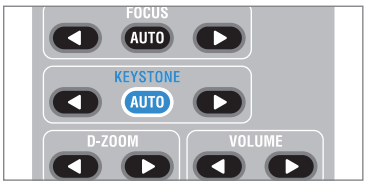
- AUTO FOCUS ボタンを押すとオートフォーカス機能がはたらき、自動的にフォーカスを調整します。
- **オートフォーカス**の設定が **ON** になっている場合、ズームリングで画面の大きさを調整した時や、画面の角度を調整した際に自動的にピント調整を行いますが、調整がうまくいかなかった際や、**オートフォーカス**を **OFF** に設定している際にはこのボタンを使用してフォーカスを調整してください。





自動台形補正

- AUTO KEYSTONE ボタンを押すと自動台形補正がはたらき、投映されている映像の台形歪みを自動的に補正します。
- **自動台形補正**の設定が **ON** になっている場合は、プロジェクタ本体が上下に傾いた際などに自動的に上下の台形補正を行います。



ワンポイント

「台形歪み」とは?

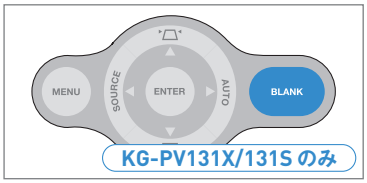
投映時にプロジェクタ本体をスクリーンに対して上下左右に傾けた際に発生する投映画面の歪みのことを言います。

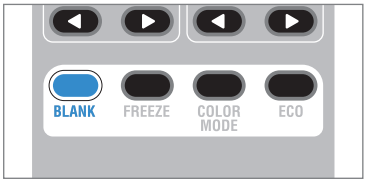
台形歪みには左右に傾けた場合の水平方向と上下に傾けた場合の垂直方向の二種類がありますが、本製品では垂直方向の歪みを手動もしくは自動で補正する事ができます。

映像・音声を一時消去する

映像と音声を一時的に消したいときに使える便利な機能です。

- BLANK ボタンを押すと映像が消え、設定の背景色（ブルー / ブラック）になります。
- 再び画像・映像を投映する場合は POWER/STANDBY ボタンを除く、その他のボタンを押してください。





ワンポイント

プロジェクタ本体のレンズシャッターを閉じると自動的に「映像・音声の一時消去」がはたらきます。

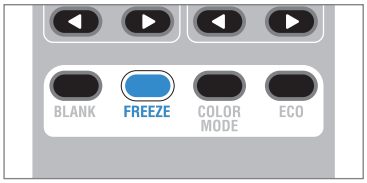
リモコンが手元に無い場合や、一時的に映像を消去したい場合に便利な機能です。

ふだんの操作

映像を一時停止する

映像を一時的に静止させたいときに使える便利な機能です。

- FREEZE ボタンを押すと、その時点で映像が静止します。
- 動画を止めたり、投映中の画面で静止させ別の資料を探すことができる便利な機能です。
- 再び押すと動画に戻ります。

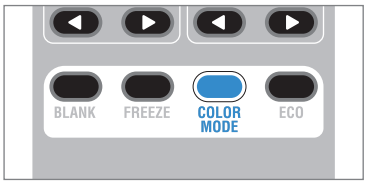


投映モード選択

本製品には予め目的に沿った投映モードが設定されています。

- リモコンの COLOR MODE を押すと選択画面が現れます。
- リモコンの COLOR MODE を使用して目的の投映モードを選択し ENTER ボタンを押してください。

投映モード：標準



※入力ソースにより選択可能な投映モードが異なります。詳しくは以下の表をご確認ください。

入力ソース	設定項目	設定内容
Computer1/2 (RGB 信号)	標準	標準の設定です。
	色優先	色再現性を優先した設定です。明るさは落ちますが色の再現性が上がります。 写真や動画を投映する際におすすめです。
	明るさ優先	明るさが優先の設定です。色の再現性は下がりますが明るさが上がります。 明るい場所での投映の際におすすめです。
	黒板	黒板に投映する際に最適な設定です。
	カスタム	詳細メニューのカラーで設定した値が適用された設定です。
Computer1/2 (コンポーネント信号) Video S-Video	標準	標準の設定です。
	映画	映画を投映する際に最適な設定です。
	黒板	黒板に投映する際に最適な設定です。
	カスタム	詳細メニューのカラーで設定した値が適用された設定です。

ふだんの操作

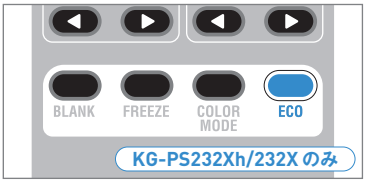
省電力モード KG-PS232Xh/232X のみ

ランプをより長く使用するために、プロジェクタの消費電力を抑えることができる機能です。消費電力を抑えることで明るさは低下しますが、ランプの寿命が通常使用より長くなります。小さなスクリーンに映した際に画面が明るすぎる時や、暗い室内で画像・映像を投映する際にも明るさが落ちるため、効果的にご使用いただけます。

- リモコンの ECO ボタンを押して省電力モードに切り替えます。

ON：POWER/STANDBY ボタンインジケーターが緩やかな緑色点滅。ランプの明るさが通常時の約 80% となりランプの寿命がのびます。

OFF：POWER/STANDBY ボタンインジケーターが青点灯。ランプの明るさが 100% となり、明るい映像になります。



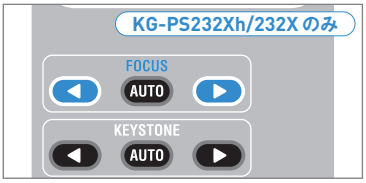
お知らせ

省電力モードを頻繁に切り替えるとランプ劣化の原因となることがありますのでご注意ください。

フォーカスの手動調整 KG-PS232Xh/232X のみ

本製品には自動と手動のフォーカス調整機能が搭載されております。ここでは手動による調整方法を説明します。

- リモコンの FOCUS ボタン（◀▶）を押してピントを合わせます。ボタンを押すとフォーカス調整表示が表れます。
- 調整後すぐに表示を閉じる場合はリモコン及びプロジェクタ本体の MENU ボタンを押してください。約 10 秒間操作をしないと自動的に表示は閉じます。



ふだんの操作

台形補正の手動調整

本製品には自動と手動の台形補正機能があります。ここでは手動による調整方法を説明します。

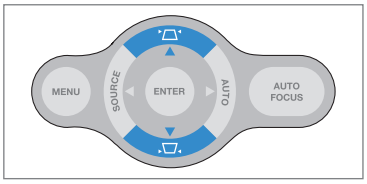
- リモコンの KEYSTONE ボタン（◀▶）もしくはプロジェクタ本体の KEYSTONE ボタンを押して台形補正を行います。ボタンを押すと台形補正表示が表れます。
- 調整後すぐに表示を閉じる場合はリモコン及びプロジェクタ本体の MENU ボタンを押してください。約 10 秒間操作をしないと自動的に表示は閉じます。

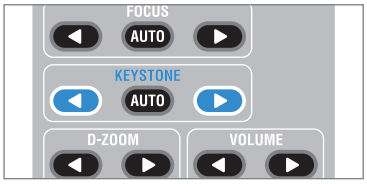
※**自動台形補正**が **OFF** の時は台形補正の調整値が電源 OFF 後も保存されます。

※自動台形補正機能に関しては「自動台形補正」をご確認ください。

→ P56

台形補正 − + 0





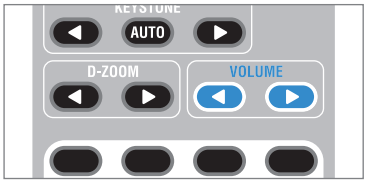
音量調節

プロジェクタ本体に内蔵されているスピーカーの音量調節です。

- リモコンの VOLUME ボタン（◀▶）を押して音量を調節します。ボタンを押すと音量調節表示が表れます。
- 調節後すぐに表示を閉じる場合はリモコン及びプロジェクタ本体の MENU ボタンを押してください。約 10 秒間操作をしないと自動的に表示は閉じます。

※映像が投映されていないときは、音量は調節できません。

音量調節 − + 50



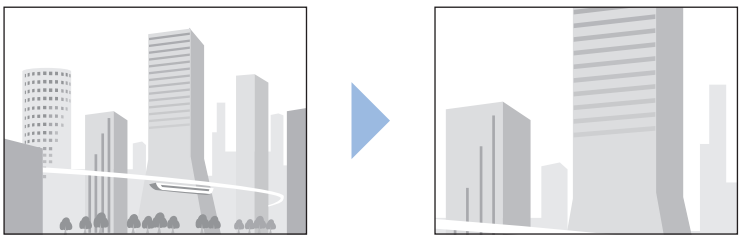
ふだんの操作

映像の拡大と画像移動

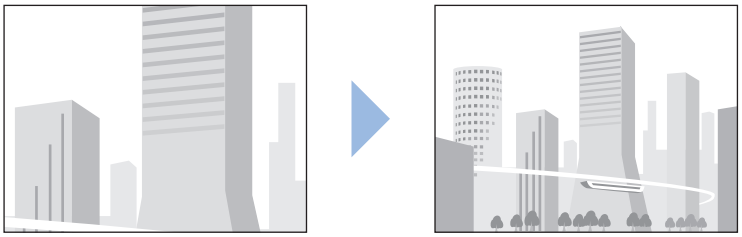
投映されている画像・映像をデジタルで拡大します。

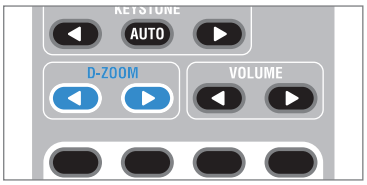
- リモコンの D-ZOOM ボタン(▶)を押して映像を拡大します。
  D-ZOOM ボタンを押すとズーム調整表示が表れます。

▶を押すごとに拡大します。(200% まで)



◀を押すごとに元に戻ります。(100% まで)





次のページに続く

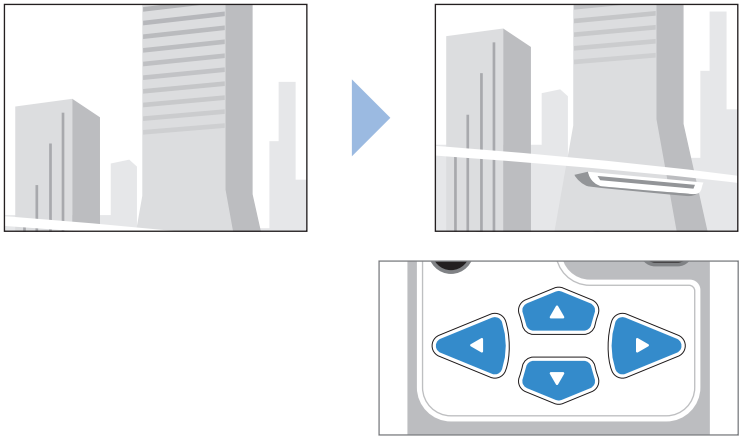
お知らせ

- ズームおよび画像移動は、入力を切り替えるか、アスペクト比選択を変更すると解除されます。
- ズームは拡大率が大きいほど画像がぼやけて見えます。これはドットを目立たなくするためにデジタル補正しているためです。
- メニュー画面を表示しているときは、画面の移動はできません。

ふだんの操作

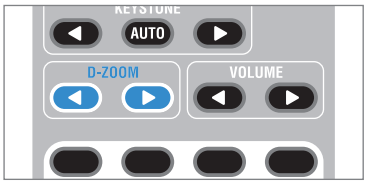
- 画像拡大中に、リモコンのカーソルボタン（▲▼◀▶）を押すと表示位置が移動します。

※拡大を行っていないとき（ズーム 100% の状態）は移動しません。



- すぐに表示を閉じる場合はリモコン及びプロジェクタ本体の MENU ボタンを押してください。約 10 秒間操作をしないと自動的に表示は閉じます。

※拡大の操作を終了したら必ずズームの値を 100 に戻してください。

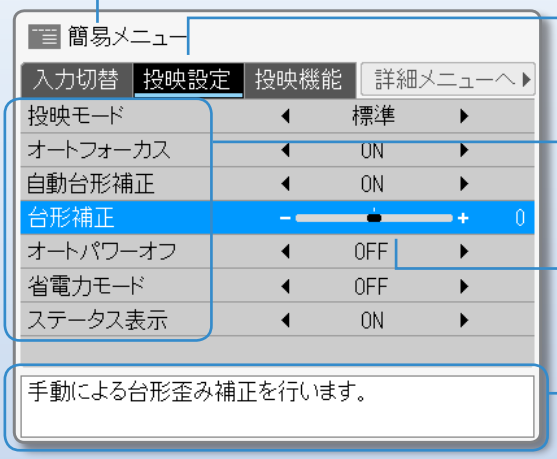


メニューの操作方法

本製品をより便利にお使いいただくためにメニューの操作方法をご紹介します。

- 各設定項目の調整・設定のしかたは各々の説明ページをご確認ください。
- リモコンはプロジェクタ本体の受光部に向けて操作してください。
- 入力信号によって調整・設定できる内容が異なります。
- メニューを使用して変更した様々な項目を標準値（工場出荷時の状態）に戻す場合は「初期化」をご確認ください。➔ P83
- メニューを操作する際には接続機器の電源を入れ、再生操作などをしてプロジェクタ本体に映像信号を入力してください。

メニュー画面の名称とはたらき



「簡易」「詳細」画面に関して

簡易メニューは背景色が薄いグレーになっています。詳細メニューへを選択すると詳細メニューへ変わります。

メニュー名

メニューの見出しです。選択されたメニューの色が変わります。

項目名

調整·設定の名称です。選択された項目にカーソル（青）が移動します。

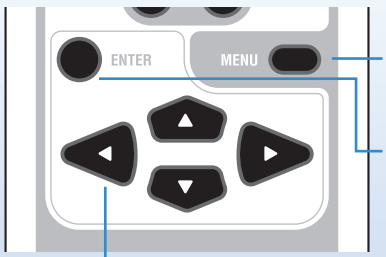
調整バー／設定内容

調整バーの増減は調整状態を表します。設定されている内容は文字で表示されます。

ヘルプ

選択されたメニュー／項目に関するヘルプが表示されます。

リモコンボタン／本体ボタンの名称とはたらき



MENU ボタン

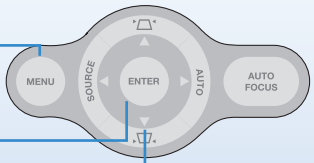
メニュー表示を行うボタンです。

ENTER ボタン

メニューの実行などに使用するボタンです。

カーソルボタン

メニュー操作を行うボタンです。



カーソルボタン

メニュー操作を行うボタンです。（メニュー画面を表示していない状態では他の機能に割り当てられます）

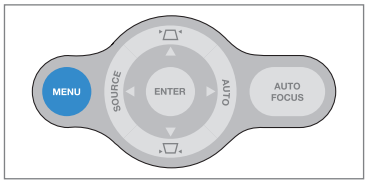
メニューの操作方法

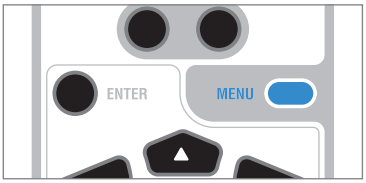
メニュー操作のしかた

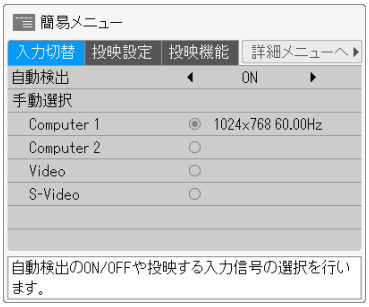
- 映像信号が入力されていない時は、一部の設定が行えません。
- MENU ボタンを押して約 45 秒間、操作を行わないとメニュー表示は自動的に閉じます。
- 調整・設定値は電源を切ってもプロジェクタ本体が記憶しています。（一部記憶しない項目もあります）

1 メニュー画面を表示させる

リモコンもしくはプロジェクタ本体の MENU ボタンを押して、**簡易メニュー**を表示させてください。

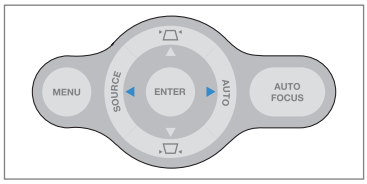


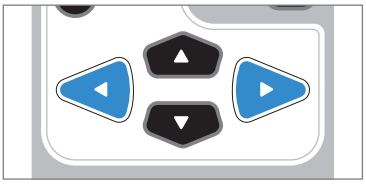




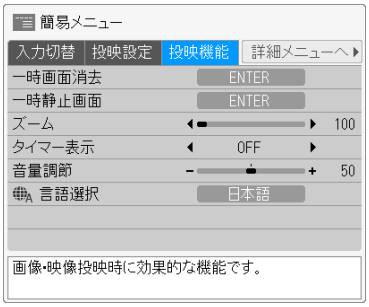
2 メニュー名を選択する

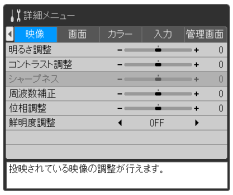
カーソルボタン▶を押すごとに、**入力切替** ▶ **投映設定** ▶ **投映機能** ▶ **詳細メニューへ**の方向へ選択が移動します。◀を押すごとに選択が戻ります。メニュー名を選択時は項目名のカーソルは消えています。





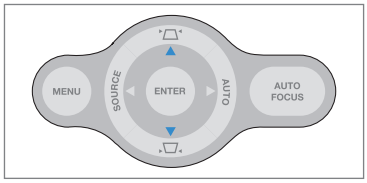
※**詳細メニューへ**を選択すると**詳細メニュー**に切り替わります。操作方法は**簡易メニュー**と同様です。

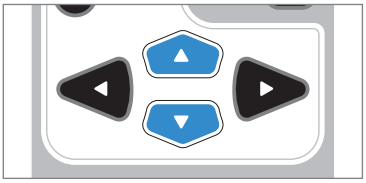


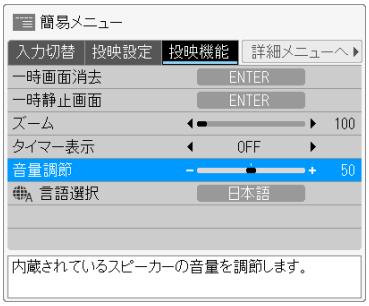


3 項目名を選択する

カーソルボタン（▲▼）を押して項目名を選択します。



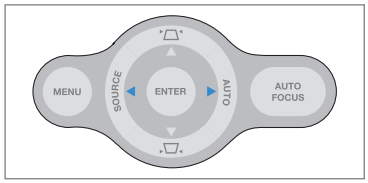


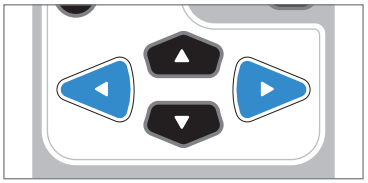


メニューの操作方法

4 調整・設定を行う

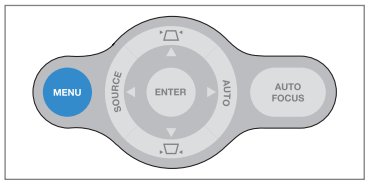
カーソルボタン（◀▶）と ENTER ボタンを押して調整・設定を行います。

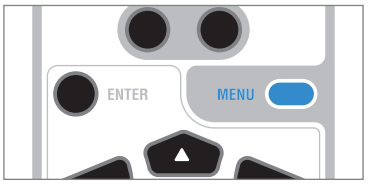




5 メニュー画面を閉じる

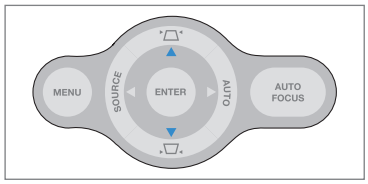
MENU ボタンを押してメニュー画面を閉じます。

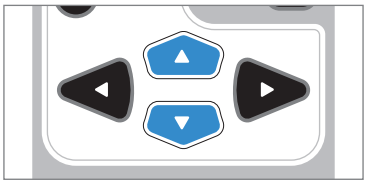


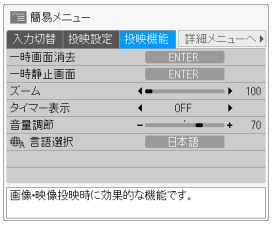


項目名を選択中に他のメニュー項目を選択したい場合

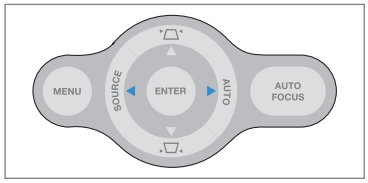
カーソルボタン（▲▼）を押して、メニュー名を選択してください。

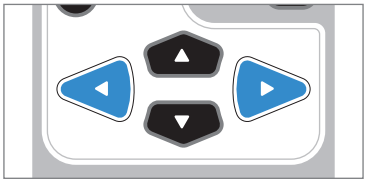


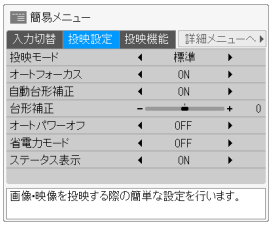




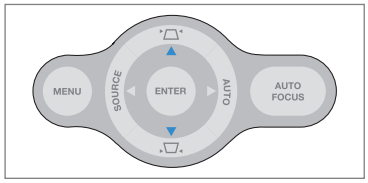
項目名のカーソルが消えている事を確認し、カーソルボタン（◀▶）を押して他のメニュー名を選択します。

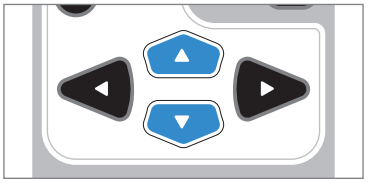


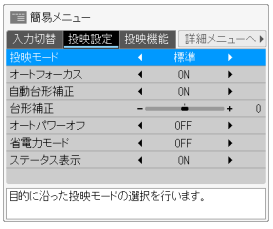




目的のメニュー名を選択した後、カーソルボタン（▲▼）で目的の項目名を選択してください。



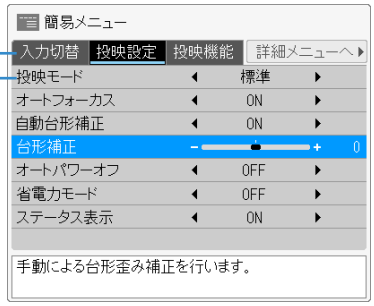




入力信号ごとの調整・設定が可能な項目一覧

入力信号によって調整・設定が行える項目が異なります。
詳しくは以下の表をご確認ください。

簡易メニュー

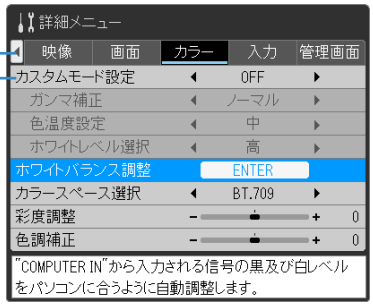


メニュー名	項目名	COMPUTER IN		VIDEO IN	S-VIDEO IN	参照ページ
		RGB 信号	コンポーネント信号			
入力切替	自動検出	○	○	○	○	P54
	手動選択 Computer1	○	○	○	○	P54
	Computer2	○	○	○	○	P54
	Video	○	○	○	○	P54
	S-Video	○	○	○	○	P54
投映設定	投映モード	○	○	○	○	P55
	オートフォーカス KG-PS232Xh/232X のみ	○	○	○	○	P56
	自動台形補正	○	○	○	○	P56
	台形補正	○	○	○	○	P57
	オートパワーオフ	○	○	○	○	P58
	省電力モード KG-PS232Xh/232X のみ	○	○	○	○	P59
	ステータス表示	○	○	○	○	P59
投映機能	一時画面消去	○	○	○	○	P60
	一時静止画面	○	○	○	○	P60
	ズーム	○	○	○	○	P61
	タイマー表示	○	○	○	○	P63
	音量調節	○	○	○	○	P64
	言語選択	○	○	○	○	P65

入力信号ごとの調整・設定が可能な項目一覧

入力信号によって調整・設定が行える項目が異なります。
詳しくは以下の表をご確認ください。

詳細メニュー



メニュー名	項目名	COMPUTER IN		VIDEO IN	S-VIDEO IN	参照ページ
		RGB 信号	コンポーネント信号			
映像	明るさ調整	○	○	○	○	P66
	コントラスト調整	○	○	○	○	P66
	シャープネス			○	○	P66
	周波数補正	○				P67
	位相調整	○				P68
	鮮明度調整	○	○			P68
画面	アスペクト比選択	○	○	○	○	P69
	水平位置調整	○				P70
	垂直位置調整	○				P70
	上下反転	○	○	○	○	P70
	左右反転	○	○	○	○	P70
カラー	カスタムモード設定	○	○	○	○	P71
	ガンマ補正	○	○	○	○	P71
	色温度設定	○	○	○	○	P72
	ホワイトレベル選択	○	○	○	○	P72
	ホワイトバランス調整	○				P73
	カラースペース選択		○			P74
	彩度調整			○	○	P74
	色調補正		○	○	○	P75
入力	Computer1	○	○	○	○	P76
	Computer2	○	○	○	○	P76
	Video	○	○	○	○	P76
	S-Video	○	○	○	○	P76
管理画面	パスワード設定	○	○	○	○	P77
	ランプ使用時間リセット	○	○	○	○	P82
	初期化	○	○	○	○	P83
	起動画面	○	○	○	○	P83
	背景色	○	○	○	○	P84

簡易メニュー／入力切替

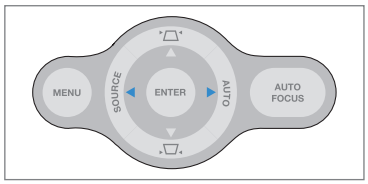
自動検出の ON/OFF や投映する入力信号の選択を行います。

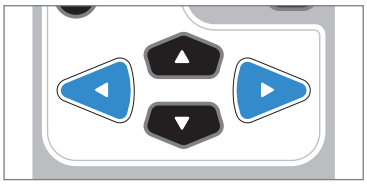
入力切替 | 投映設定 | 投映機能

自動検出

自動検出の ON/OFF を切り替えます。

- 項目名**自動検出**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で **ON/OFF** を切り替えます。

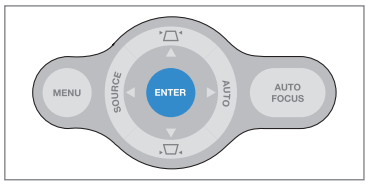


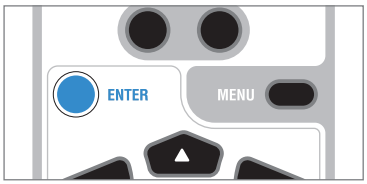


手動選択

手動で入力信号を選択します。

- 目的の入力ソースを選択し ENTER ボタンで決定します。



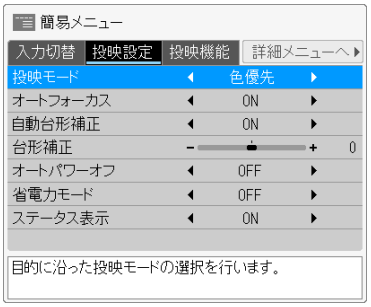


簡易メニュー／投映設定

画像・映像を投映する際の簡単な設定を行います。

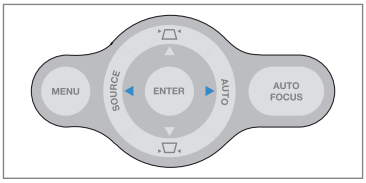
入力切替 | 投映設定 | 投映機能

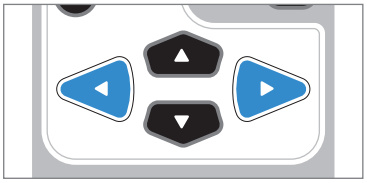
投映モード



本製品には予め目的に沿った「投映モード」が設定されています。

- 項目名**投映モード**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で目的の投映モードを選択します。（カーソルボタン（◀▶）で切り替えるごとに投映されている画像・映像の色調が設定された投映モードに切り替わります）





※入力ソースにより選択可能な「投映モード」が異なります。詳しくは以下の表をご確認ください。

入力ソース	設定項目	設定内容
Computer1/2（RGB 信号）	標準	標準の設定です。
	色優先	色再現性を優先した設定です。明るさは落ちますが色の再現性が上がります。写真や動画を投映する際におすすめです。
	明るさ優先	明るさが優先の設定です。色の再現性は下がりますが明るさが上がります。明るい場所での投映の際におすすめです。
	黒板	黒板に投映する際に最適な設定です。
	カスタム	詳細メニューのカラーで設定した値が適用された設定です。
Computer1/2（コンポーネント信号）Video S-Video	標準	標準の設定です。
	映画	映画を投映する際に最適な設定です。
	黒板	黒板に投映する際に最適な設定です。
	カスタム	詳細メニューのカラーで設定した値が適用された設定です。

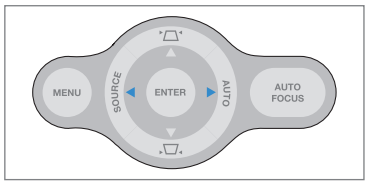
簡易メニュー／投映設定

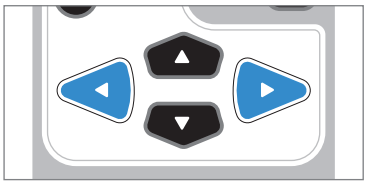
画像・映像を投映する際の簡単な設定を行います。

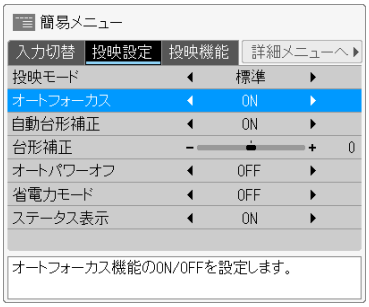
オートフォーカス　KG-PS232Xh/232X のみ

オートフォーカス機能の ON/OFF を設定します。

- 項目名**オートフォーカス**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で **ON/OFF** を切り替えます。







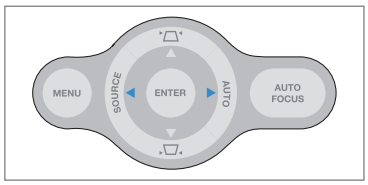
自動台形補正

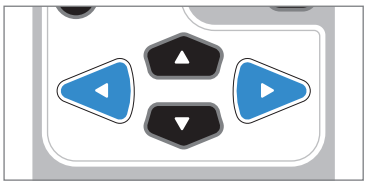
自動台形補正機能の ON/OFF を設定します。

- 項目名**自動台形補正**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で **ON/OFF** を切り替えます。

設定が ON の場合：上下方向の台形歪みを自動的に補正します。

設定が OFF の場合：自動調整が行われません。手動で台形歪みを補正します。





ワンポイント

「台形歪み」とは?

投映時にプロジェクタ本体をスクリーンに対して上下左右に傾けた際に発生する投映画面の歪みのことを言います。

台形歪みには左右に傾けた場合の水平方向と上下に傾けた場合の垂直方向の二種類がありますが、本製品では垂直方向の歪みを手動もしくは自動で補正する事ができます。

簡易メニュー／投映設定

画像・映像を投映する際の簡単な設定を行います。

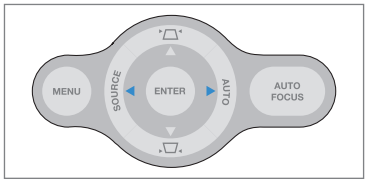
入力切替 | 投映設定 | 投映機能

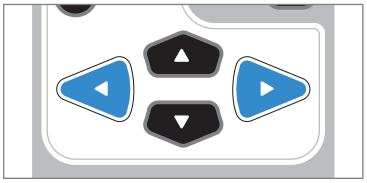
台形補正

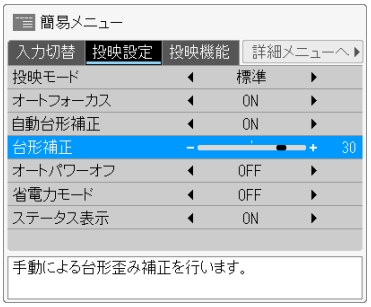
プロジェクタ本体の角度がスクリーンに対して斜めに（上下方向）なっていると台形の歪みが発生します。この操作で台形の歪みを補正する事ができます。

※**自動台形補正**が **ON** になっている場合は自動的に上下方向の台形歪みを補正します。

- 項目名**台形補正**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で台形歪みを補正します。







お知らせ

- 表示されているメニュー画面自体は補正されません。
- 投映されている画像・映像の内容や投映状態によっては、画像が充分に補正されない場合がありますので、予めご了承ください。
- 自動台形補正の設定が OFF の場合、台形補正で設定した調整値は電源を切ってもプロジェクタ本体に保存されています。

簡易メニュー／投映設定

画像・映像を投映する際の簡単な設定を行います。

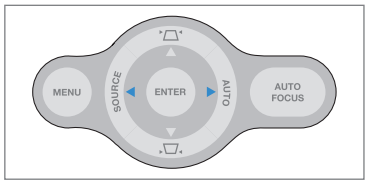
入力切替 | 投映設定 | 投映機能

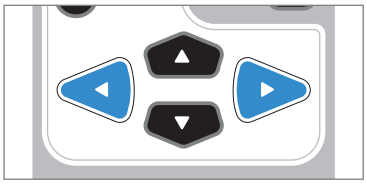
オートパワーオフ

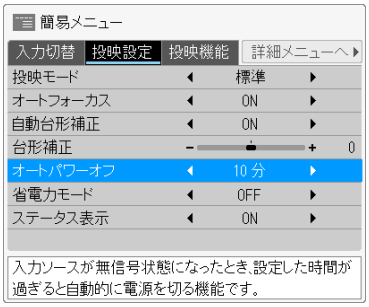
プロジェクタの入力ソースが無信号状態になったとき、自動的にプロジェクタの電源を切る機能です。
5 分～ 20 分まで 5 分刻みで設定を行う事ができます。

- 項目名**オートパワーオフ**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀ ▶）で設定内容を変更します。
- カーソルボタン（▶）を押すごとに **OFF** ▶ **5 分** ▶ **10 分** ▶ **15 分** ▶ **20 分**と設定が切り替わりますので目的の設定内容に合わせてください。
- オートパワーオフを任意の分数に設定すると以下の通り動作します。
  - 無信号状態が約 10 秒続くと、以下の様に「No Signal オートパワーオフ」と表示され設定した時間が過ぎると電源が切れます。

  - 表示が出ている間にソース入力が行われるか、POWER/STANDBY ボタン以外の操作ボタンを押すと表示を閉じて解除されます。







お知らせ

ビデオデッキなどには再生が終了するとビデオデッキ側からブルーバックなどの映像を出力する機器があります。この場合は本製品に信号が入力されているため、オートパワーオフは動作しません。

簡易メニュー／投映設定

画像・映像を投映する際の簡単な設定を行います。

入力切替 | 投映設定 | 投映機能

省電力モード KG-PS232Xh/232X のみ

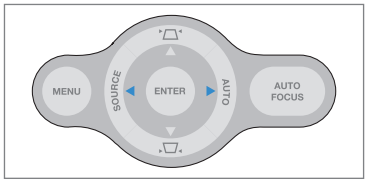
ランプをより長く使用するために、プロジェクタの消費電力を抑えることができる機能です。消費電力を抑えることで明るさは低下しますが、ランプの寿命が通常使用より長くなります。小さなスクリーンに映した際に画面が明るすぎる時や、暗い室内で画像・映像を投映する際にも明るさが落ちるため、効果的にご使用いただけます。

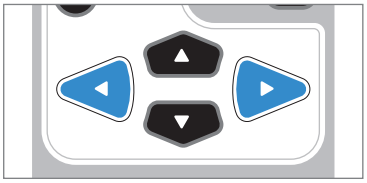
- 項目名**省電力モード**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で **ON/OFF** を切り替えます。

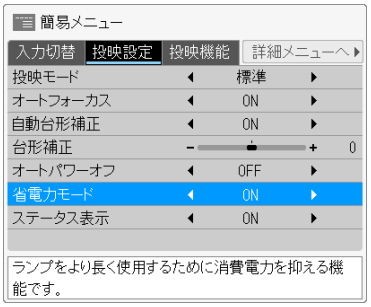
※画像投映時に省電力モードを頻繁に切り替えるとランプ劣化の原因となることがありますのでご注意ください。

ON：POWER/STANDBY ボタンインジケーターが緩やかな緑色点滅。ランプの明るさが通常時の約 80% となりランプの寿命がのびます。

OFF：POWER/STANDBY ボタンインジケーターが青点灯。ランプの明るさが 100% となり、明るい映像になります。



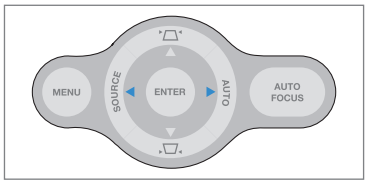


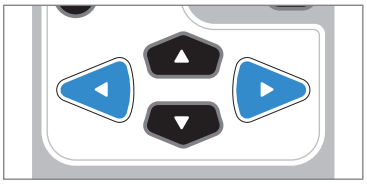


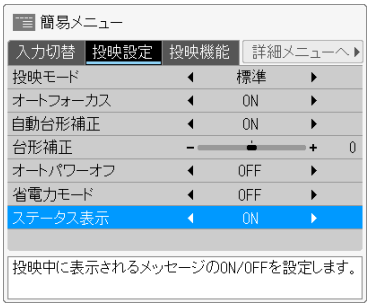
ステータス表示

投映中にプロジェクタを操作したときや、ソース入力検出時に表示されるメッセージの ON/OFF が設定できます。

- 項目名**ステータス表示**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で **ON/OFF** を切り替えます。







お知らせ

ステータス表示を OFF に設定しても、警告および電源 OFF の確認は表示されます。

簡易メニュー／投映機能

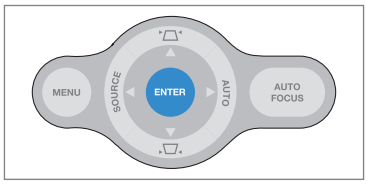
画像・映像投映時に効果的な機能です。

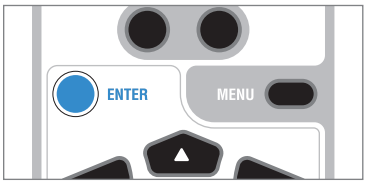
入力切替 | 投映設定 | 投映機能

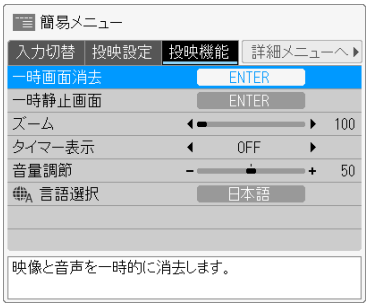
一時画面消去

映像と音声を一時的に消したいときに使用します。

- 項目名**一時画面消去**にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押します。
- ENTER ボタンを押すと「一時画面消去」機能がはたらき、投映されている画像・映像が消去されメニュー表示も閉じます。
- 再び画像・映像を投映する場合は POWER/STANDBY ボタンを除く、その他のボタンを押してください。







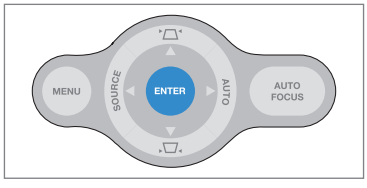
ワンポイント

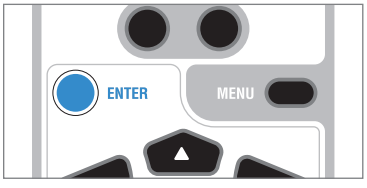
プロジェクタ本体のレンズシャッターを閉じると自動的に「一時画面消去」機能が ON になります。リモコンが手元に無い場合や、一時的に映像を消去したい場合に便利な機能です。

一時静止画面

映像を一時的に静止させたいときに使用します。
動画を止めたり、投映中の画面を静止させ別の資料を探すなどの際に便利な機能です。

- 項目名**一時静止画面**にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押します。
- ENTER ボタンを押すと「一時静止画面」機能がはたらき、投映されている画像・映像が一時的に静止し、メニュー画面が閉じます。
- **一時静止画面**を解除する場合は POWER/STANDBY ボタンを除く、その他のボタンを押してください。





簡易メニュー／投映機能

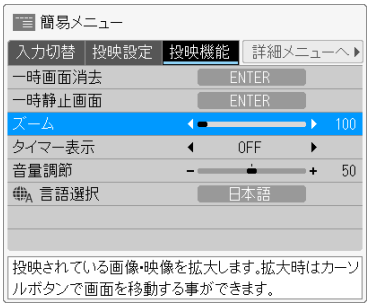
画像・映像投映時に効果的な機能です。

入力切替 | 投映設定 | 投映機能

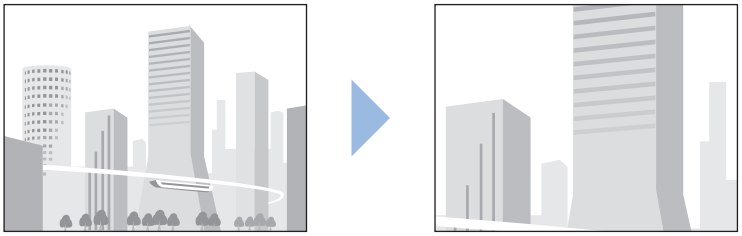
ズーム

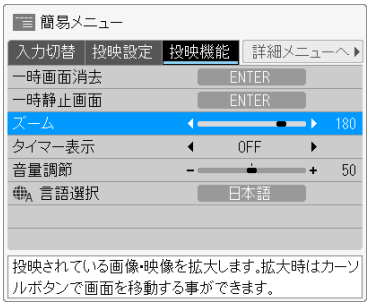
投映されている画像・映像をデジタルで拡大します。

- 項目名ズームにカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で画像の拡大・縮小を行います。

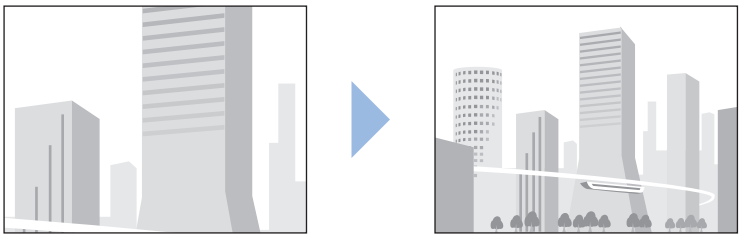


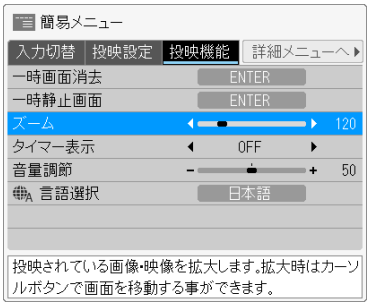
▶を押すごとに拡大します。（200% まで）

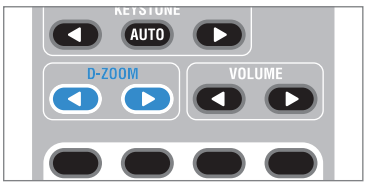




◀を押すごとに元に戻ります。（100% まで）







次のページに続く

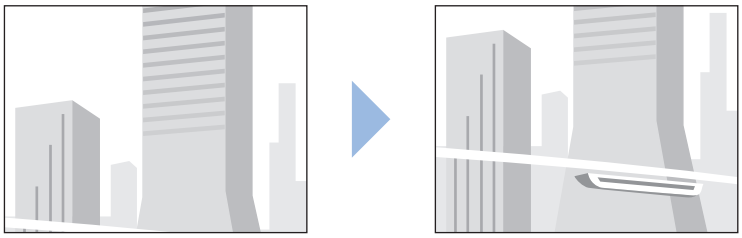
簡易メニュー／投映機能

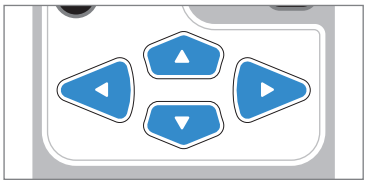
画像・映像投映時に効果的な機能です。

入力切替 | 投映設定 | 投映機能

- 目的のサイズに画像を拡大したら ENTER ボタンを押してメニュー画面を消してください。
- リモコンのカーソルボタン（▲▼◀▶）を押すと表示位置が移動します。

※拡大を行っていないとき（ズーム 100% の状態）は移動しません。

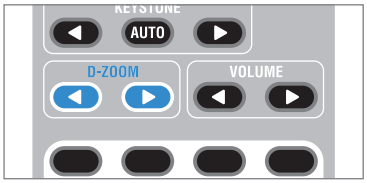




ズーム：120

- すぐに表示を閉じる場合はリモコン及びプロジェクタ本体の MENU ボタンを押してください。約 10 秒間操作をしないと自動的に表示は閉じます。

※拡大の操作を終了したら必ずズームの値を 100 に戻してください。



ズーム 100

お知らせ

ズーム状態は保存されません。一度電源を切るか、入力信号が途切れるとズームは自動的に解除されます。

簡易メニュー／投映機能

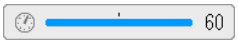
画像・映像投映時に効果的な機能です。

入力切替 | 投映設定 | 投映機能

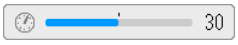
タイマー表示

プレゼンテーションの時間を計るために、画面にタイマー表示を行う事ができる機能です。
投映画面にタイマーが表示される事により、プレゼンテーションを行いながら瞬時に残り時間を確認する事ができます。

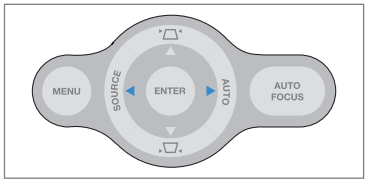
- 項目名**タイマー表示**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で時間設定を行います。
- カーソルボタン（▶）を押すたびに **OFF ▶ 10 分 ▶ 20 分 ▶ 30 分 ▶ 40 分 ▶ 50 分 ▶ 60 分**と設定時間が切り替わります。
- 目的の分数に合わせて MENU ボタンを押すとメニュー表示が消え、下の様にタイマーゲージが表示されます。

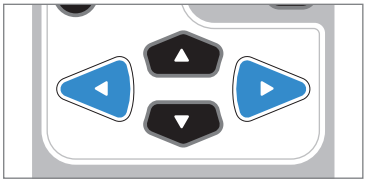


黒のゲージとタイマーで残り時間を知らせます。ゲージがなくなると設定した時間が過ぎた事となります。（ゲージがなくなった後もタイマーは表示しつづけます）

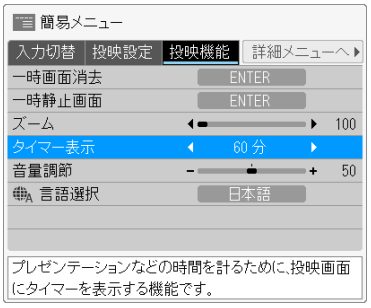


- 設定した時間が過ぎた後に再びタイマーをスタートする場合は ENTER ボタンを押すと、再び設定した時間のタイマーが開始されます。
- タイマーを消去する場合は MENU ボタンを押し、項目名**タイマー表示**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で **OFF** を選択するとタイマーゲージが消えます。





次のページに続く



お知らせ

- タイマー時間は保存されません。一度電源を切ると自動的にタイマー OFF 状態になります。
- タイマーゲージはメニューを表示させている時や、メッセージが表示されている間は消えますがタイマーは動作しています。また、信号が入力されていないと表示しません。

簡易メニュー／投映機能

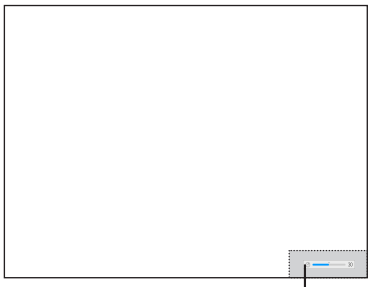
画像・映像投映時に効果的な機能です。

入力切替 | 投映設定 | 投映機能

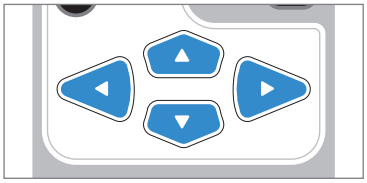
タイマーゲージの位置を移動させたいとき

リモコンのカーソルボタン（▲▼◀▶）でタイマーゲージ表示可能範囲内の移動が可能です。
タイマーゲージ表示中にカーソルボタン（▲▼◀▶）で好みの位置に移動してください。

- タイマー表示は信号入力時のみ使用できます。入力信号が無い場合は使用できません。
- タイマーゲージ表示中はズーム使用時の画面移動が行えません。



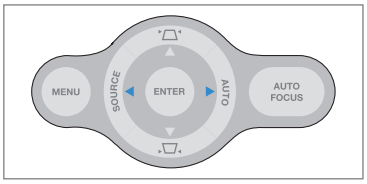
タイマー表示移動可能範囲

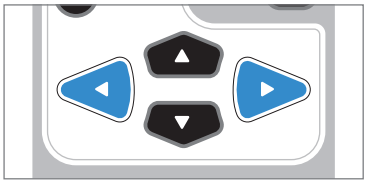


音量調節

プロジェクタ本体に内蔵されているスピーカーの音量調節です。

- 項目名**音量調節**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で音量を調節します。





簡易メニュー／投映機能

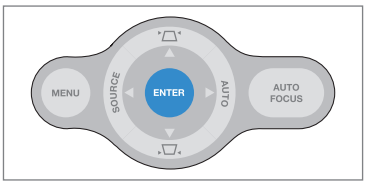
画像・映像投映時に効果的な機能です。

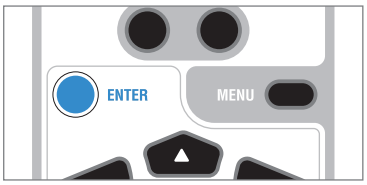
入力切替 | 投映設定 | 投映機能

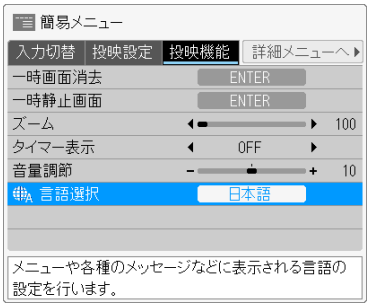
言語選択

メニュー表示や各種のメッセージ表示などに表示される言語の設定が行えます。

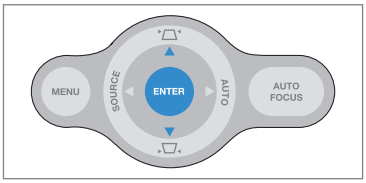
- 項目名**言語選択**にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押してください。

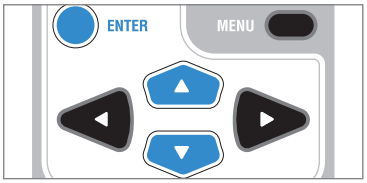


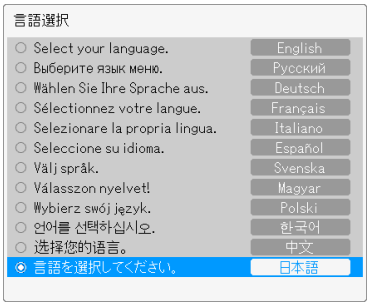




- 表示言語の選択画面が表示されますので、カーソルボタン（▲▼）で目的の言語を選択し ENTER ボタンを押します。







詳細メニュー／映像

映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

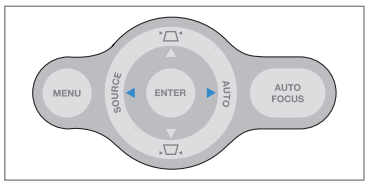
明るさ調整／コントラスト調整／シャープネス

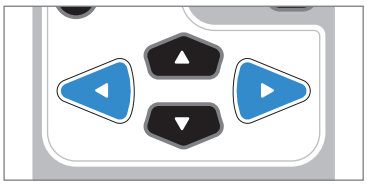
投映している環境に合わせて様々な映像の調整ができます。

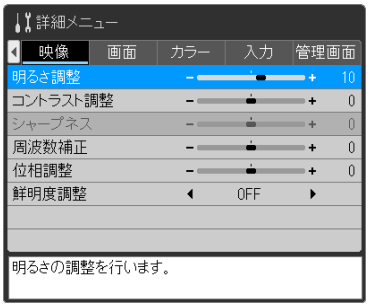
- 各項目名にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整します。

項目名	◀	▶
明るさ調整	暗くなります	明るくなります
コントラスト調整	画像が淡くなります	画像が濃くなります
シャープネス	やわらかい画像になります	くっきりした画像になります

※シャープネスは Video/S-Video 入力時のみ使用できます。







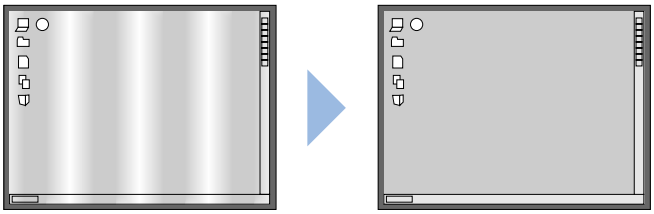
詳細メニュー／映像

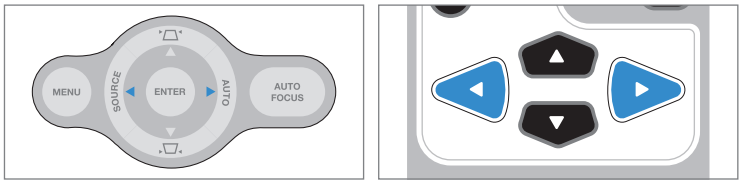
映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

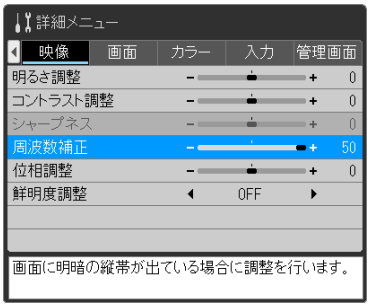
周波数補正

画面に明暗の縦帯が出ている場合に調整を行います。通常はソース入力検出時に自動調整を行いますが、自動調整しきれない場合は以下の通り調整を行ってください。

- 項目名**周波数補正**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整します。
- 画面を見ながら明るさが一定になる調整値を設定してください。







お知らせ

周波数補正は RGB 信号入力のときだけ行えます。

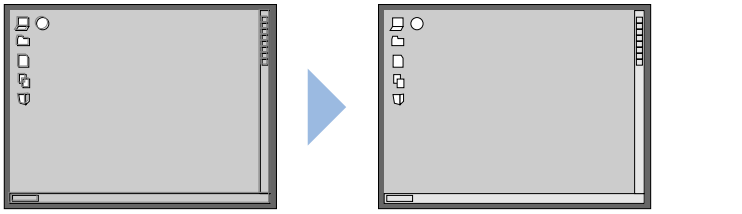
詳細メニュー／映像

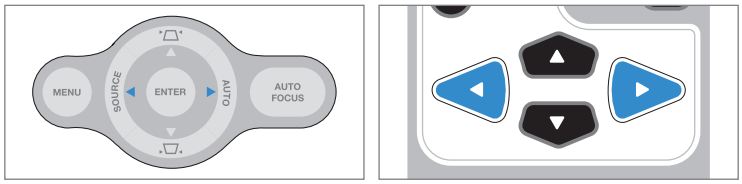
映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

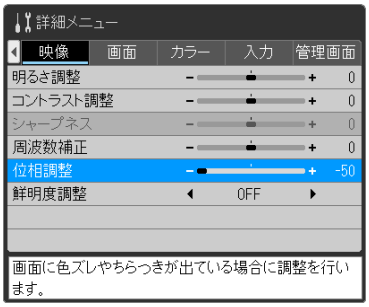
位相調整

画面の色ずれやちらつきが出ている場合に調整を行います。通常はソース入力検出時に自動調整を行いますが、自動調整しきれない場合は以下の通り調整を行ってください。

- 項目名**位相調整**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整します。
- 画面を見ながら色ずれやちらつきが目立たなくなるように調整してください。







ワンポイント

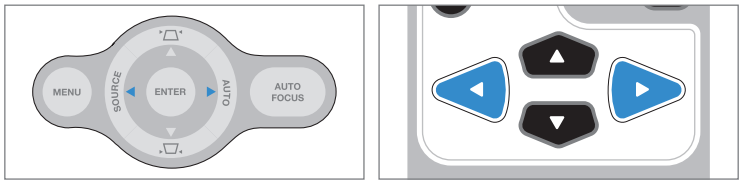
位相とは？

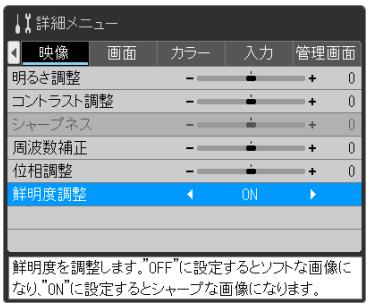
位相とは映像信号のタイミングを示します。映像出力機器とプロジェクタの間で映像信号のタイミングにずれが生じた場合、色ずれやちらつきが発生します。本製品では**位相調整**によりこのタイミングの調整を行うことで正常な映像を映し出す事ができます。

鮮明度調整

入力信号を本製品の解像度に合わせて拡大／縮小表示を行った際の鮮明度を調整します。

- 項目名**鮮明度調整**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整します。
- **鮮明度調整**を **OFF** にするとソフトな画像になり、モアレなどが目立たなくなります。逆に**鮮明度調整**を **ON** にするとシャープな画像になり、細線がくっきりとします。

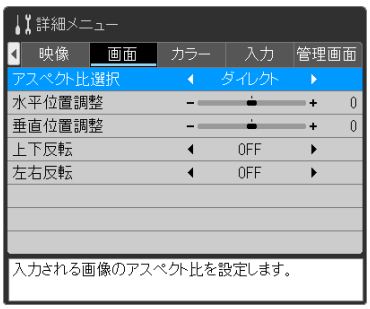




詳細メニュー／画面

映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

アスペクト比選択



入力される画像のアスペクト比を設定します。

- 項目名**アスペクト比選択**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整します。

コンピュータ入力の場合

オート：入力信号を自動で4:3画面に拡大/縮小し画面いっぱいに投映します。

ダイレクト：入力信号のアスペクト比を維持したまま表示可能な最大の大きさで投映します。

リアル：入力信号を画素変換せずに投映します。

入力信号	オート	ダイレクト	リアル
本機の表示解像度より高い場合				
本機の表示解像度より低い場合				

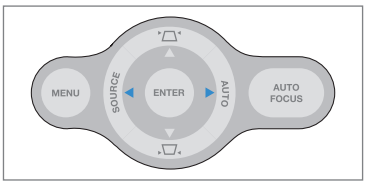
ビデオ信号及びコンポーネント信号の場合

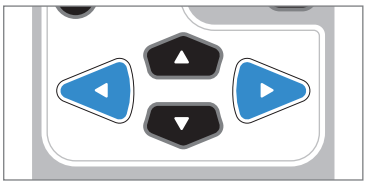
オート：アスペクト比を維持したまま画面からはみ出す部分が無いように画面いっぱいに投映します。（16：9 の映像は上下が黒くなります）

ワイド：全て 16：9 画面で横幅いっぱいに投映します。スクイーズ画面を正しいアスペクト比で投映する場合に使用します。

ズーム：16：9 やレターボックス中の 4：3 部分のみを画面いっぱいに投映します。（はみ出た部分はカットされます。）

アスペクト比選択	オート	ワイド	ズーム
4：3 画面			
16：9 画面			

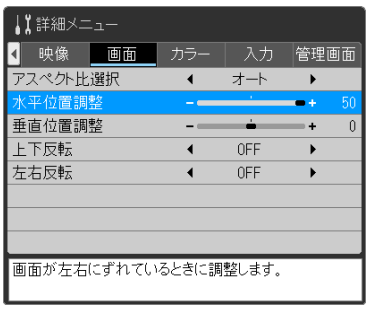




詳細メニュー／画面

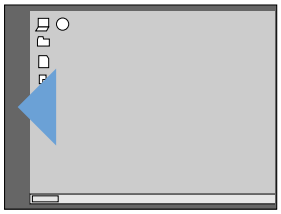
映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

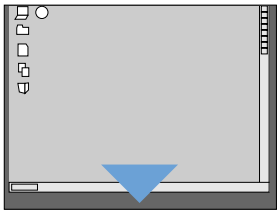
水平位置調整／垂直位置調整

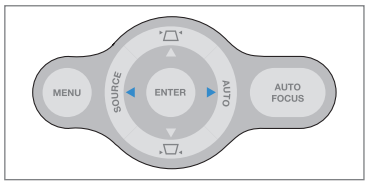


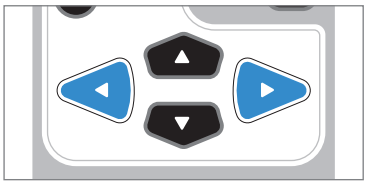
画面が上下左右にずれているときに調整します。通常はソース入力検出時に自動調整を行いますが、自動調整しきれない場合は以下の通り調整を行ってください。

- 項目名**水平位置調整**、**垂直位置調整**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整を行います。

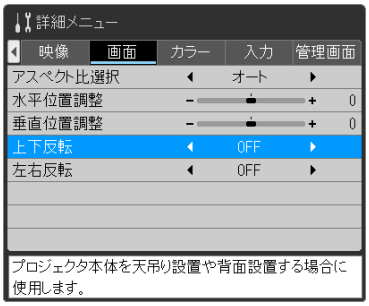








上下反転／左右反転



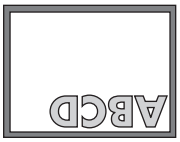
プロジェクタ本体を天吊り設置や背面設置する場合に使用します。

- 項目名**上下反転**、**左右反転**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定を行います。

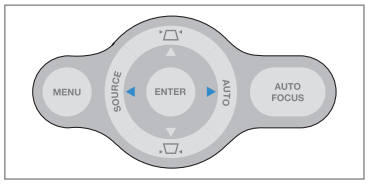
上下反転:OFF
左右反転:OFF

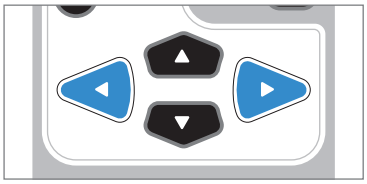
上下反転:OFF
左右反転:ON

上下反転:ON
左右反転:ON



上下反転:ON
左右反転:OFF

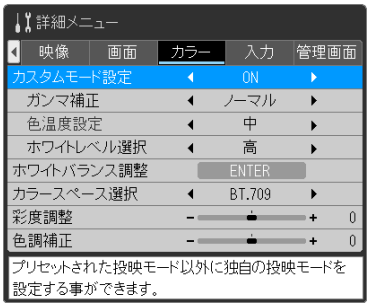




詳細メニュー／カラー

映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

カスタムモード設定

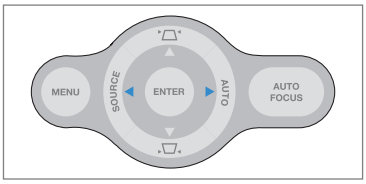


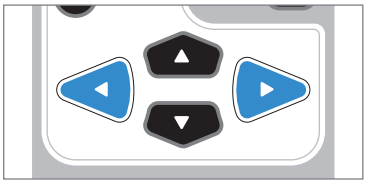
プリセットされた投映モード以外に独自の投映モードを設定する事ができます。

- 項目名**カスタムモード設定**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で **ON/OFF** を切り替えます。

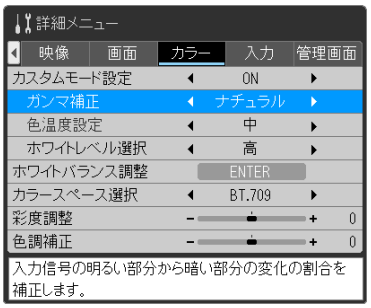
※**カスタムモード設定**を **ON** にすると、**投映モード**は**カスタム**が選択されます。**カスタムモード設定**を **OFF** にすると、**投映モード**は**標準**が選択されます。

- 設定が **ON** の場合のみ**ガンマ補正**、**色温度設定**、**ホワイトレベル選択**を使用して、カスタムモードを調整できます。設定が **OFF** の場合は項目名がグレーで表示され選択及び調整ができません。





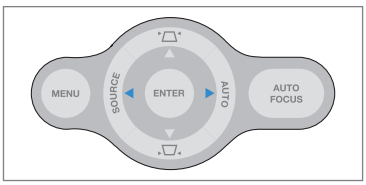
ガンマ補正

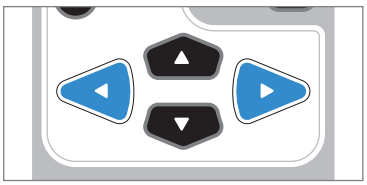


入力信号の明るい部分から暗い部分の変化の割合を補正します。
自然な色合いを再現したり、明るい会議室でパソコン画像をくっきりと投映するときなどに使用します。

- 項目名**ガンマ補正**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定内容を選択します。

ノーマル：標準的な補正をします。
ナチュラル：自然な色合いになるように補正します。
リアル：明るさ重視の補正をします。





お知らせ

カスタムモード設定で OFF を設定している場合は、ガンマ補正、色温度設定、ホワイトレベル選択の項目はグレー表示され、選択及び調整はできません。

詳細メニュー／カラー

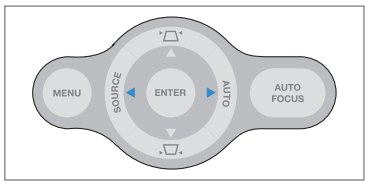
映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

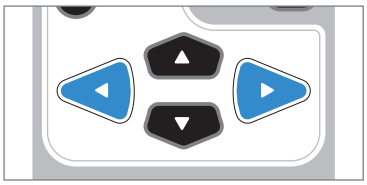
色温度設定

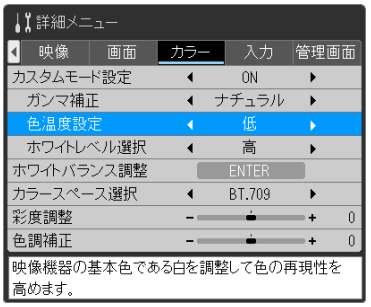
スクリーンは照明などの外光色に影響をうけます。
映像機器の基本色である白色を調整して色の再現性を高めます。
また肌色重視の映像にすることもできます。

- 項目名**色温度設定**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定内容を選択します。

低：暖色系の白（赤みがかる）になります。
中：暖色系の白（黄みがかる）になります。
推奨：太陽光の白になります。
高：寒色系の白（青みがかる）になります。







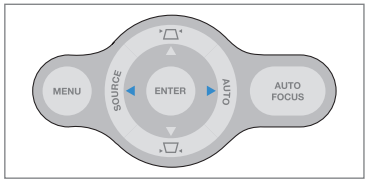
お知らせ

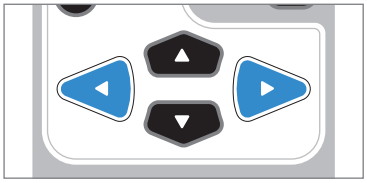
カスタムモード設定で OFF を設定している場合は、ガンマ補正、色温度設定、ホワイトレベル選択の項目はグレー表示され、選択及び調整はできません。

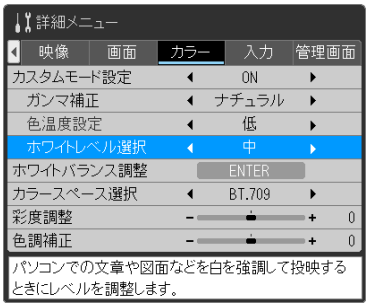
ホワイトレベル選択

パソコンでの文章や図面などを、白を強調して投映することができます。

- 項目名**ホワイトレベル選択**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定内容を選択します。
- **低**、**中**、**高**からお好みのホワイトレベルを選択します。







お知らせ

カスタムモード設定で OFF を設定している場合は、ガンマ補正、色温度設定、ホワイトレベル選択の項目はグレー表示され、選択及び調整はできません。

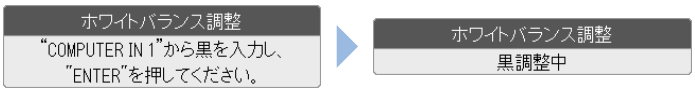
詳細メニュー／カラー

映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

ホワイトバランス調整

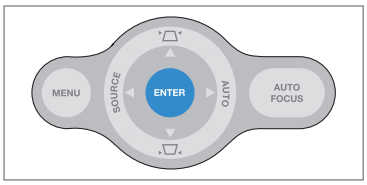
COMPUTER IN1/2 から入力される信号の黒及び白レベルをパソコンに合うように自動調整します。この調整により色の再現性が高まります。

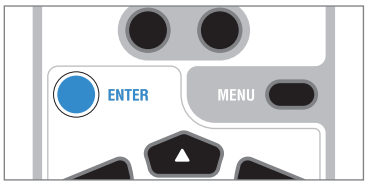
1. 項目名**ホワイトバランス調整**にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押します。「"COMPUTER IN 1" から黒を入力し、"ENTER" を押してください。」とメッセージが表示されます。
2. 接続しているパソコン画面を黒にします。
3. ENTER ボタンを押すと「黒調整中」とメッセージが表示され黒レベルを調整します。

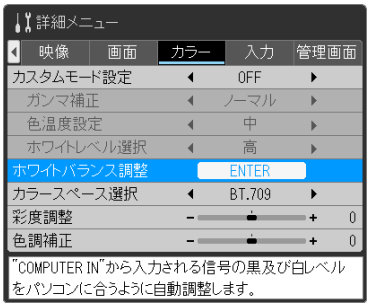


4. 黒レベルの調整が終わると、「"COMPUTER IN 1" から白を入力し、"ENTER" を押してください。」とメッセージが表示されます。
5. 接続しているパソコン画面を白にします。
6. ENTER ボタンを押すと「白調整中」とメッセージが表示され白レベルを調整します。

「ホワイトバランス調整終了」のメッセージがしばらく表示され調整が終了します。







ワンポイント

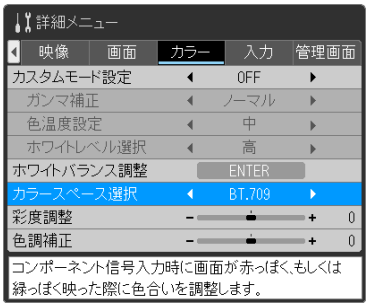
パソコン画面を黒、白にするには?

Microsoft Office の PowerPoint を使用すると簡単に画面を白、黒に表示する事ができます。任意の PowerPoint ファイルを起動しスライドショー表示をしてください。スライドショー表示中にキーボードの“W”を押すと画面が白になります。（他のキーを押すと元の画面に戻ります）同様にキーボードの“B”を押すと画面が黒になります。

詳細メニュー／カラー

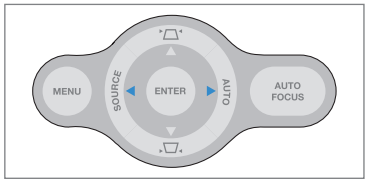
映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

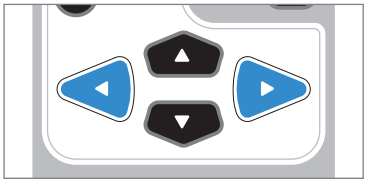
カラースペース選択



コンポーネント信号入力時に画像が赤っぽく、もしくは緑っぽく映った際に色合いを調整できます。

- 項目名**カラースペース選択**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で正常な画像になるカラースペースを選択します。
- 選択内容は **BT.709**、**SMPTE240** の 2 種類です。

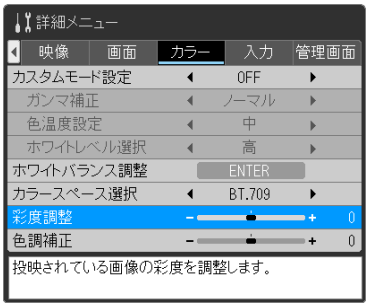




お知らせ

- コンポーネント信号をプロジェクタの映像表現である RGB に変換処理する場合、入力信号の色差変換方式に準拠した方式を使用しないと正しい色が表現できません。これを選択するのがカラースペースです。
- カラースペース選択が調整できるのは HDTV/SDTV のみです。

彩度調整



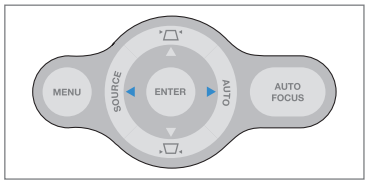
投映されている画像の彩度を調整できます。

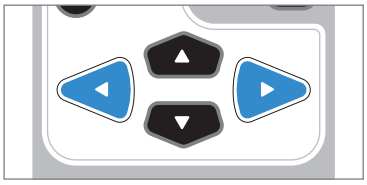
- 項目名**彩度調整**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整を行ってください。

◀：色が淡くなります

▶：色が濃くなります

※**彩度調整**は Video/S-Video 入力時のみ使用できます。





詳細メニュー／カラー

映像の細かな設定ができます。（調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。）

色調補正

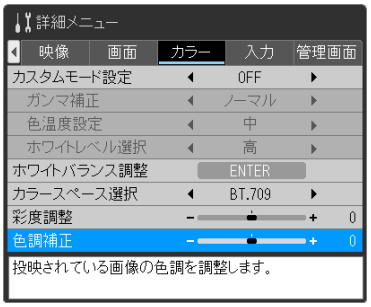
投映されている画像の色調を調整できます。

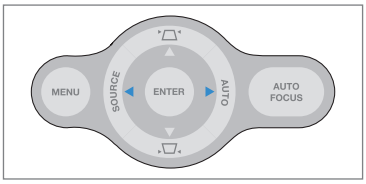
- 項目名**色調補正**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で調整を行ってください。

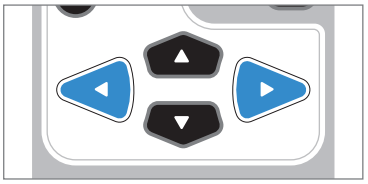
◀：赤みがかります

▶：緑がかります

※**色調補正**はコンポーネント信号 /Video/S-Video 入力時のみ使用できます。





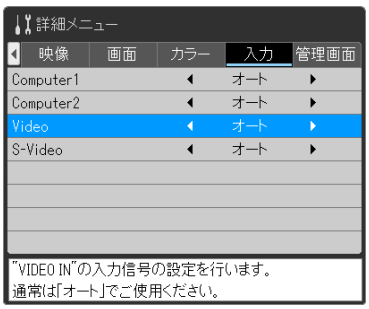


詳細メニュー／入力

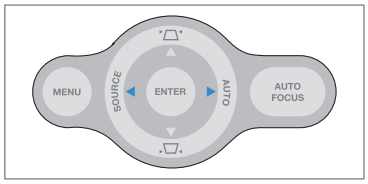
入力端子に対する入力信号の設定を行うことができます。

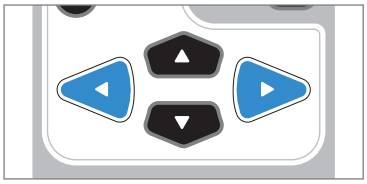
通常は**オート**に設定の上ご使用ください。 ➔ P54
オートで識別できない場合のみ**入力**の設定を行ってください。

- 各項目名にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定を行います。



入力信号	選択項目	選択内容
Computer1/2	オート	信号を自動検出します。
	コンピュータ	アナログ RGB 信号に固定します。
	コンポーネント	コンポーネント信号に固定します。
Video/S-Video	オート	信号を自動検出します。
	NTSC	NTSC 方式に固定します。
	PAL	PAL 方式に固定します。
	SECAM	SECAM 方式に固定します。
	NTSC 4.43	NTSC 4.43 方式に固定します。
	PAL M	PAL M 方式に固定します。
	PAL N	PAL N 方式に固定します。
	PAL 60	PAL 60 方式に固定します。





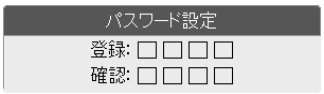
詳細メニュー／管理画面

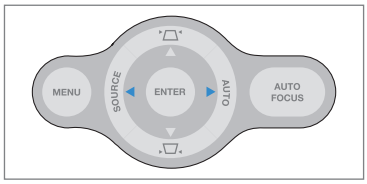
セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

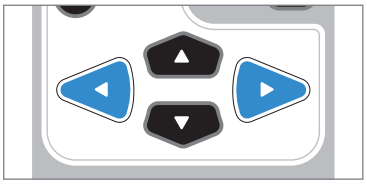
パスワード設定

プロジェクタのいたずらや無断使用を避けるためにパスワードを設定して起動を制限する事ができます。

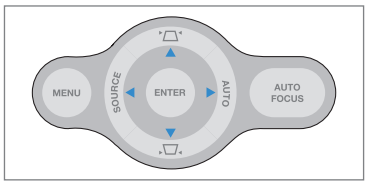
- 項目名**パスワード設定**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定内容を **ON** にします。メニュー画面が消えてパスワード登録画面が表示されます。

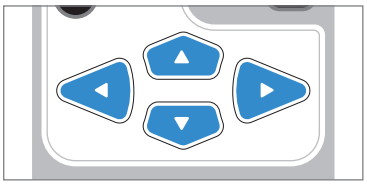




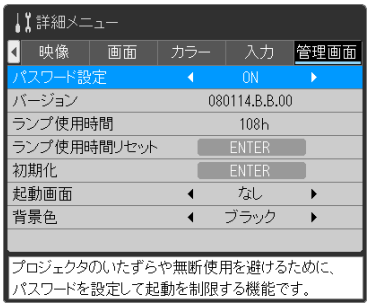


- リモコンもしくはプロジェクタ本体操作部のカーソルボタン（▲▼◀▶）を使って登録を行います。必ず 4 桁入力してください。





次のページに続く →



お知らせ

入力したパスワードは表示されませんので必ず登録内容をメモ書きし、大切に保管してください。

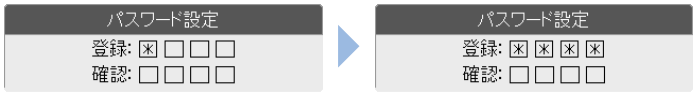
※付属のセキュリティーシート、セキュリティラベルをご利用ください。

詳細メニュー／管理画面

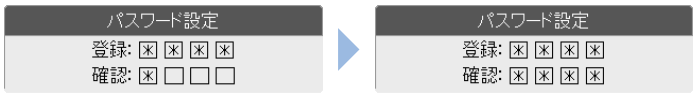
セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

例）パスワード◀▼▼▲を登録します

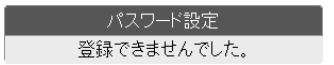
1. カーソルボタンの「◀」を押すと 1 桁目に“＊（アスタリスク）”が付きます。続けて「▼」「▼」「▲」とカーソルボタンを押すと 4 桁全てに“＊”が付きます。

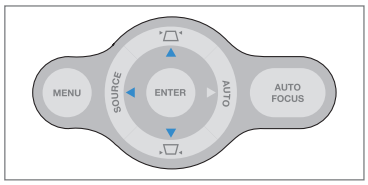


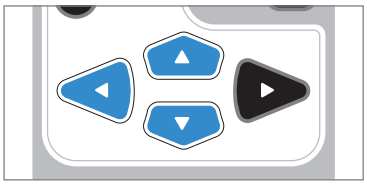
2. パスワードの登録入力が終了すると、確認入力が続きます。再度「◀」「▼」「▼」「▲」と入力すると確認入力の 4 桁に“＊”が付きます。



確認入力時にパスワードが間違っている場合はメッセージが表示され“＊”が消えますので、登録入力からやりなおしてしてください。







※パスワード入力時に設定を取り消す場合は MENU ボタンを押してください。“＊”が消えて登録入力の待機時に戻ります。パスワード設定をやめるにはもう一度 MENU ボタンを押すと、パスワード登録画面が消え、メニュー画面が表示されます。

以上でパスワード設定は終了です。次回電源を入れるとパスワードの入力画面が表示されます。

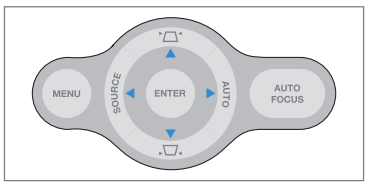
詳細メニュー／管理画面

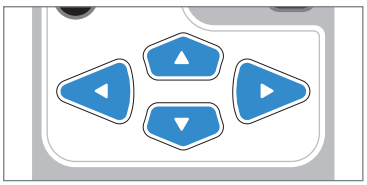
セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

電源を入れた際に「パスワードを入力してください。」と表示されたとき

パスワード設定を行うと、電源を入れた際にパスワード入力画面が表示されます。設定したパスワードを入力しないとこの画面を表示し続けます。次の手順で登録済みのパスワードを入力してください。

- 入力ボタン（カーソルボタン）を使用してパスワードを入力します。必ず登録済みの 4 桁を入力してください。

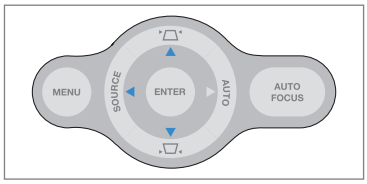


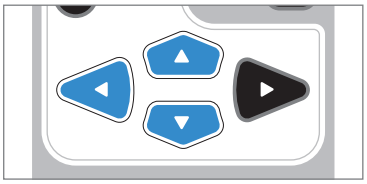


例）パスワード◀▼▼▲を入力します

カーソルボタンの「◀」を押すと 1 桁目に“＊（アスタリスク）”が付きます。

続けて「▼」「▼」「▲」とカーソルボタンを押すと 4 桁全てに“＊”が付きます。パスワードが一致すると表示が消えプロジェクタが使える状態になります。





次のページに続く

詳細メニュー／管理画面

セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

映像	画面	カラー	入力	管理画面

パスワードを解除する／パスワードを変更する

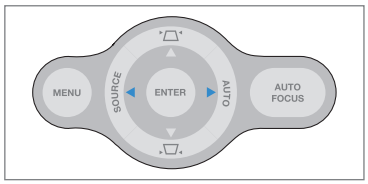
パスワードの解除／変更にはメニューでの操作が必要です。

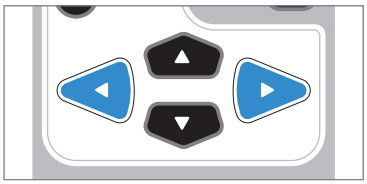
パスワードを解除する。

1. 項目名**パスワード設定**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定内容を **OFF** にします。
2. これで**パスワード設定**が **OFF** になりました。次回のプロジェクタ起動時からパスワード入力表示は表示されません。

パスワードを変更する

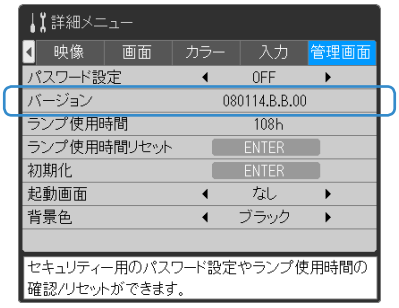
1. 上記の操作で**パスワード設定**を **OFF** にした後、再度 **ON** に設定します。
2. メニュー画面が閉じてパスワード登録画面が表示されます。
3. 新しいパスワードを登録してください。（登録のしかたは → P77）





バージョン

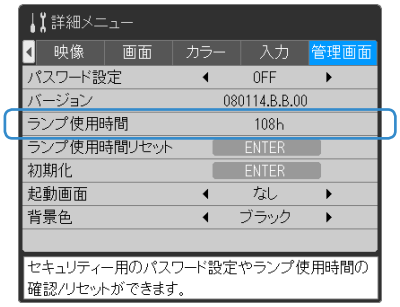
本製品のバージョン情報を表示しています。



詳細メニュー／管理画面

セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

ランプ使用時間



ランプの使用時間を表示しています。**KG-PS232Xh/232X** には「省電力モード」機能があります。標準モードと省電力モードではランプの寿命が異なります。

標準モードのみ使用の場合：約 2000 時間

省電力モードのみ使用の場合：約 3000 時間

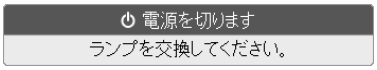
- 双方のモードを切り替えて使用する場合はランプ寿命が変動します。
- **KG-PV131X/131S** には「省電力モード」機能がありません。標準モードのみとなりランプの寿命は約 4000 時間となります。

ランプが寿命に到達した場合

画面上に「ランプを交換してください。」と 1 分間隔で 10 秒間表示されます。新しいランプと交換してください。ランプの交換方法は「ランプの交換」をご確認ください。 → P89, 90

ランプ寿命到達後 100 時間を越えた場合

画面上に「電源を切ります ランプを交換してください。」と 10 秒間表示して、強制的に電源が切れます。この状態になると POWER/STANDBY ボタンを押しても電源は入りません。新しいランプに交換してください。



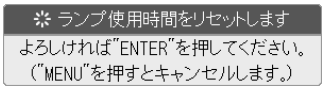
詳細メニュー／管理画面

セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

ランプ使用時間リセット

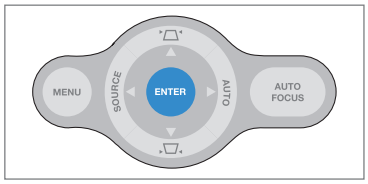
ランプの使用時間をリセットします。ランプを交換したときは必ずランプ使用時間リセット操作を行ってください。

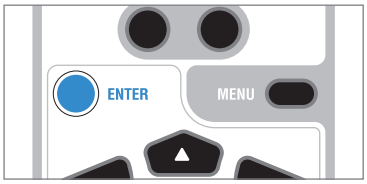
- 項目名**ランプ使用時間リセット**にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押します。画面上に「ランプ使用時間をリセットします。よろしければ "ENTER" を押してください。("MENU" を押すとキャンセルします。)」と表示されます。

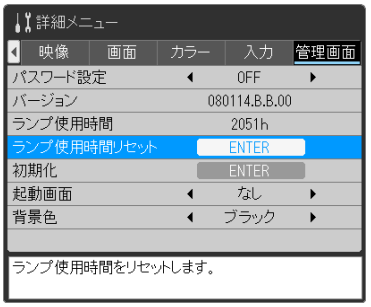


- 再度 ENTER ボタンを押すとランプ使用時間が **0** に戻ります。

※**ランプ使用時間リセット**を取りやめる場合は、MENU ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



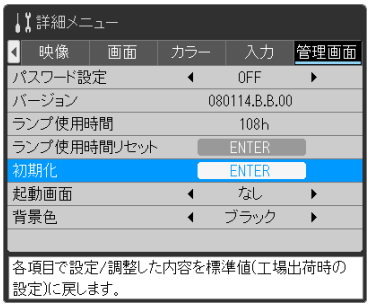




詳細メニュー／管理画面

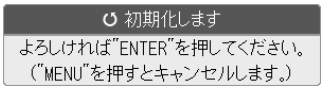
セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

初期化



各項目で設定／調整した内容を標準値（工場出荷時の設定）に戻します。

- 項目名**初期化**にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押します。画面上に「初期化します。よろしければ "ENTER" を押してください。("MENU" を押すとキャンセルします。)」とメッセージが表示されます。

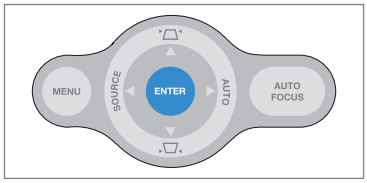


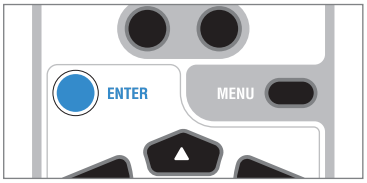
- 再度 ENTER ボタンを押すと初期化されます。

※**初期化**を取りやめる場合は、MENU ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

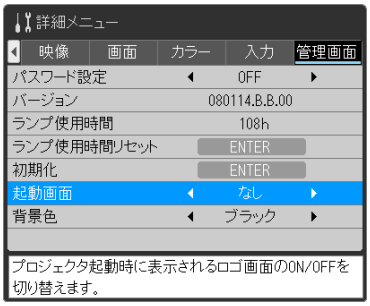
- 以下の項目は初期化しても設定が残ります。

上下反転、**左右反転**、**言語設定**、**ランプ使用時間**、**パスワード設定**





起動画面

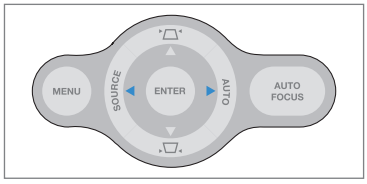


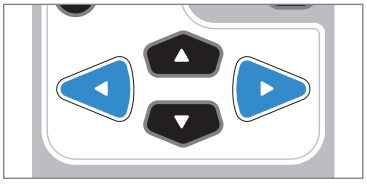
プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面の表示／非表示を切り替えます。

- 項目名**起動画面**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で**ロゴ**と**なし**を切り替えます。

ロゴ：ロゴ（TAXAN）が表示されます。

なし：ロゴが表示されません。





詳細メニュー／管理画面

セキュリティ用のパスワード設定やランプ使用時間の確認／リセットなどができます。

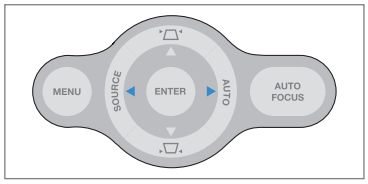
背景色

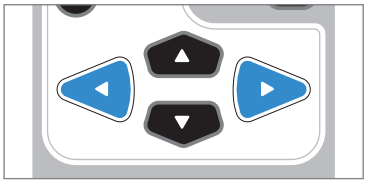
一時画面消去を行った際などの画面色を設定できます。

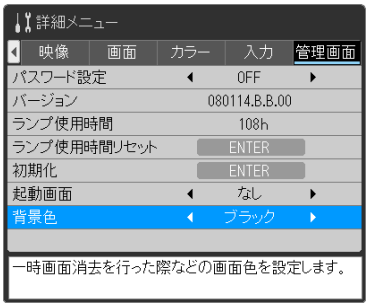
- 項目名**背景色**にカーソルを合わせてカーソルボタン（◀▶）で設定を行います。

ブルー：背景色がブルー画面になります。

ブラック：背景色がブラック画面になります。







故障かな?と思ったら

インジケーターが点灯／点滅しているときは

LAMP/HEAT のインジケーターが点灯したり点滅したりしているときは、下記の表の通りに異常を知らせています。

インジケーターの状態			異常の内容
POWER/STANDBY ボタン	HEAT	LAMP	
		赤：点灯	**ランプ交換時期です。** 新しいランプに交換してください。 → P89
赤：点滅		赤：点滅	**ランプ寿命です。電源は入りません。** ランプ寿命到達後、100 時間以上使用しています。新しいランプに交換してください。 → P89
赤：点灯		赤：点滅	**ランプカバーが開いています。** ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。 → P90, 91
赤：点灯		LAMP 赤：点灯	**ランプが点灯しません。** 90 秒以上待って再度電源を入れてください。それでもなおらない場合は、電源コードを抜いて販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。
赤：点灯	赤：点灯		**温度が異常に高くなっています。** • 温度プロテクタが作動しています。室温が高い場合は、プロジェクタを涼しい場所へ移動してください。プロジェクタの内部温度が高い場合は、冷却ファン通風孔を調べて目詰まりしているときは掃除をしてください。 • 温度プロテクタが作動すると電源が切れ、すぐに電源を入れても電源が入らないことがあります。その場合は約 90 秒間待ってからもう一度電源を入れてください。
赤：点滅	赤：点滅	赤：点滅	**その他のハードウェア故障** 電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」へ修理を依頼してください。

インジケーターが正常状態及び上記以外の状態で点灯／点滅している時は、電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

温度プロテクトに関して

プロジェクタ内部の温度が異常に高くなると温度プロテクタがはたらいてプロジェクタの電源が切れます。
このときは、以下の事を行ってください。

1. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **次の事項を確認し、必要な処置をしてください。**
   周囲温度が高い場所において使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
   排気孔、吸気孔を調べて、目詰まりしているときは掃除をしてください。
3. **プロジェクタの温度が下がるまで、約 60 分待ってください。**
   以上のことを行っても解決しないときは、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

故障かな?と思ったら

このようなときは

修理を依頼される前に、つぎのことをご確認ください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • ランプカバーが正しく取り付けられていますか。 • 本機の温度が高くなっていませんか。本機の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。 • ランプ寿命を超えて使用していませんか。 • 電源コード挿入時（電源 ON 時）のタイミングによっては、POWER/STANDBY ボタンのインジケーター（LED）が点灯せず電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。その場合はもう一度、電源コードを抜き差ししてください。	P36 P90, 91 P85 P85 —
映像が出ない	• 接続されている入力を選んでいますか。 • 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。 • パソコン接続の場合、パソコンから信号が出ていますか。 • 本機の対応周波数以外の信号を入力していませんか。 • 映像の明るさ調整、コントラスト調整が最小になっていませんか。 • LAMP/HEAT のインジケーターが赤色で点灯または点滅していませんか。 • DVD プレーヤのコンポーネント信号を COMPUTER IN1/2 端子と接続しているとき、映像が出ない場合 COMPUTER IN1/2 端子の入力が正しく選択されていますか。	P42 P29 ～ 34 P30 P96 P66 P85 P76
映像が歪む	• 正しく設置されていますか。 • 台形状に歪む場合は台形補正の調整を行ってください。投映画像の内容や投映状態によっては、画像が充分に補正されない場合がありますので、予めご了承ください。	P39 P46, 56, 57
映像がぼやける	• レンズのフォーカス（焦点）は合っていますか。 • 投映画面とプロジェクタが正しい距離で設置されていますか。 • 投映距離がフォーカスの合う範囲を超えていませんか。 • レンズなどが結露していませんか。気温の低い所に保管しておいて暖かい所で電源を入れるとレンズや内部光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるのをご確認後ご使用ください。	P40 P28 P28 —
映像位置がずれて正常に表示されない	• Computer1/2 入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。 • 入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。パソコンの解像度をご確認ください。	P70 P96
ビデオ映像がつぶれている	• 映像が横または縦方向につぶれているときや画面いっぱいに映らない場合はアスペクト比の選択を行ってください。	P69
映像全体の色がおかしい	• コンポーネント信号を入力している場合は、カラースペースの設定が異なっていませんか。 • コンポジット入力の場合は、色調の調整がずれていませんか。	P74 P75
RGB 入力で文字がチラついたり色がずれている場合	• 詳細メニューの映像の周波数補正、位相調整項目を調整してください。	P67, 68
メニュー名の選択ができない	• 一部の機能は本機に信号を入力して、映像／画像を投映していないと選択できません。	—
リモコンが操作できない	• リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコンの有効範囲を超えていませんか。 • リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。 • 本体を蛍光灯の近くに設置していませんか。	P22, 23 P23 P23 P23 P23

故障かな?と思ったら

このようなときは

このようなとき	確認してください	参照ページ
LAMP/HEAT のインジケーターが赤色で点灯または点滅する	• 「インジケーターが点滅／点灯しているときは」をご覧ください。	P85
電源を入れても「パスワードを入力してください」の表示しかされない	• パスワードが設定されています。正しいパスワードを入力してください。	P77, 78

以上をご確認いただいても解決できない場合は、ご購入販売店または弊社カスタマーセンターにお問い合わせください。

お知らせ

青色になっている“カスタマーセンター”上に手アイコンを合わせると アイコンに変わります。マウスをクリックすると“弊社カスタマーセンターお問い合わせ方法”にジャンプします。

お手入れについて

- **お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **プロジェクタ本体やレンズに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料のはがれなどの原因となります。**

プロジェクタ本体の汚れは

- 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。
- 汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- プロジェクタ本体を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

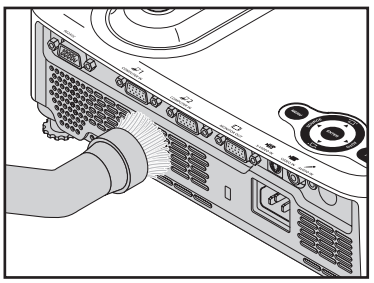
レンズの汚れは

- カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

吸気孔、排気孔のほこりは

吸気孔、排気孔にほこりがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。最低でも使用期間 100 時間を目安に掃除をしてください。

- 電源を切り、POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが橙色の点灯に変わったのを確認後、電源コードを抜いてください。
- 外側から電気掃除機で吸い取ってください。掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに使用したり、ブラシなしのアダプタを使用することは避けてください。



本体内部の掃除は

- 年に 1 度くらいは本体内部の掃除が必要です。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除はご自分でせず、必ず販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

ランプの交換

- **本機の光源に使われているランプには寿命があります。ランプの定格寿命は KG-PS232Xh/232X 約 2000 時間（ノーマルモードのみ使用時）、KG-PV131X/131S 約 4000 時間です。なお、ランプ寿命は使用条件などにより早まる場合があります。KG-PS232Xh/232X で省電力モードを使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。**
  （定格寿命とは長期間に製造されたランプの寿命の平均値を言い、当社試験条件によるものです。定格寿命は当社試験条件による平均値であり、この時間まで動作を保証するものではありません。）
- **ランプの寿命を超えると POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが青点灯、LAMP インジケーターが赤点灯し、メッセージ「ランプを交換してください。」が画面上に表示されます。この場合はランプカートリッジの交換時期です。次のページの手順にしたがって交換してください。** **➔ P90**
- **ランプ寿命から 100 時間を超えて使用すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。**
- **交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は KG-PS232Xh/KG-PS232X 交換用ランプ（型名 KG-LPS2230 ／注文コード 600-377）、KG-PV131X/KG-PV131S 交換用ランプ（型名 KG-LPV1200 ／注文コード 600-278）とご指定ください。**

⚠注意

- ランプカートリッジの交換は、電源を切り、POWER/STANDBY ボタンのインジケーターが橙色の点灯に変わったのを確認後、電源プラグをコンセントから抜き、約 60 分おいてから行ってください。
  動作中や停止直後にランプカートリッジを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
- 交換作業は危険防止のため、顔より下の位置で行ってください。
  顔より上の位置で行いますと、万一ランプカートリッジが破裂していた場合、ガラスの破片等が目などに入り、けがなどの原因となることがあります。
- 指定のネジ以外はゆるめないでください。
- プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプ（以下、高圧水銀ランプ又はランプと言う）を使用しております。取り扱いには充分にご注意ください。
- 高圧水銀ランプは衝撃や傷、使用時間の経過による劣化の原因により、不点灯状態となって寿命が尽きたり、大きな音をともなって破裂したりする特性があります。
- ランプカートリッジのガラスの部分を素手で触らないでください。ランプの破裂や寿命が短くなる原因となります。また、ランプは使用条件や個体差によって寿命が異なります。
  まれにですが、使用後まもなく破裂する事もあります。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプハウスの中にガラスの破片が飛び散りランプ内部のガスがプロジェクタの通風孔を通じ外に漏れる可能性があります。
  ランプが破裂した際には顔や手などを近づけず、速やかに販売店もしくは弊社「カスタマーセンター」（0120-331-059）にランプの交換と内部の点検を依頼してください。
- 高圧水銀ランプの内部には、水銀等の人体に有害な物質が含まれております。ランプが破裂したときにプロジェクタの近くに顔や手などがあり、万が一ランプから発生したガスを吸い込んだり、体に付着した場合には、速やかに医師にご相談ください。
- プロジェクタのランプは、蛍光灯やハロゲンランプと同じ有害物質（水銀、ハロゲン物質等）を使用しております。
  ご使用後のランプは、一般的な蛍光灯などと同じ分別方法で廃棄してください。

ランプの交換

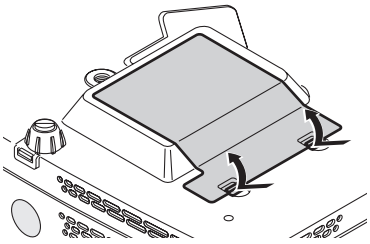
1 電源コードを外す

2 本体の底面を上にする

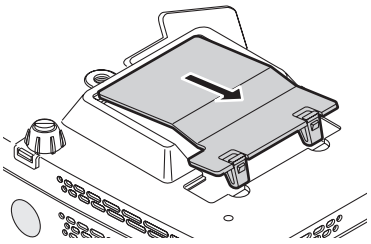
柔らかい布などを敷いて、傷がつかないように置くと、交換しやすくなります。交換後はもとに戻してください。

3 ランプカバーを外す

(1) ランプカバーの 2 箇所のツメを押し、上に持ち上げます。

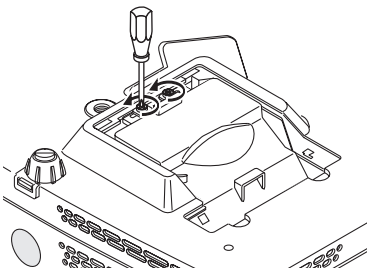


(2) 矢印方向に引いて取り外します。

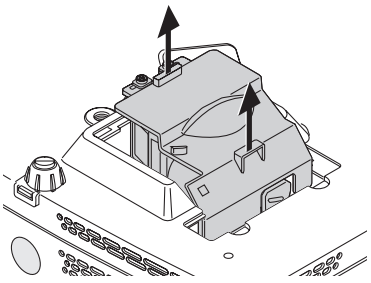


4 ランプカートリッジを取り外す

(1) ランプカートリッジのネジ 2 本を左へ空回りするまでゆるめます（ネジは外れません）。



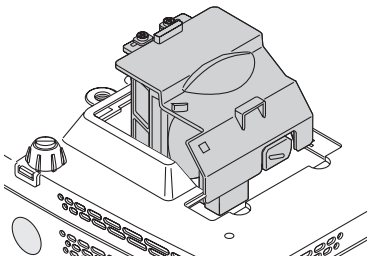
(2) ランプカートリッジの取っ手を持って上に引いて、取り外します。



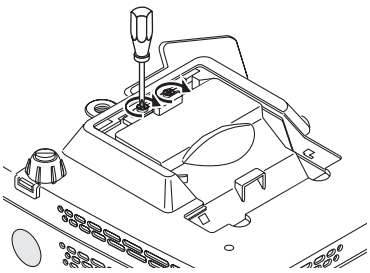
ランプの交換

5 新しいランプカートリッジを取り付ける

(1) ランプカートリッジをゆっくり押し込みます。(本体のネジ穴に合わせてください。)

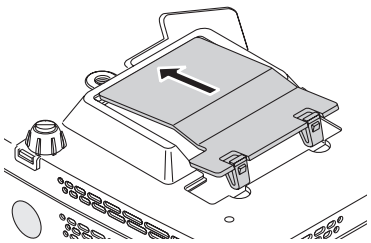


(2) 上からしっかり押した後、ランプカートリッジのネジ2本を右へ回して締めます。

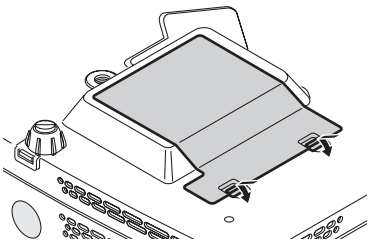


6 ランプカバーを取り付ける

(1) ランプカバーの先を本体に入れてからランプカバーを閉めます。



(2) ランプカバーのツメを「カチッ」と音がするまではめ込みます。



7 ランプ使用時間をリセットする

電源コードを接続し、電源を入れてから行います。

詳細メニューの**管理画面** ▶ **ランプ使用時間リセット**を選択して ENTER ボタンを押してください。初期化確認表示に変わります。さらに ENTER ボタンを押します。詳しくは、「ランプ使用時間リセット」➔ P82

お知らせ

- ランプ寿命から100時間を超えて使用すると電源が入らなくなります。そのような場合は、スタンバイ状態で本体の SOURCE ボタンと AUTO ボタンを5秒以上同時に押すとランプ使用時間がクリアされます。クリアされたかどうかは、LAMPインジケーターが消灯することで確認できます。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は **KG-PS232Xh/KG-PS232X** 交換用ランプ(型名 **KG-LPS2230** ／注文コード **600-377**)、**KG-PV131X/KG-PV131S** 交換用ランプ(型名 **KG-LPV1200** ／注文コード **600-278**)とご指定ください。

主な仕様

仕様一覧

KG-PS232Xh

投映方式			DLP®（1 チップ DLP®）方式
主要部品仕様	DLP® チップ	サイズ	0.55 型
		画素数	786,432 画素（1024 × 768）
	投映レンズ		マニュアルズーム（× 1.15）、 オートフォーカス　F2.45 ～ 2.62、f=18.7 ～ 21.5mm
	光源		230W　高圧水銀ランプ
	光学装置		ダイクロイックフィルタによる光時分割合成方式
画面サイズ		最小	31.3 型（投映距離 1.2m）テレ時
		最大	300 型（投映距離 10.20m）ワイド時
色再現性			フルカラー（1,677 万色）
明るさ		標準時	3000 lm
		省電力モード時	通常時の約 80%の輝度で投映
コントラスト比			2000 : 1（フルオン・オフ）
音声出力			0.5W モノラルスピーカ
走査周波数		水平	15 ～ 80kHz
		垂直	50 ～ 85Hz
RGB入出力	入力信号	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ : 0.7Vp-p/75 Ω
		同期信号	セパレート / コンポジット : TTL レベル（正／負） シンクオングリーン : 0.3Vp-p 負（映像 0.7Vp-p 正）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω
	入力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 2
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1
	出力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 1
	解像度		VGA（640 × 480）拡大・リアル表示 S-VGA（800 × 600）拡大・リアル表示 XGA（1024 × 768）リアル表示 S-XGA（1280 × 1024）圧縮表示
ビデオ入力	入力信号	信号方式	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL N、PAL M、PAL60、SECAM、YCbCr（NTSC、PAL のみ）、YPbPr（480p、576p、1080i、720p）：（自動またはマニュアル切換）
		映像信号	コンポジット : 1.0Vp-p/75 Ω、コンポーネント : 1.0Vp-p/75 Ω S 映像 : Y 信号（1.0Vp-p/75 Ω）、C 信号（0.286Vp-p/75 Ω）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω（RGB と共用）
	入力端子	映像	映像端子（RCA）× 1、S 端子（ミニ DIN4 ピン）× 1
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1（RGB ／ビデオと共通）
	水平解像度		NTSC : 550 本
使用環境			動作温度 : 5℃～ 35℃　　動作湿度 : 10 ～ 85%（ただし結露しないこと）
電源			AC 100 V、50 ／ 60Hz
定格入力電流			3A
消費電力			定格 : 300W、省電力モード時 245W
外形寸法			260（幅）× 58（高）× 210（奥行）mm（突起部含まず）
質量			約 1.9kg
付属品			ワイヤレスリモコン（単三電池 2 本付）、電源コード（1.8m）、フェライトコア（3 個）、RGB 信号ケーブル（2m）、ソフトケース、取扱説明書（CD-ROM 版）、スタートアップガイド、安全とサポートサービスご案内、保証書、セキュリティシート、セキュリティラベル、TAXAN サポート用紙セット

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向け AC100V 仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、販売店または、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

主な仕様

仕様一覧

KG-PS232X

投映方式			DLP®（1 チップ DLP®）方式
主要部品仕様	DLP® チップ	サイズ	0.55 型
		画素数	786,432 画素（1024 × 768）
	投映レンズ		マニュアルズーム（× 1.15）、 オートフォーカス　F2.45 ～ 2.62、f=18.7 ～ 21.5mm
	光源		230W　高圧水銀ランプ
	光学装置		ダイクロイックフィルタによる光時分割合成方式
画面サイズ		最小	31.3 型（投映距離 1.2m）テレ時
		最大	300 型（投映距離 10.20m）ワイド時
色再現性			フルカラー（1,677 万色）
明るさ		標準時	2500 lm
		省電力モード時	通常時の約 80%の輝度で投映
コントラスト比			2000 : 1（フルオン・オフ）
音声出力			0.5W モノラルスピーカ
走査周波数		水平	15 ～ 80kHz
		垂直	50 ～ 85Hz
RGB入出力	入力信号	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ : 0.7Vp-p/75 Ω
		同期信号	セパレート / コンポジット : TTL レベル（正／負） シンクオングリーン : 0.3Vp-p 負（映像 0.7Vp-p 正）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω
	入力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 2
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1
	出力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 1
	解像度		VGA（640 × 480）拡大・リアル表示 S-VGA（800 × 600）拡大・リアル表示 XGA（1024 × 768）リアル表示 S-XGA（1280 × 1024）圧縮表示
ビデオ入力	入力信号	信号方式	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL N、PAL M、PAL60、SECAM、YCbCr（NTSC、PAL のみ）、YPbPr（480p、576p、1080i、720p）：（自動またはマニュアル切替）
		映像信号	コンポジット : 1.0Vp-p/75 Ω、コンポーネント : 1.0Vp-p/75 Ω S 映像 : Y 信号（1.0Vp-p/75 Ω）、C 信号（0.286Vp-p/75 Ω）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω（RGB と共用）
	入力端子	映像	映像端子（RCA）× 1、S 端子（ミニ DIN4 ピン）× 1
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1（RGB ／ビデオと共通）
	水平解像度		NTSC : 550 本
使用環境			動作温度 : 5℃～ 35℃　　動作湿度 : 10 ～ 85%（ただし結露しないこと）
電源			AC 100 V、50 ／ 60Hz
定格入力電流			3A
消費電力			定格 : 300W、省電力モード時 245W
外形寸法			260（幅）× 58（高）× 210（奥行）mm（突起部含まず）
質量			約 1.9kg
付属品			ワイヤレスリモコン（単三電池 2 本付）、電源コード（1.8m）、フェライトコア（3 個）、RGB 信号ケーブル（2m）、ソフトケース、取扱説明書（CD-ROM 版）、スタートアップガイド、安全とサポートサービスご案内、保証書、セキュリティシート、セキュリティラベル、TAXAN サポート用紙セット

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向け AC100V 仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、販売店または、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

主な仕様

仕様一覧

KG-PV131X

投映方式			DLP®（1 チップ DLP®）方式
主要部品仕様	DLP® チップ	サイズ	0.55 型
		画素数	786,432 画素（1024 × 768）
	投映レンズ		マニュアルズーム（× 1.15）、 マニュアルフォーカス　F2.45 ～ 2.62、f=18.7 ～ 21.5mm
	光源		200W　高圧水銀ランプ
	光学装置		ダイクロイックフィルタによる光時分割合成方式
画面サイズ		最小	31.3 型（投映距離 1.2m）テレ時
		最大	300 型（投映距離 10.20m）ワイド時
色再現性			フルカラー（1,677 万色）
明るさ		標準時	2000 lm
コントラスト比			2000 : 1（フルオン・オフ）
音声出力			0.5W モノラルスピーカ
走査周波数		水平	15 ～ 80kHz
		垂直	50 ～ 85Hz
RGB入出力	入力信号	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ : 0.7Vp-p/75 Ω
		同期信号	セパレート / コンポジット : TTL レベル（正／負） シンクオングリーン : 0.3Vp-p 負（映像 0.7Vp-p 正）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω
	入力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 2
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1
	出力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 1
	解像度		VGA（640 × 480）拡大・リアル表示 S-VGA（800 × 600）拡大・リアル表示 XGA（1024 × 768）リアル表示 S-XGA（1280 × 1024）圧縮表示
ビデオ入力	入力信号	信号方式	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL N、PAL M、PAL60、SECAM、YCbCr（NTSC、PAL のみ）、YPbPr（480p、576p、1080i、720p）：（自動またはマニュアル切替）
		映像信号	コンポジット : 1.0Vp-p/75 Ω、コンポーネント : 1.0Vp-p/75 Ω S 映像 : Y 信号（1.0Vp-p/75 Ω）、C 信号（0.286Vp-p/75 Ω）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω（RGB と共用）
	入力端子	映像	映像端子（RCA）× 1、S 端子（ミニ DIN4 ピン）× 1
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1（RGB ／ビデオと共通）
	水平解像度		NTSC : 550 本
使用環境			動作温度 : 5℃～ 35℃　　動作湿度 : 10 ～ 85%（ただし結露しないこと）
電源			AC 100 V、50 ／ 60Hz
定格入力電流			2.5A
消費電力			定格 : 245W
外形寸法			260（幅）× 58（高）× 210（奥行）mm（突起部含まず）
質量			約 1.9kg
付属品			ワイヤレスリモコン（単三電池 2 本付）、電源コード（1.8m）、フェライトコア（3 個）、RGB 信号ケーブル（2m）、ソフトケース、取扱説明書（CD-ROM 版）、スタートアップガイド、安全とサポートサービスご案内、保証書、セキュリティシート、セキュリティラベル、TAXAN サポート用紙セット

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向け AC100V 仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、販売店または、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

主な仕様

仕様一覧

KG-PV131S

投映方式			DLP®（1 チップ DLP®）方式
主要部品仕様	DLP® チップ	サイズ	0.55 型
		画素数	480,000 画素（800 × 600）
	投映レンズ		マニュアルズーム（× 1.15）、 マニュアルフォーカス　F2.45 ～ 2.62、f=18.7 ～ 21.5mm
	光源		200W　高圧水銀ランプ
	光学装置		ダイクロイックフィルタによる光時分割合成方式
画面サイズ		最小	31.3 型（投映距離 1.2m）テレ時
		最大	300 型（投映距離 10.20m）ワイド時
色再現性			フルカラー（1,677 万色）
明るさ		標準時	2000 lm
コントラスト比			2000 : 1（フルオン・オフ）
音声出力			0.5W モノラルスピーカ
走査周波数		水平	15 ～ 80kHz
		垂直	50 ～ 85Hz
RGB入出力	入力信号	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ : 0.7Vp-p/75 Ω
		同期信号	セパレート / コンポジット : TTL レベル（正／負） シンクオングリーン : 0.3Vp-p 負（映像 0.7Vp-p 正）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω
	入力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 2
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1
	出力端子	映像	ミニ D-Sub 15 ピン（YCbCr ／ YPbPr と共通）× 1
	解像度		VGA（640 × 480）拡大・リアル表示 S-VGA（800 × 600）リアル表示 XGA（1024 × 768）圧縮表示
ビデオ入力	入力信号	信号方式	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL N、PAL M、PAL60、SECAM、YCbCr（NTSC、PAL のみ）、YPbPr（480p、576p、1080i、720p）：（自動またはマニュアル切替）
		映像信号	コンポジット : 1.0Vp-p/75 Ω、コンポーネント : 1.0Vp-p/75 Ω S 映像 : Y 信号（1.0Vp-p/75 Ω）、C 信号（0.286Vp-p/75 Ω）
		音声信号	0.4Vrms/47k Ω（RGB と共用）
	入力端子	映像	映像端子（RCA）× 1、S 端子（ミニ DIN4 ピン）× 1
		音声	ステレオミニジャック（Φ 3.5mm）× 1（RGB ／ビデオと共通）
	水平解像度		NTSC : 550 本
使用環境			動作温度 : 5℃～ 35℃　　動作湿度 : 10 ～ 85%（ただし結露しないこと）
電源			AC 100 V、50 ／ 60Hz
定格入力電流			2.5A
消費電力			定格 : 245W
外形寸法			260（幅）× 58（高）× 210（奥行）mm（突起部含まず）
質量			約 1.9kg
付属品			ワイヤレスリモコン（単三電池 2 本付）、電源コード（1.8m）、フェライトコア（3 個）、RGB 信号ケーブル（2m）、ソフトケース、取扱説明書（CD-ROM 版）、スタートアップガイド、安全とサポートサービスご案内、保証書、セキュリティシート、セキュリティラベル、TAXAN サポート用紙セット

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向け AC100V 仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、販売店または、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

主な仕様

対応周波数一覧表

本機はパソコンなどからの入力信号を自動で識別し、下表に対応する最適な解像度を選びます。
入力信号によっては手動での調整が必要な場合もあります。
「周波数補正」「位相調整」「水平位置調整／垂直位置調整」をご覧ください。 ➔ P67, 68, 70

パーソナルコンピュータ		解像度	走査周波数		対応状況			
			水平（kHz）	垂直（Hz）	ビデオ	コンポーネント	デジタル	アナログ
ビデオ（NTSC）		—	15.734	60.0	○	○	—	—
ビデオ（PAL/SECAM）		—	15.625	50.0	○	○	—	—
PC/AT 互換機		640 × 350	31.5	70.1	—	—	—	○
		640 × 400	31.5	70.1	—	—	—	○
		720 × 350	31.5	70.0	—	—	—	○
		720 × 400	31.5	70.0	—	—	—	○
VESA		640 × 350	37.9	85.1	—	—	—	○
		640 × 400	37.9	85.1	—	—	—	○
		720 × 400	37.9	85.0	—	—	—	○
		640 × 480	31.5	60.0	—	—	—	○
		640 × 480	37.9	72.8	—	—	—	○
		640 × 480	37.5	75.0	—	—	—	○
		640 × 480	43.3	85.0	—	—	—	○
		800 × 600	35.2	56.3	—	—	—	○
		800 × 600	37.9	60.3	—	—	—	○
		800 × 600	46.9	75.0	—	—	—	○
		800 × 600	48.1	72.2	—	—	—	○
		800 × 600	53.7	85.1	—	—	—	○
		1024 × 768	48.4	60.0	—	—	—	○
		1024 × 768	56.5	70.1	—	—	—	○
		1024 × 768	60.0	75.0	—	—	—	○
		1024 × 768	68.7	85.0	—	—	—	○
		1280 × 1024	64.0	60.0	—	—	—	○
Apple Macintosh		640 × 480	35.0	66.7	—	—	—	○
		832 × 624	49.7	74.5	—	—	—	○
		1024 × 768	60.2	74.9	—	—	—	○
		1152 × 870	68.7	75.1	—	—	—	○
HDTV	(1080i)	1920 × 1080	33.8	60.0	—	○	—	—
		1920 × 1080	28.1	50.0	—	○	—	—
	(720p)	1280 × 720	45.0	60.0	—	○	—	—
EDTV	(576p)	720 × 576	31.3	50.0	—	○	—	—
	(480p)	720 × 480	31.5	60.0	—	○	—	—
SDTV	(576i)	720 × 576	15.625	50.0	—	○	—	—
	(480i)	720 × 480	15.734	60.0	—	○	—	—

• Apple Macintosh の ADC コネクタは非対応です。

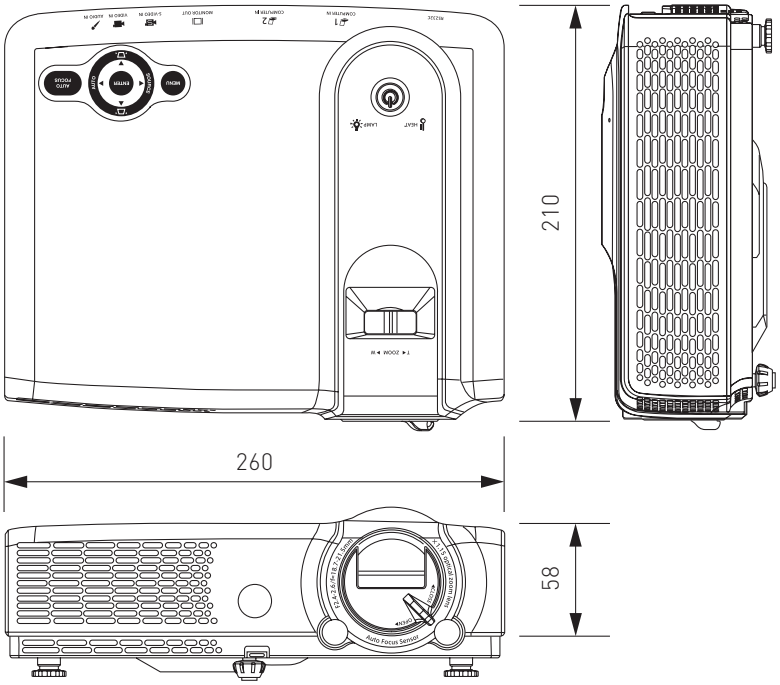
○ 印：対応可能周波数
— 印：非対応周波数

KG-PS232Xh/KG-PS232X/KG-PV131X
表示画素数は 1024 × 768 ドットです。1280 × 1024 等、1024 × 768 ドット以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

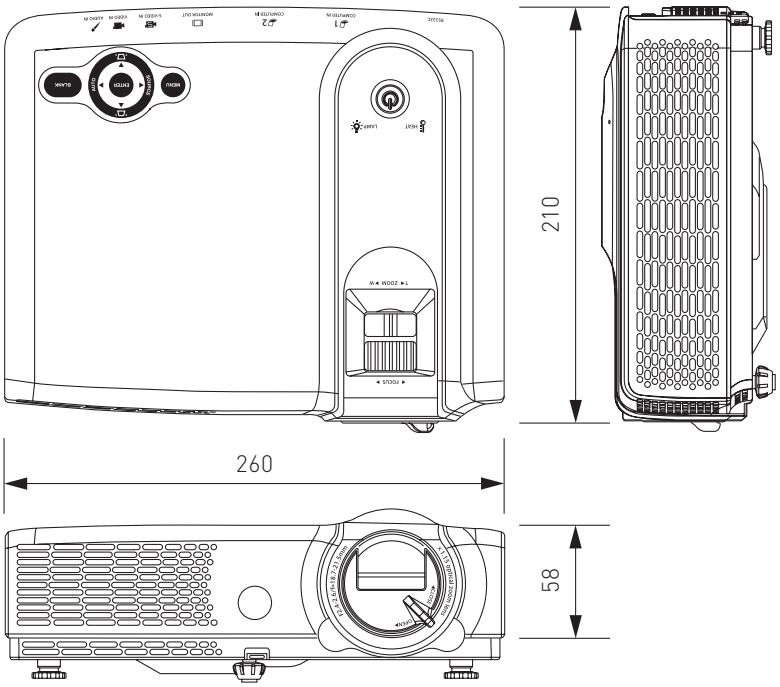
KG-PV131S
表示画素数は 800 × 600 ドットです。1024 × 768 等、800 × 600 ドット以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

外観図

KG-PS232Xh/232X



KG-PV131X/131S



アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お近くの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお申し出ください。なお、製品保証、使いかたなどのご不明の点につきましても、販売店または弊社「カスタマーセンター」をご利用ください。

無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より 1 年以内のもの）が添付されている場合には、無料修理させていただきます。その際修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料になります。保証期間内であっても、下記の様な場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または販売店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、手掛かり、砂･泥の付着、機内部への水･砂･泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、弊社またはお近くの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、本プロジェクタの補修用性能部品を製造打切り後、5 年間保有しています。
（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理お申し出になる場合は、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属物は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。

http://www.taxan-projector.com

加賀コンポーネント株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷2-2-9
センチュリータワー

加賀コンポーネント・プロジェクタ
カスタマーセンター
0120-331-059

KAGA COMPONENTS CO.,LTD.
2-2-9 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo
113-0033, Japan
Tel: +81-3-4455-3178
Fax: +81-3-3814-4544

©2008, KAGA COMPONENTS CO., LTD.